


ビクターBSデジタルハイビジョンテレビ

型名 **HD-32LS2**

 **ご使用前に安全上のご注意**
(2~7ページ)を必ずお読みください。

目次は8ページです

テレビを
見る前に

ふだんの
使いかた

便利な機能で
楽しむ

BSデジタル
放送を見る

本機を使い
こなす

アンテナの
接続と設定

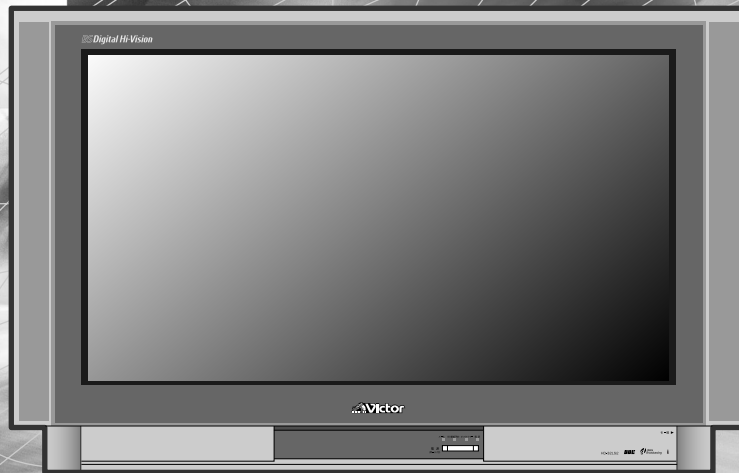
AV機器を
つなぐ

その他

DVD Player

S-VHS

Game



CS-Tuner

NETWORK
BS DIGITAL

このたびはビクター製品をお買い上げ
いただき、ありがとうございます

- ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に
大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

「安全上のご注意」の絵表示

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。



警告

この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。



注意

この絵表示（文字を含む）は、そこに書かれていることを無視すると、障害を負ったり、物理的損害が想定される内容です。十分注意してください。

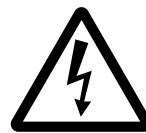
● 注意（警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



指をはさまれないように注意



感電注意

● してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



分解禁止



接触禁止



水ぬれ禁止

● 必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



プラグをコンセントから抜く

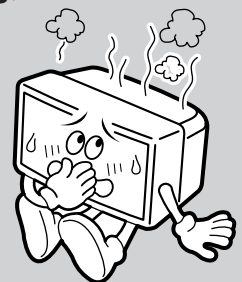


警告 万一、次のような異常が発生したときは

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- テレビの内部に水や物が入ってしまったとき。
- テレビを落としたり、キャビネットが破損したとき。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

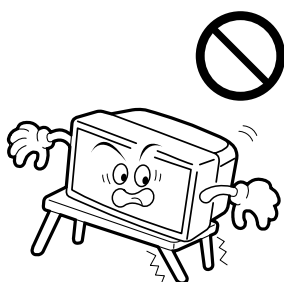
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



⚠️ 警告 設置するときの警告

不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。



指定の電源電圧（交流100V）以外で使用しない

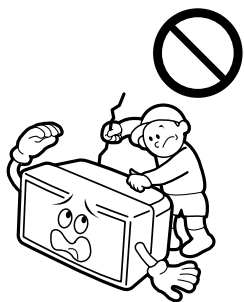
表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



⚠️ 警告 使用するときの警告

テレビ内部に物を入れない

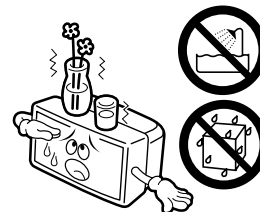
金属や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



テレビに水をかけない

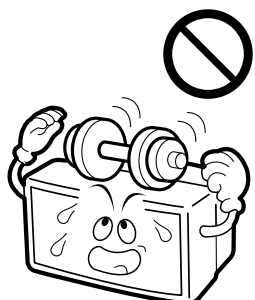
風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水などの入った容器（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、テレビの上に置かないでください。また、雨天、降雪中、海岸、水辺での使用はご注意ください。



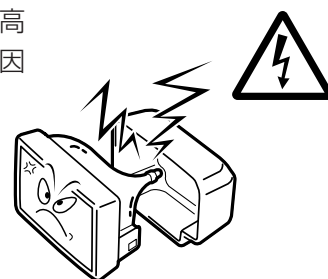
テレビの上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



テレビの裏ぶたは外さない

テレビ内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



安全上のご注意(つづき)

警告 使用するときの警告

雷が鳴り出したら、アンテナ線
や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



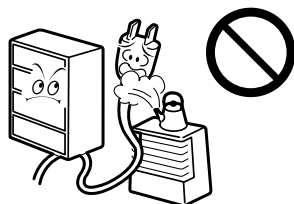
テレビを改造しない

火災・感電の原因となり
ます。

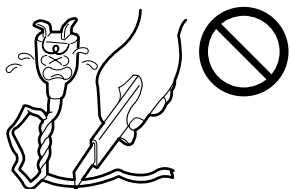


電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いもの
のをせたり、電源コード
を加工したり・無理に曲げ
たり・ねじったり・引っ張っ
たり、電源コードを熱器具
に近づけたりしないでくだ
さい。火災・感電の原因と
なります。



電源コードが切れたり、
芯線が出たりしたときは、
販売店に電源コードの交
換を依頼してください。
そのまま使用すると火災・
感電の原因となります。

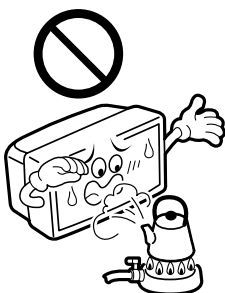


注意 設置するときの注意

次のような場所に置かない

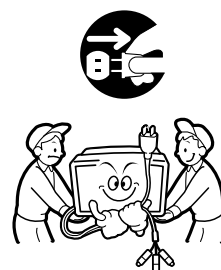
火災・感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほこりの多いところ
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやブラウン管が変質することがあります。



移動するときは 接続コード類をはずす

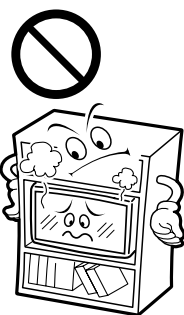
コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。また、テレビは重いので必ず2人以上で持ってください。



テレビの通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- ・ 壁や家具などから10cm以上離す
- ・ 押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- ・ じゅうたんや布団などの上に置かない
- ・ テーブルクロスなどを掛けない
- ・ あお向け、横倒し、逆さまにしない



キャスター付きテレビ台に 乗せるときは、キャスターを固定する

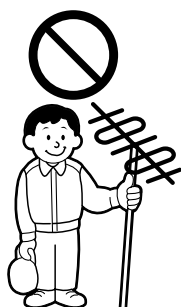
キャスター止め（受け皿など）で動かないようにしてください。けがの原因となることがあります。



アンテナ工事は販売店に依頼する

技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。

- ・ 倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- ・ BS、CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けよう依頼してください。

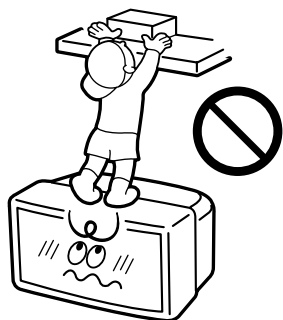


安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意 使用するときの注意

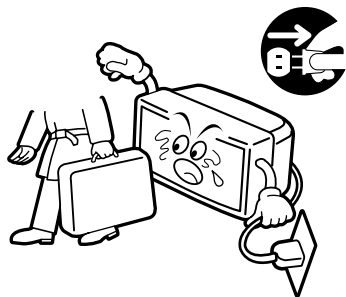
テレビに乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



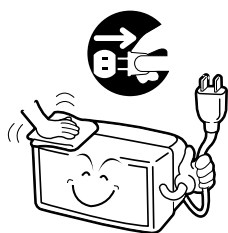
長期間テレビを使用しないときは、電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れをするときは電源コードを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。



また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



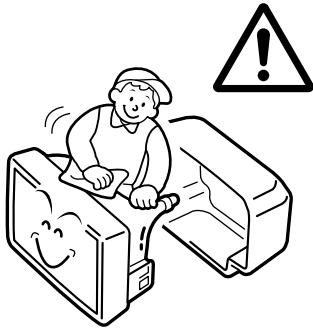
電源プラグのホコリに注意する

電源プラグとコンセントの間にホコリがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き掃除してください。



5年に1度はテレビ内部の掃除を販売店に依頼する

テレビの内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。



乾電池の使いかたに注意する

電池は間違った使いかたをすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- ・種類の違う電池を混ぜて使わない
- ・電池ケースのプラス(+)とマイナス(-)の表示どおりに入れる
- ・指定された電池以外は使わない



お手入れのしかた

●キャビネットやブラウン管面の汚れは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。



●キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- ・シンナーやベンジンでふかない
- ・殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない



転倒防止の処置をしてください

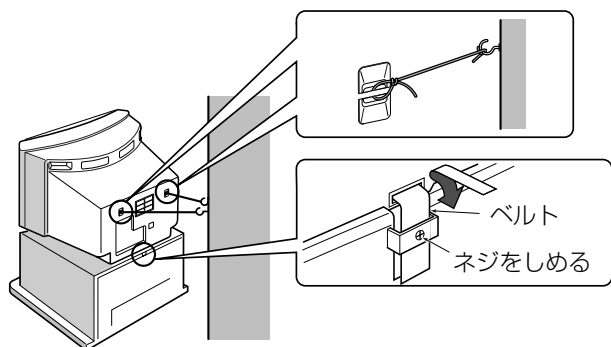
地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、次のような処置をしてください。

製品専用のテレビ台を使用するとき

転倒防止用部品を使って固定してください。

壁や柱などに固定するとき

テレビ後面左右の穴を利用し、市販の丈夫なひもなどで結んでください。柱や壁は、確実に固定できる場所を選んでください。



※説明図は実際の外観と異なることがあります。

もくじ

安全上のご注意

「安全上のご注意」の絵表示	2
---------------------	---

テレビを見る前に

テレビを見る前の準備	10
知っておいていただきたいこと	12
各部のなまえ	14
本体(前面)	14
本体(後面)	15
リモコン	16

ふだんの使いかた

テレビを見る	18
BSデジタル放送で見たい番組をさがす	20
BSテレビ/ラジオ/データ放送を見る	21

便利な機能で楽しむ

画面サイズを変える	22
画面サイズの種類	22
画面サイズを変える	
従来のテレビ放送やビデオなどの場合	23
BSデジタル放送の4:3映像の場合	24
画面の位置を調節する	25
オートパノラマの画面サイズを設定する	25
2画面にする	26
番組一覧を表示する	28
メモ機能を使う(静止画)	29
見たいところを拡大する(どこでもズーム)	30
おやすみタイマーを使う(オフタイマー機能)	31
フィルム撮影された映画などをキレイに見る	32
お好みの映像に調節する	33
画質を選ぶ	33
映像を調節する	34
本来の解像度で表示する	35
お好みの音声に調節する	36
音声を選ぶ	36
音声を調節する	37

BSデジタル放送を見る

ホームメニューで選ぶ	38
裏番組から選ぶ-「現在の他チャンネル」	39
見たい番組のジャンルを指定して選ぶ-「検索」	40
いつでも情報から選ぶ	42
番組表で選ぶ	44
週間番組表で選ぶ	45
局別番組表で選ぶ	46
クイック番組表で選ぶ	47
データ放送を見る	48
有料番組を見る	50
3桁の数字で選ぶ	51
番組の内容を知りたい	52
画面表示で確認する	52
番組の説明を見る	53
映像アングルを変えて見る	54
字幕や文字スーパーを見る	55
信号を切り換える	55
番組を予約する	56
見たい番組を忘れないために-「視聴予約」	56
ビデオに録画する-「録画予約」	58
録画予約についてのご注意	63

本機を使いこなす(一般操作)

おトク設定で節電する	64
3つの節電機能をすべて使う	65
3つの節電機能を選んで使う	65
おはようタイマーを使う	66
テレビ消し忘れを防止する	67
シアタープロの設定をする	68
デジタルE.E.の効果を表示する	70
地磁気の影響を少なくする	71
自己紹介機能を使う	71

本機を使いこなす(BS操作)

好きなチャンネルを設定する	72
視聴年齢を制限する	74
暗証番号を設定する	74
視聴年齢を制限する	76
文字スーパーの設定を変える	77
ダウンロードする	78
メールを読む	80
お知らせ音を設定する	82
降雨対応放送の設定をする	83
録画のための設定をする	83
お買い上げ時の設定に戻す	84

アンテナの接続と設定**地上波(従来のテレビ)放送**

VHF、UHFアンテナをつなぐ	86
コネクタのつなぎかた	87
地上波のチャンネルを合わせる	88
地域のチャンネルを一括して設定する	88
チャンネルを個別に設定する	90
チャンネルが13個以上あるときは	92

BSデジタル放送

BSアンテナをつなぐ	94
電話線をつなぐ	95
B-CASカードを入れる	96
BSデジタル放送の受信に必要な設定をする	
簡単設定	97
ステップ1 簡単設定を始める	98
ステップ2 BSアンテナの設定をする	99
ステップ3 お住まいの地域を選ぶ	100
ステップ4 郵便番号を入力する	101
ステップ5 電話線の設定をする	102
個別に設定/変更する	104
時計を合わせる	109

AV機器をつなぐ

AV機器の接続早わかり	110
ビデオムービー/テレビゲームを接続する	110
接続できる機器	110
ビデオデッキをつなぐ	111
D-VHSビデオデッキをつなぐ	112
i.LINKでつなげる	114
i.LINKの設定をする	115
DVDプレーヤーをつなぐ	116
アンプやスピーカーをつなぐ	117
光デジタル入力端子のあるアンプのとき	117
光デジタル入力端子のないアンプのとき	117
MDレコーダーをつなぐ	118
AVコンピュリンクの接続をする	119
ビデオリモートコントローラーを設定する	120

その他

表示窓のメッセージ	122
故障かな?と思ったら	
-症状と原因と対処方法(Q&A) ...	123
こんなメッセージが出たら	126
一般操作	126
BS操作	128
索引	130
用語解説	132
保証書とアフターサービス	134
主な仕様	裏表紙

この製品は、マクロビジョン社が保有する日本特許1925090号の特許技術のライセンス供与により製造されたものであり、この製品での使用は一部のプログラム配信に限定されています。

この製品には、株式会社リコーがデザイン製作した下記3書体のリコーベクターフォントを使用しています。

平成丸ゴシック体TM-W4

平成丸ゴシック体TM-W8

平成角ゴシック体TM-W5

テレビを見る前に テレビを見る前の準備

テレビを見る前に、次の手順にしたがって参照ページをご覧くださいになり、準備を済ませてください。

●地上波（従来のテレビ）放送を見る前に ⇒ 接続が終わったら、

「地上波のチャンネルを合わせる」(P.88)をご覧くださいになり、受信チャンネルを設定してください。

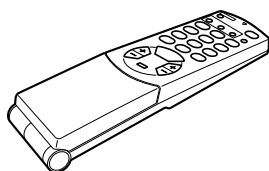
●BSデジタル放送を見る前に ⇒ 接続が終わったら、

「簡単設定」(P.97)をご覧くださいになり、BSデジタル放送の受信に必要な設定をしてください。

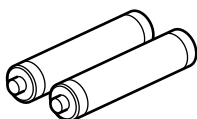
1 付属品・添付物を確認する

万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

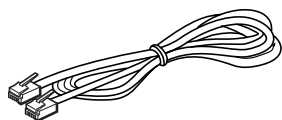
リモコン
(RM-C285 LS2)



単3電池2本
(動作確認用)



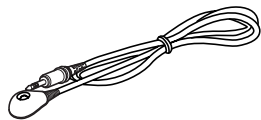
電話線
(モジュラーケーブル)



モジュラー
分配コネクター



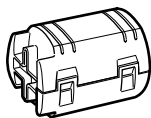
ビデオリモート
コントローラー



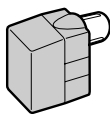
両面テープ



VHF/UHFアンテナ用
フェライトコア



VHF/UHFアンテナ用
アンテナコネクター



- 局名シール
- 申込書一式(パンフレット)
- B-CASカード・ユーザー登録はがき(P.12)
- 取扱説明書(この本です)
- 保証書

2 アンテナをつなぐ

- VHF、UHF アンテナをつなぐには(P.86) フェライトコアを必ず取付けてください。
- BS アンテナをつなぐには(P.94)
- CATV ケーブルをつなぐには(P.95) CATV 各社にお問い合わせください。

3 電話線につなぐ(P.95)

番組に参加したり、有料の番組を購入したりするときには必要です。(P.50)

4 AV 機器などをつなぐ(P.110)

5 ビデオリモートコントローラーをつなぐ(P.111、112)

BSデジタル放送を予約録画するとき、自動的に録画が始まります。(設定はP.120)

6 ビーキャスト B-CASカードを入れる(P.96)

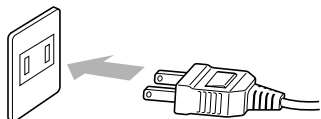
常にビーキャストカードスロットにビーキャストカードを差し込んだ状態で使用します。

7 リモコンに電池を入れる

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の●(マイナス)側を先に入れてください。(P.16)

8 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込みます。



9 電源を入れる

本体の電源ボタンを押して、電源を入れます。
(P.18)

10 テレビ放送の 受信チャンネルを合わせる

- チャンネルを一括して設定するには (P.88)
- 放送局をひとつずつ設定するには (P.90)
- チャンネル数が多いときは (P.92)

11 BS デジタル放送の 受信設定をする

- 簡単設定で受信に必要な設定をするには (P.97)
⇒NHK、WOWOW、スターチャンネルは受信の申し込み手続きが必要です。(P.12)

12 地磁気による影響を減らす

大型テレビは地球の磁気(地磁気)の影響を受けやすくなっています。初めて本機を設置したときや、引っ越しなどで本機を移動したときは、地磁気による影響をなるべく少なくしてからお使いください。

- 地磁気による影響を少なくする (P.71)

このテレビのお買い上げ時の設定は、メリハリのきいた絵になっております。ご家庭の環境に適した映像や効果的な省エネ(節電)をするために次の3つの設定、調節をされることをおすすめします。

1. 画質を選びましょう

(設定の方法は33ページ)

ふだんは「スタンダード」でご覧になることをおすすめします。

2. 映像調節をしましょう

(設定の方法は34ページ)

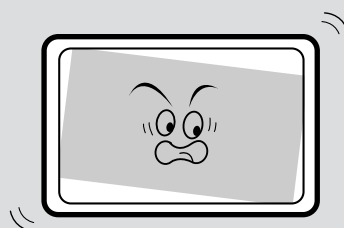
画面がざらついて見えるときは、映像調節の「ノイズクリア」を調節してみてください。

3. 節電機能を設定しましょう

(設定の方法は64ページ)

ふだんはおトク設定を「すべて設定する」にしてご使用になることをおすすめします。

映像の傾きが気になるときは



画面の傾き調節をおためしてください。

テレビは地磁気の影響を受けています。テレビの設置方向によっては、画面の映像が右上がりになったり、左上がりになることがあります。これは地磁気の影響によるものです。特に画面の大きなテレビでは地磁気の影響を受けやすくなっています。故障ではありません。

- 71ページの手順にしたがって調節してみてください。

知っておいていただきたいこと

(*用語説明 P.132、133)

ビーキャス

B-CASカード*登録をしてください (BSデジタル放送)

ビーキャス

B-CASカードはカードに組み込まれたICを利用し、登録された受信者に対して、いろいろな放送サービスの利用を可能にします。

公共放送・有料放送を視聴するときや、双方向番組に参加するときが必要です。

ビーキャス B-CASカードを本機に挿入し、はがきによる登録をしてください(登録は無料です)。ビーキャス B-CASカードの台紙の一部が登録はがきになっています。また、台紙に書かれた説明も良くお読みください。(台紙に添付されたバーコードのシールは、有料放送の申し込みに利用します。紛失しないようにしてください。)

なお、本機の表示ではビーキャス B-CASカードが「ICカード」と表示されますので、ご了承ください。

ご注意

- B-CASカードには、視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください(P.96)。また、挿入口のドアは閉めたままご使用ください(正しく受信できない場合があります)。
- B-CASカードを使用しなくても本機をご使用いただけますが、公共放送の視聴時にメッセージがでたり、有料放送の視聴や一部のデータ放送の利用ができません。
- B-CASカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されたものです。破損・紛失などにより再発行を依頼されるときは費用がかかります。B-CASカードに記載されたカスタマーセンターまでご連絡ください。

NHK や有料放送は視聴の手続きが必要です

NHK、WOWOW、スターチャンネルをご覧になるには視聴の申し込み手続きが必要です。添付のパンフレットをお読みのうえ、ビーキャス B-CASカードの登録とあわせて、手続きを行ってください。

ソフトウェアと動作 (BSデジタル放送)

リセット

本機はBSデジタル放送*として送られてくる電子番組表*(ホームメニュー・週間番組表・局別番組表・クイック番組表)やデータ放送などデジタル情報を受け取ってさまざまなサービスを実現します。

これらのサービスは精密な電子部品と、パソコンで使われているのと同様のソフトウェアを使用することで実現されています。そのため、外部からのノイズなどのいろいろな要因で正常に動作しない事があります。

正常に動作しない(あるいは全く動作しない)ときは、本体前面の右カバーを開け、リセットボタンを先の細いものなどで押してください(P.14)。いったん画面が消え、しばらくすると電源が入って画面が現れます。

ダウンロード

多くの機能をソフトウェアで実現していますので、将来機能が追加されたときも、ソフトウェアを入れ換えることで機能を追加できるようになっています。この機能の追加をダウンロードと呼んでいます。

通常はダウンロードによるプログラムの更新をされることをおすすめします(P.78)。

放送されない機能は動作しません

本機にはさまざまな機能がありますが、放送局がそれらの機能に対応した放送をしていないときは使用できません。

アンテナ接続時のお願い（より良い映像でご覧いただくために）

UHF/VHF/CATV 用アンテナ (P.86 ページ)

- アンテナケーブルは必ず同軸ケーブルをご使用ください。(フィーダー線はご使用にならないでください。)
- アンテナコネクタの近くに、付属のフェライトコアを取り付けてください。

BS アンテナ (P.94 ~ 105)

- お買い上げ時の「BS アンテナの設定」は「しない(共聴)」になっています。
お買い上げ時の設定ではBSアンテナに電源が供給されません。ご自宅にBSアンテナを設置しているときは設定を「する(個別)」にしてください。
- BS デジタル放送の受信には、BS デジタル放送用のBSアンテナをご使用ください。
- BS デジタル放送ではアンテナケーブル・分配器・ブースターなどの機器の影響を受けやすくなっています。
現在ご使用のBSアンテナで今までのBS放送が映っていても、BS デジタル放送は映らない場合があります。このような場合は販売店に御相談ください。
- 映らなかったり、映りが悪い場合は、「BSアンテナの設定」で、アンテナレベルが50以上あることを確認してください。
- 初期受信周波数の設定(BS メニューの初期設定)はお買い上げ時の「BS15」のままでご使用ください。

BS デジタル放送の視聴予約や録画予約を確実にこなうために

視聴予約や録画予約 (P.56 ~ 63) の待機や実行をするには、本体の「BS 番組予約ランプ」が点灯している必要があります。予約した後は、「BS 番組予約ランプ」が点灯していることを確認してください。

また電源プラグが抜かれていると、視聴予約や録画予約は実行されません。電源を切るときは、リモコンまたは本体の電源ボタンで切ってください。

自動表示メッセージ機能のご案内 (BS デジタル放送)

本機はBSデジタル放送の自動表示メッセージ機能に対応しています。この機能は放送局からの視聴者への案内などに使用されます。

自動表示メッセージを消すには、リモコンの「戻る」ボタンを押してください。(自動表示メッセージのなかには、リモコンの「戻る」ボタンを押しても消せない場合があります。あらかじめご了承ください。)

データ放送について (BS デジタル放送)

BSデジタル放送では、さまざまなデータ放送が送られてきます。データ放送の種類によっては表示されない場合や表示が出るまでに時間がかかる場合がありますが故障ではありません。

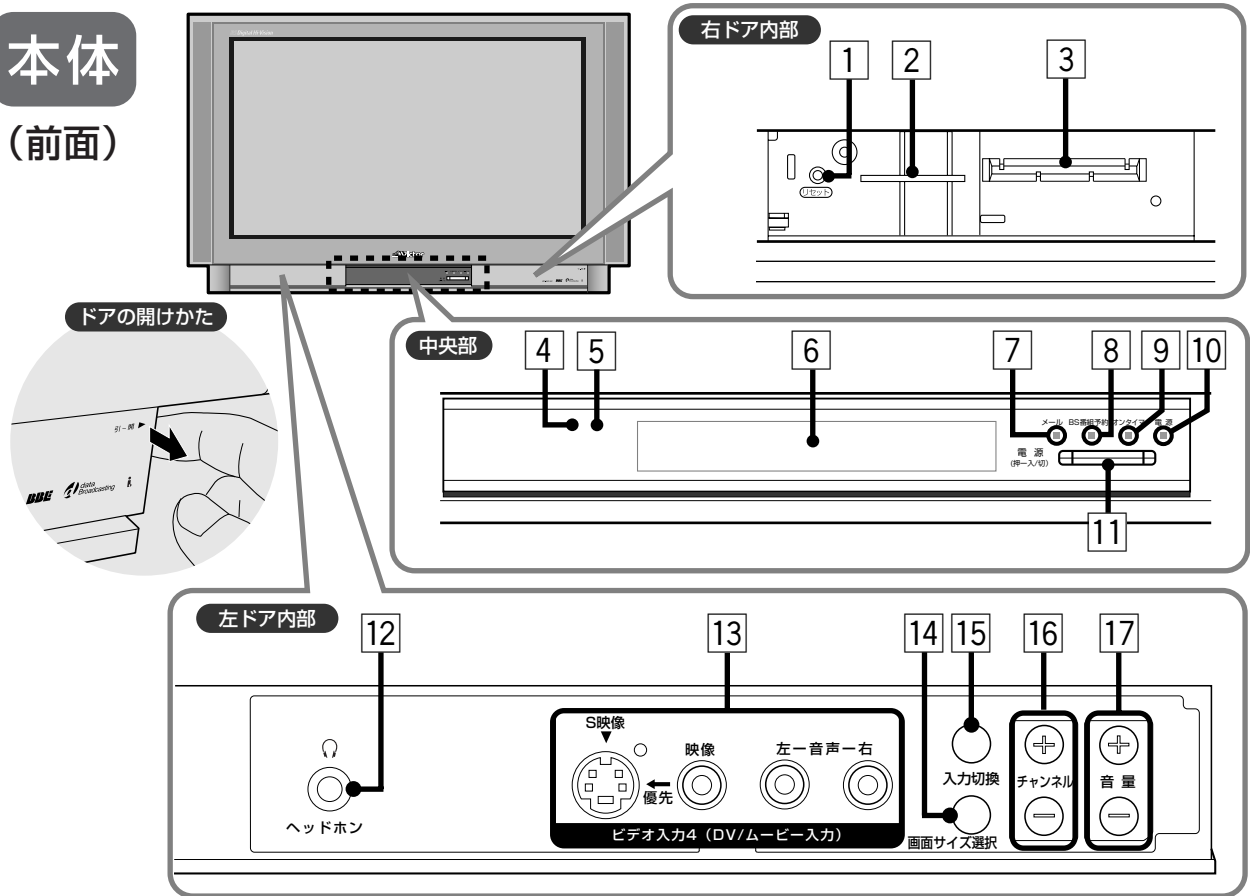
番組によっては、選局と同時に「データ受信」のメッセージが表示されたり、データ放送画面に自動的に切り換わる場合があります。

電源を入れた時の映像について

- 本機は、電源を入れてから映像が映るまで 10 数秒程度の時間がかかります。
電源ボタンを繰り返し押さないようにしてください。
(電源が入っているかどうかは、電源ランプの点灯をご確認ください。P10 の 10 を参照)
- BS デジタル放送を視聴中に電源を「切 / 入」すると映像が乱れますが、故障ではありません。
電源を切って 10 秒程度たってから、電源を入れるようにしてください。

各部のなまえ

本体 (前面)



右ドア内部

- 1 **リセットボタン** ☞ P.12
操作を受け付けなくなったときなどに使います。
- 2 **スマートメディア™挿入口**
サービスマンが使用します。通常はお使いにならないでください。スマートメディア™は株式会社東芝の商標です。
ピーキャス
- 3 **B-CASカード挿入口** ☞ P.96
B-CASカードを入れておきます。

中央部

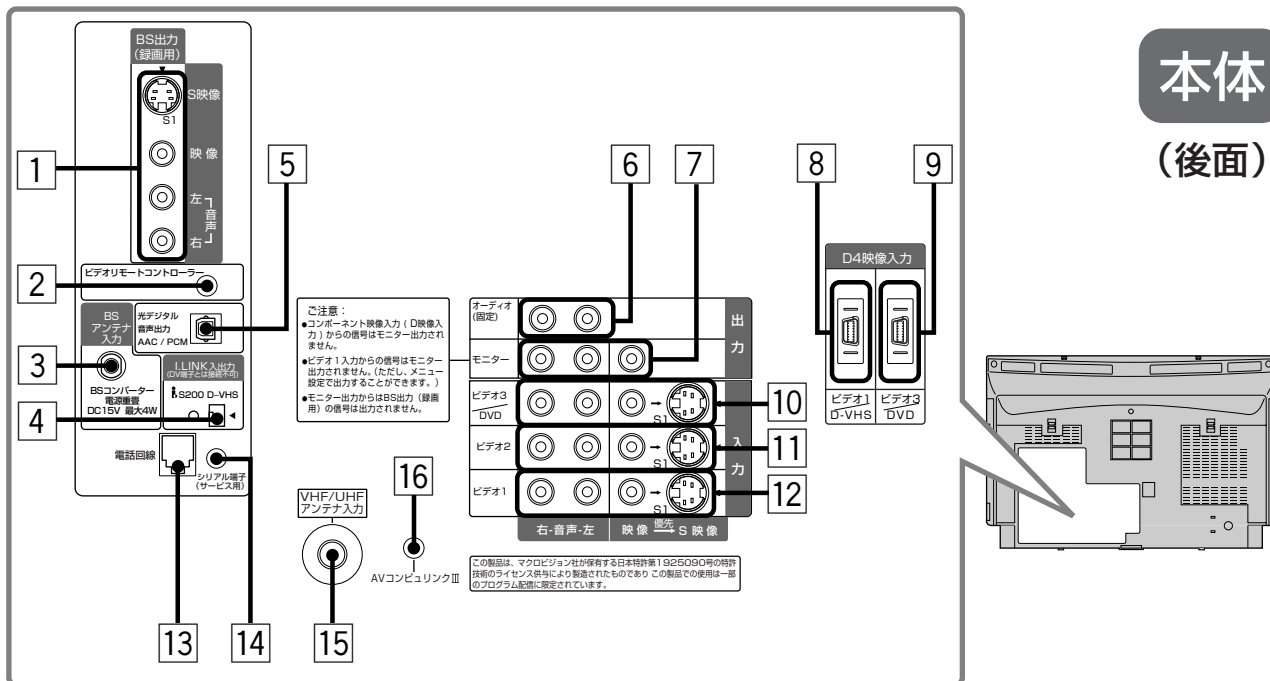
- 4 **デジタルE.E. センサー** ☞ P.64
省電力機能の「デジタルE.E.」を利用したとき、周囲の明るさを感知する部分です。
- 5 **リモコン受光部**
リモコンで操作するとき、リモコンの先端をここに向けます。
- 6 **表示窓** ☞ P.122
チャンネル番号やメッセージなどを表示します。
- 7 **メールランプ** ☞ P.80
BSデジタル放送局からお知らせメールなどが送られてきているときや、予約(視聴や録画)ができなかったときなどに点灯します。
メールはBSデジタル放送受信時にホームメニューから見ることができます。
- 8 **BS番組予約ランプ** ☞ P.56
BS番組を予約してから予約(視聴や録画)が終わるまで点灯します。

- 9 **オンタイマーランプ** ☞ P.67
「おはようタイマー」を設定しているとき点灯します。
- 10 **電源ランプ**
本体の電源が「入り」のとき、点灯します。
- 11 **電源ボタン** ☞ P.18
本体の電源を「入り/切り」します。

左ドア内部

- 12 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。
- 13 **ビデオ入力4(DV/ムービー入力)端子** ☞ P.110
ビデオムービーやテレビゲーム機の映像・音声出力端子とつなぎます。
● S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます。
- 14 **画面サイズ選択ボタン** ☞ P.23
画面サイズを変更するときに使います。
- 15 **入力切換ボタン** ☞ P.19
ビデオ機器の映像を見るときに使います。ご覧になりたい機器を接続しているビデオ入力端子の番号を選びます。
- 16 **チャンネル+/-ボタン** ☞ P.18
チャンネルを変えるときに使います。
- 17 **音量+/-ボタン** ☞ P.18
音量を調節するときに使います。

本体
(後面)



1 BS出力(録画用)端子 参照 P.111、112

ビデオデッキの映像・音声入力端子と接続します。BSデジタル放送の映像・音声を出力します。

- メニュー画面やチャンネル表示、番組表、各設定画面は、BS出力(録画用)端子からは出力されません。

2 ビデオリモートコントローラー端子 参照 P.111、112

付属のビデオリモートコントローラーを接続します。

3 BSアンテナ入力端子 参照 P.94

BSアンテナをつなぎます。

4 i.LINK 端子 参照 P.112、114

D-VHSビデオデッキなどのi.LINK対応機器と接続します。

- i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴはソニー株式会社の商標です。

5 光デジタル音声出力端子 参照 P.117、118

MDレコーダーやAACデコーダーを持ったアンプなどと接続します。

6 オーディオ出力(固定)端子 参照 P.117

AVアンプなどの音声入力端子をつなぎます。

7 モニター出力端子

テレビに映っている映像・音声を出力します。

- BSデジタル放送やD4映像入力(ビデオ1、3)端子から入力した映像信号は、モニター出力端子からは出力されません。
- 番組一覧中は、モニター出力端子からは出力されません。
- 2画面表示中は、左側の映像と音声が出力されます。

8 ビデオ1/D-VHS:D4映像入力端子 参照 P.112

D-VHSビデオデッキなどのD端子をもった機器をつなぎます。

- D4映像入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ1入力に入力されるS1映像信号や映像信号より優先されます。

9 ビデオ3/DVD:D4映像入力端子 参照 P.116

DVDプレーヤーなどのD端子をもった機器をつなぎます。

- D4映像入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ3/DVD入力に入力されたS1映像信号や映像信号より優先されます。

10 ビデオ3/DVD入力端子 参照 P.111、116

ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像・音声出力端子をつなぎます。

- S1映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます。

11 ビデオ2入力端子 参照 P.111

ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。

- S1映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます。

12 ビデオ1入力端子 参照 P.111、112

ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。

- S1映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます。

13 電話回線端子 参照 P.95

電話線(アナログ回線のモジュラーケーブル)を接続します。

14 シリアル端子(サービス用)

サービスマンが使用する端子です。通常は使用しないでください。

15 VHF/UHFアンテナ入力端子 参照 P.86

VHF、UHFアンテナをつなぎます。

16 AVコンピュリンクIII端子 参照 P.119

AVコンピュリンク対応の機器をつなぎます。

各部のなまえ (つづき)

リモコン

■ふたを閉じたところ

● 説明文に **BS** マークのあるボタンはBSデジタル放送用のボタンです。

1 送信部

テレビのリモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押してください。

2 画面表示ボタン

チャンネルやビデオ入力、番組の情報、時刻を表示させるときに使います。☞ P.19、52

3 静止ボタン

押すと2画面に切り換わり、右側の画面は静止画になります。☞ P.29

4 入力切換ボタン

ビデオ機器の映像を見るときに使います。ご覧になりたい機器を接続しているビデオ入力端子の番号を選びます。☞ P.19

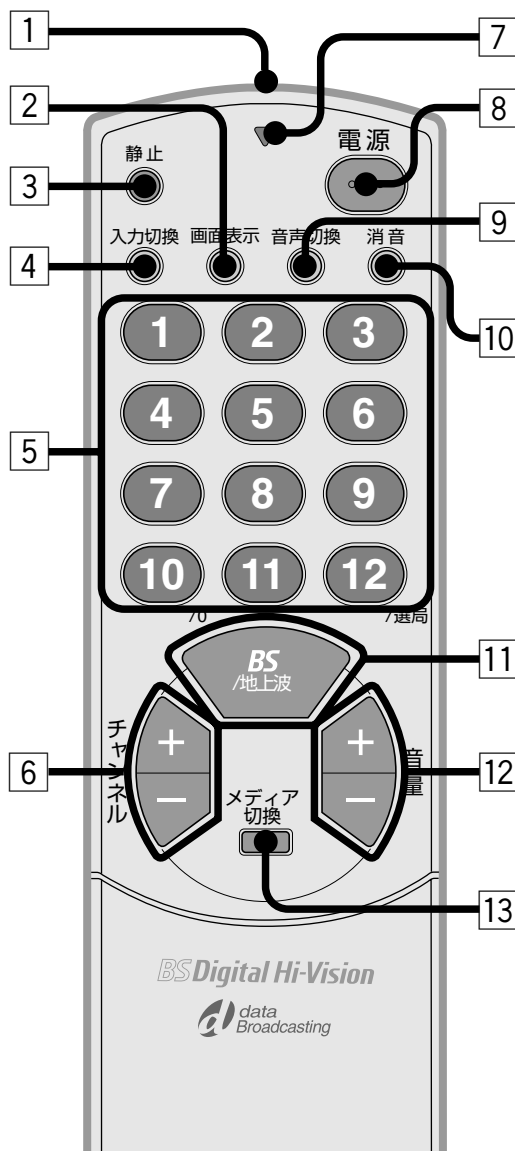
5 チャンネル(数字)ボタン

VHF、UHF、CATV、BSデジタル放送のチャンネルを選ぶときに使います。(☞ P.18、19)

また、BSデータ放送やメニュー操作中に数字入力するときなどにも使います。

6 チャンネル+/-ボタン

チャンネルを変えるときに使います。☞ P.18



7 操作ランプ

リモコンを操作すると点滅します。ランプが暗くなったり、操作がしにくくなったら電池を交換してください。

8 電源ボタン

電源を入り/切りします。☞ P.18

9 音声切換ボタン

二重音声放送やステレオ放送の音声を選ぶときに使います。☞ P.36

10 消音ボタン

急いで音を消すときに使います。☞ P.18

11 BS/地上波ボタン

従来のテレビ放送(地上波)とBSデジタル放送を切り換えるときに使います。☞ P.18、20

12 音量+/-ボタン

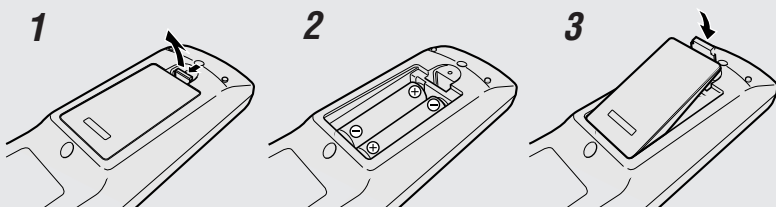
音量を調節するときに使います。☞ P.18

13 メディア切換ボタン

BS BSデジタル放送を見ているときに、BSテレビ放送、BSラジオ放送、BSデータ放送を切り換えるときに使います。☞ P.20、21

電池の入れかた

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の⊖(マイナス)側を先に入れてください。



● 電池に表示されている注意事項をお読みください。

● 長期間使用しないときは取り出しておいてください。

● 電池はふつうの使いかたで、6月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなる場合があります。操作しにくくなったら交換してください。

■ふたを開けたところ

● 説明文に **BS** マークのあるボタンはBSデジタル放送用のボタンです。

14 クイック番組表ボタン

BS クイック番組表を表示します。
P.47

15 週間番組表ボタン

BS 一週間分の番組表を表示します。
P.45

16 予約確認ボタン

BS 現在の番組予約を確認する画面を表示します。
P.61

17 i.LINK ボタン

BS i.LINK 対応機器 (D-VHS) の LINC設定画面を表示します。
P.115

18 BSデータ放送用ボタン

BS BSデータ放送を見るときに
使います。
P.48

19 信号切換ボタン

BS 映像信号や音声信号を切り換
えるときに使います。
P.55

20 マルチボタン

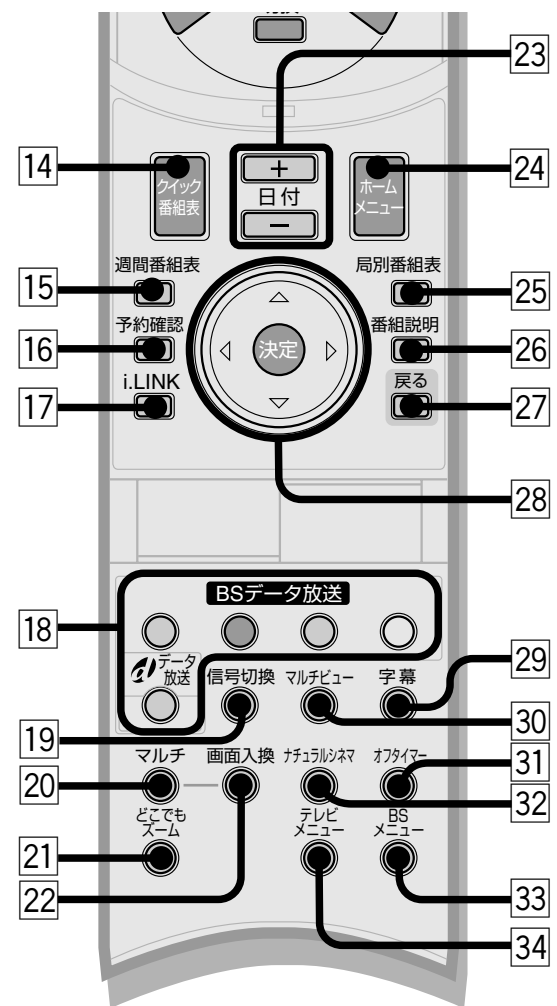
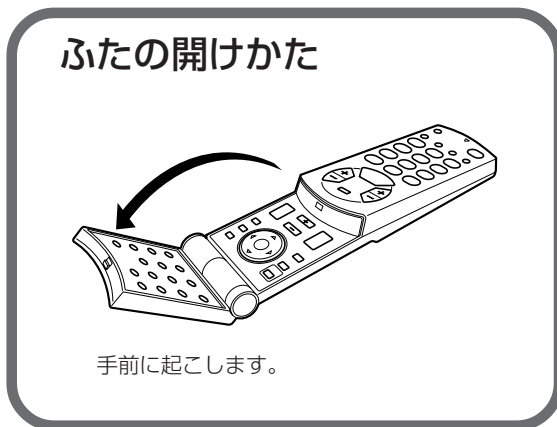
2画面にしたり、番組一覧を
表示するときに使います。
P.26、28

21 どこでもズームボタン

画面の好きな部分を拡大す
ることができます。
P.30

22 画面入換ボタン

2画面表示中、左右の画面を
入れ換えるときに使います。
P.27



23 日付+/-ボタン

BS 番組表の日付を選ぶときに
使います。
P.45、46

24 ホームメニューボタン

BS ホームメニューを表示しま
す。BSデジタル放送のチャ
ンネルを選んだり、メールを
見るときに使います。
P.38、80

25 局別番組表ボタン

BS 放送局別番組表を表示しま
す。
P.46

26 番組説明ボタン

BS 番組説明を表示します。
P.53

27 戻るボタン

前のメニュー画面に戻ると
きに押します。

28 カーソル(◀/▶/▼/▲)/決定ボタン

メニューの項目を選ぶとき
や、設定を変えるときに使
います。

29 字幕ボタン

BS 字幕や文字スーパーを見る
ときに使います。
P.55

30 マルチビューボタン

BS 映像を切り換えるときに使
います。
P.54

31 オフタイマーボタン

一定時間後に電源を切りた
いときに使います。
P.31

32 ナチュラルシネマボタン

映画番組や映画ソフトまた
は、アニメーションなどを見
るときに使います。
P.32

33 BSメニューボタン

BS BSデジタル放送設定のメ
ニューを表示するときに使
います。

34 テレビメニューボタン

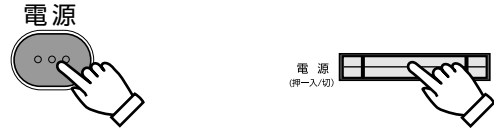
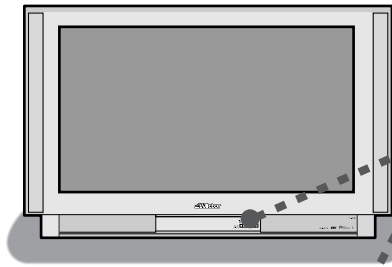
地上波(従来のテレビ)放送
設定のメニューを表示する
ときに使います。

ふだんの使いかた テレビを見る

テレビ本体にある同じ名前のボタンでもリモコンと同じように操作できます。

この取扱説明書ではリモコンを使っでの操作を説明しています。

1 電源を入れる



リモコンまたはテレビ本体の電源ボタンを押します。本体の電源ランプが点灯します。

2 チャンネルを選ぶ

1 BS/地上波ボタンを押す

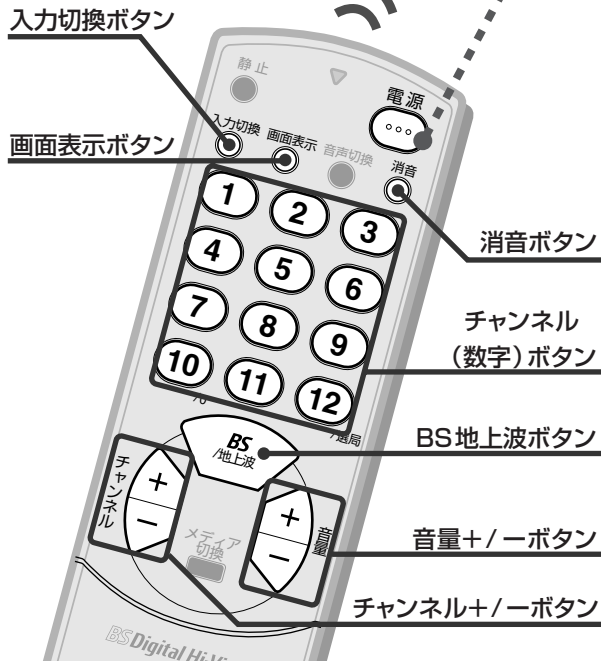
押すたびに、地上波(従来のテレビ)放送とBSデジタル放送が切り換わります。



最後に見ていたチャンネルが選ばれます。

2 チャンネル(数字)ボタンまたはチャンネル+/-ボタンを押す(右ページもご覧ください。)

選んだチャンネルの映像が画面に表示されます。



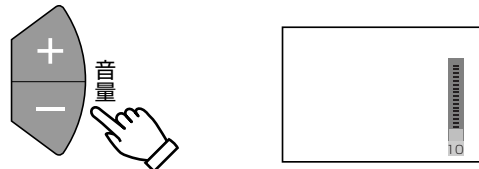
電源を切るには



リモコンまたはテレビ本体の電源ボタンを押します。本体の電源ランプが消えます。

3 音量を調節する

音量+/-ボタンを押すと、画面に音量が表示されます。



● BS デジタル放送で、番組表やメニューなどの画面表示をしているときは操作できません。

急いで音を消すには



電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。もう1度押すと、元の音量に戻ります。

- 従来のテレビ放送(地上波)受信時は、「消音」と画面に表示され続けます。BS デジタル放送受信時は、「消音」と画面に表示され、約3秒で表示は消えます。
- BS デジタル放送で、番組表やメニューなどを表示しているときは操作できません。

ご注意

BS デジタル放送のチャンネル切り換えはゆっくりおこなってください。

BS デジタル放送のチャンネル切り換えを速くおこなうと、操作ができなくなることがあります。操作ができなくなったときは、リセットボタンを先の細いものなどで押してください。

使
い
だ
ん
の
か
た

チャンネル(数字)ボタンでチャンネルを選ぶには

■ 地上波放送をご覧になるとき:

見たいチャンネルのチャンネル(数字)ボタンを押します(12 ボタン方式)。

お買い上げ時には、「地域チャンネル合わせ」(P.88) で設定したチャンネルを、チャンネル(数字)ボタンを1つ押すだけで選べるように設定してあります。

- VHF、UHF、CATV のチャンネルが13個以上あるときは、「CATV 選局方式の選択」メニューで、「数字入力方式」を選んでください。(P.92)

■ BS デジタル放送をご覧になるとき

見たいチャンネルを選んでチャンネル(数字)ボタンを押します。

お買い上げ時には、BS テレビ放送では1~10ボタンに次のチャンネルが設定してあります。

(BS ラジオ放送・BS データ放送をご覧になるには、P.21 をご覧ください。)

ボタン	放送局	チャンネル
1	NHK BS1	101
2	NHK BS2	102
3	NHK デジタルハイビジョン	103
4	BS 日テレ	141
5	BS 朝日	151

ボタン	放送局	チャンネル
6	BS-i	161
7	BS ジャパン	171
8	BS フジ	181
9	WOWOW	191
10	スターチャンネル	200

- 他にもいろいろな選びかたがあります。(P.20、21) また、BS メニューの「チャンネルの設定」を「テンキー方式」に変更することで、3桁のチャンネル番号でも選べます。(P.51)

ビデオなどの映像を見るには

入力切換



入力切換
B S 101
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4

選択中の設定が矢印で示されます。

押すたびに、入力が切り換わります。

いろいろな表示を出すには

画面表示



■ 従来のテレビ放送やビデオなどの外部入力の映像を見ているとき:

1度押すと画面表示メニュー(下図)が表示されます。

画面表示メニュー

画面表示
入力表示
時計表示
表示なし

選択中の設定が矢印で示されます。(通常のテレビ放送を見ているとき)

押すたびに、画面の表示が変わります。

- **入力表示** 画面右上にチャンネル番号やビデオ入力名が表示されるようになります。
- **時計表示** 画面右下に時計が表示されるようになります。
- **表示なし** チャンネルを変えたときやビデオ入力に切り換えたとき、約3秒間チャンネル番号やビデオ入力が表示されたあと消えます。テレビ放送(地上波)受信時に、放送のないチャンネルを選んでいるときは、表示は消えません。

■ BS デジタル放送を見ているとき:

押すと、チャンネル番号や放送の内容のアイコンが画面に表示されます。(P.52) もう1度押すと、表示が消えます。

- BS デジタル放送を見ているときは時計は表示されません。

BS デジタル放送で 見たい番組をさがす

BS デジタル放送のペイ・パー・ビュー方式の有料番組をご覧になるときは、「有料番組を見る」(P.50)もご覧ください。

BS デジタル放送の番組を選ぶには、次の方法が便利です。

■ 番組を探す前に

- BS デジタル放送以外の映像を見ているときは、BS/ 地上波ボタンを押して、BS デジタル放送に切り換えてください。
- BSテレビ放送・BSラジオ放送・BSデータ放送(メディア)の切り換えは、メディア切換ボタンで行います(右ページ)。
- 2画面表示中はこれらの操作はできません。

● 現在放送している番組の中から選ぶ

⇒ ホームメニューの「現在の他チャンネル」
(P.39)



● 見たい番組のジャンル(種類)からさがして選ぶ

⇒ ホームメニューの「検索」
(P.40)



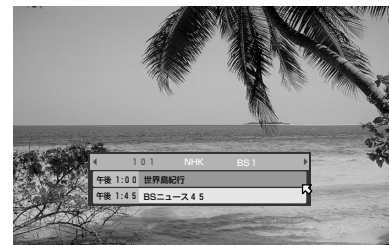
● 新聞などのテレビ欄を見る感覚で 番組をさがして選ぶ

⇒ 週間番組表、局別番組表
(P.45、46)



● 画面はそのまま、次の番組や裏番組をさがして選ぶ

⇒ クイック番組表
(P.47)



■ 気になる番組が見つかったら・・・

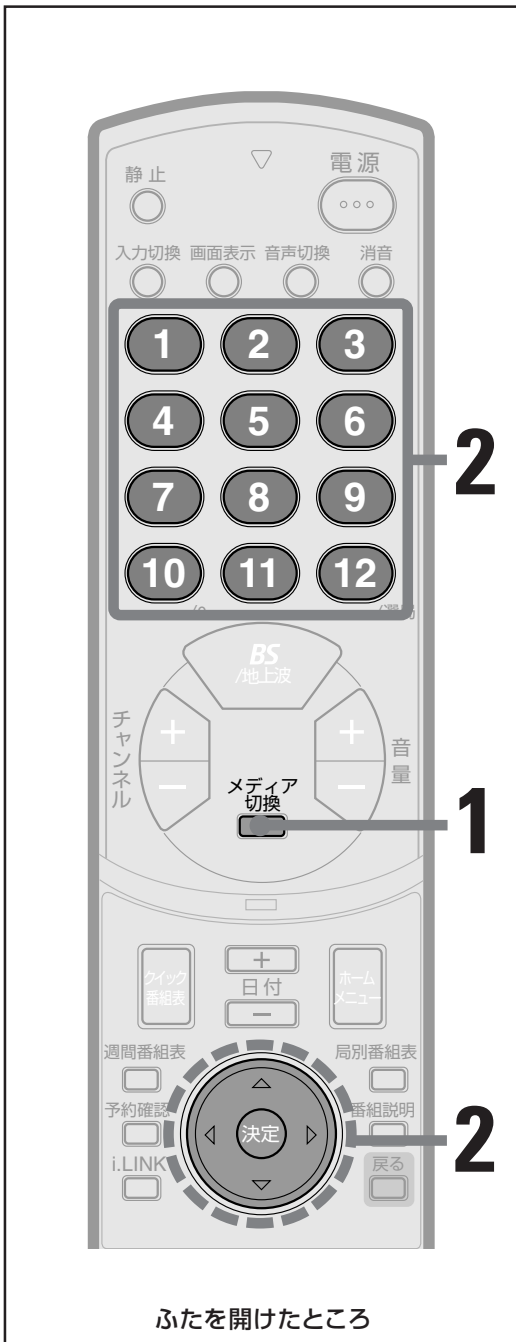
- 番組の情報が知りたい …… 「番組の内容を知りたい」をご覧ください。(P.52)
- 番組を見逃したくない …… 「視聴予約」が便利です。(P.56)
- 番組を予約録画したい …… 「録画予約」が便利です。(P.58)

BS テレビ / BS ラジオ / BS データ放送を見る

使
い
だ
ん
の
か
た

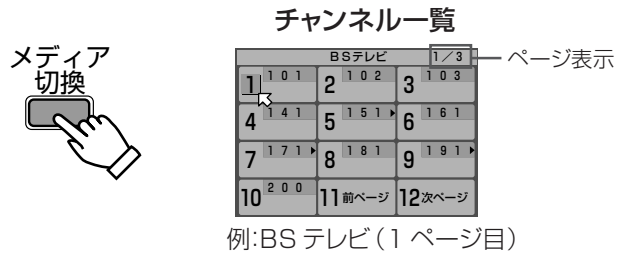
BS デジタル放送には、「BS テレビ放送*」、「BS ラジオ放送*」、「BS データ放送*」の3つの放送(メディア)があります。メディア切替ボタンを押して、見たい放送を選びます。またチャンネル一覧を表示して、チャンネルを選べます。(*「用語解説」P.132)

●データ放送については「データ放送を見る」(P.48)もご覧ください。



1 メディア切替ボタンを押す

ご覧になっている放送(メディア)のチャンネル一覧が表示されます。



押すたびに、「BS テレビ放送」、「BS ラジオ放送」、「BS データ放送」の順で切り換わります。

- チャンネル一覧は各放送に3ページあります。(チャンネルが登録がされていないページは表示されません)
- 2画面表示中はこれらの操作はできません。

2 チャンネルを選ぶ

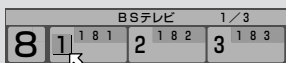
2通りの方法があります。

- ・チャンネル(数字)ボタンで選ぶ
1~10ボタンを押すと、選んだ番号のチャンネルに切り換わります。
 - 前ページを見るには、11ボタンを押す
 - 次ページを見るには、12ボタンを押す
- ・カーソルボタン(◀▶▲▼)で見たいチャンネルを選んで、決定ボタンを押す
 - 前ページを見るには、カーソルボタン(◀▶▲▼)で「11(前ページ)」を選んで、決定ボタンを押す
 - 次ページを見るには、カーソルボタン(◀▶▲▼)で「12(次ページ)」を選んで、決定ボタンを押す

- お買い上げ時にはあらかじめ一部のチャンネルが設定されています。ご自分でも「BSテレビ放送」・「BSラジオ放送」・「BSデータ放送」の各チャンネル一覧にチャンネルをご自由に登録できます。(「好きなチャンネルを設定する」P.72)

こんなときは？

マルチチャンネル放送*時は、手順2を行ったあとで、3チャンネル分のチャンネル一覧が表示されます。



ご覧になりたいチャンネルをカーソルボタン(◀▶▲▼)で選んで、決定ボタンを押してください。

(*「用語解説」P.133)

便利な機能で楽しむ 画面サイズを変える

このテレビでは、横縦比(画面サイズ)16:9の横長画面を活かして、いろいろな画面サイズで映像を楽しむことができます。

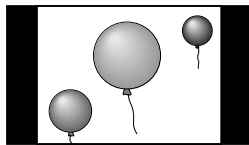
- 横縦比16:9の映像を受信しているときは16:9固定となります。
- BSデジタル放送の場合、横縦比4:3の映像を受信しているときは「ノーマル」か「パノラマ」が選べます。

画面サイズの種類

ノーマル

- テレビ番組をオリジナルのサイズ(4:3)で見るとき

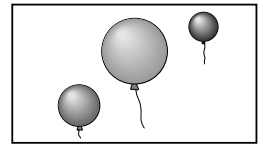
従来のテレビの映像は、横と縦の比率が4:3となっています。この映像をオリジナルのサイズで映します。このとき、左右に黒い帯が残ります。



シネマ

- 映画番組を見るとき

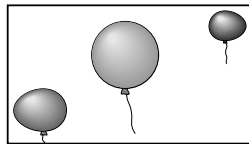
劇場サイズの映画番組や映画ソフトを黒い帯が見えないように拡大します。映像によっては黒い帯が残ることがあります。



パノラマ

- テレビ番組を自然に拡大して見るとき

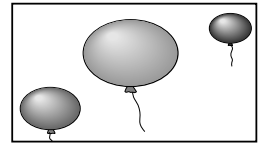
従来のテレビの映像(4:3)を、不自然に見えないように、横長の画面いっぱいに拡大します。



フル

- テレビ番組を画面いっぱいに拡大して見るとき

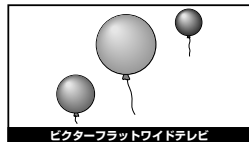
従来のテレビの映像(4:3)を、そのまま画面いっぱいに映します。



字幕パノラマ

- 字幕入りの映画番組を見るとき

映画番組などで画面下側に字幕の入った部分を圧縮して、字幕が切れないようにします。



著作権の侵害について

テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ選択機能(パノラマ)等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

「ノーマルサイズ」ご使用時の注意

長期間「ノーマル」サイズでご覧になると、画面左右に帯が残る「焼きつき」が発生しやすくなります。また非常に明るい映像でご覧になると、さらに焼きつきが発生しやすくなります。

画面サイズを変えるときは、ご覧になっている放送や入力によって選べる画面サイズが異なります。

■従来のテレビ放送やビデオなど

画面サイズ選択

- オートパノラマ
- パノラマ
- 字幕パノラマ
- シネマ
- フル
- ノーマル

■BSデジタル放送などのハイビジョン(1125i, D4映像入力*)

画面サイズ選択

- デジタルHD
- アナログHD

BSデジタル放送のハイビジョン番組で、画面上部に黒い帯が見えるときは「アナログHD」を選んでください。(ふだんは「デジタルHD」にしておきます。)

■プログレッシブ*(525p, D4映像入力*)

画面サイズ選択

- パノラマ
- シネマ
- 字幕パノラマ
- フル
- ノーマル

■プログレッシブ(750p, D4映像入力)

画面サイズ選択

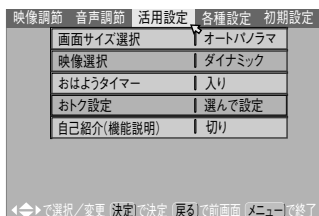
- フル

(*「用語解説」P.132、133)

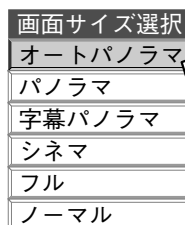


画面サイズを変える 従来のテレビ放送やビデオなどの場合

1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▲▼)を押して「画面サイズ選択」を選び、決定ボタンを押す



例：従来のテレビ放送のとき

3 カーソルボタン(▲▼)を押してお好みの画面サイズを選ぶ

選んだ画面サイズに切り換わります。

ご覧になっている放送や外部入力端子により、選べる画面サイズが異なります(左ページ)。

4 決定ボタンを押す

ボタンを押さなくても、数秒すると選んでいる画面サイズに決定されます。

本体のボタンで操作するときは

画面サイズ選択ボタンを繰り返し押します。1度押すと、現在の設定を表示します。その後押すたびに画面サイズが切り換わります。

こんなときは？

「オートパノラマ」のときは…

「パノラマ」(または「ノーマル」)、「シネマ」「字幕パノラマ」の中から最適な画面サイズが自動的に設定されます。

- 「パノラマ」サイズになるか「ノーマル」サイズになるかは、設定によります。くわしくは「オートパノラマの画面サイズを設定する」(P.25)をご覧ください。
- 黒帯のある映画や暗い映像では、判別のために数秒間時間がかかることがあります。
- 暗いシーンなど、映像によっては動作しないことや、途中で画面サイズが切り換わることがあります。このときは、「オートパノラマ」以外の画面サイズを選んでください。画面サイズが固定されます。

ワイドクリアビジョン放送*を受信すると…

画面サイズは自動的に「シネマ」に切り換わります。

(*「用語解説」P.133)

便利な機能で
楽しむ

画面サイズを変える
BS デジタル放送の 4:3 映像の場合



ふたを開けたところ

画面の位置を調節する

オートパノラマの画面サイズを設定する



ふたを開けたところ

画面サイズを変える (つづき)

画面サイズを変える

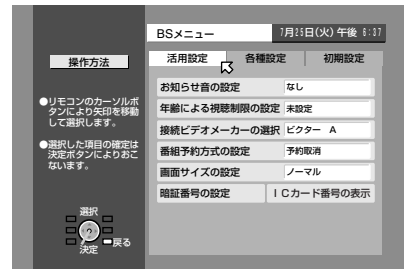
BS デジタル放送の 4:3 映像の場合

BSデジタル放送の画面サイズ4:3の映像をオリジナルのサイズで映すか、画面いっぱいに映すかを選びます。

- 操作をする前に、BS/地上波ボタンを押してBSデジタル放送にしてください。

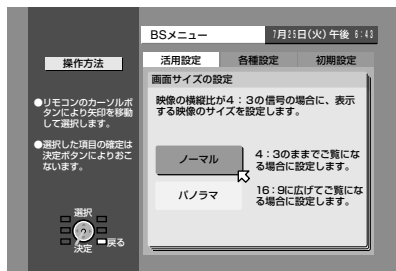
1

BSメニューボタンを押してBSメニューを表示させる



2

カーソルボタン(▲▼)を押して「画面サイズの設定」を選び、決定ボタンを押す



3

カーソルボタン(▲▼)を押して「ノーマル」または「パノラマ」を選び、決定ボタンを押す

BSメニューに戻ります。

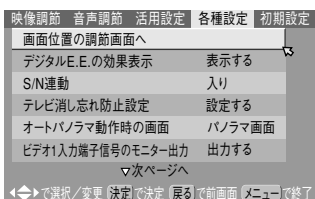
4

BSメニューボタンを押して終了する

画面の位置を調節する

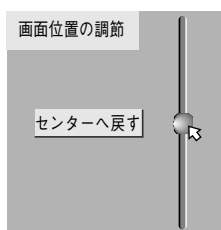
映画の字幕が隠れてしまうときなどに、画面の上下の位置を調節します。

- 1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して「画面位置の調節画面へ」を選び、決定ボタンを押す

「画面位置の調節」画面が表示されます。



- 3 カーソルボタン(▲▼)を押して画面の位置を調節する

センターに戻すときは、カーソルボタン(◀)で「センターへ戻す」を選んで決定ボタンを押す。

- 4 テレビメニューボタンを押して終了する

ご注意

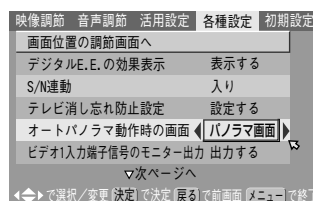
- ノーマルサイズでご覧になっているときは、画面の上下移動はできません。
- 画面サイズを切り換えると、画面上下移動の設定は解除されます。
- BSデジタル放送を見ているときは、画面位置の調節はできません。

オートパノ라마の画面サイズを設定する

オートパノ라마のとき、画面サイズ(横:縦の比率)4:3の映像を、画面いっぱい(横)に拡大して映すか、画面サイズ4:3のまま(縦)で映すかを設定します。

- 1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して「オートパノ라마動作時の画面」を選ぶ



- 3 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を変更する

- 「ノーマル画面」:
画面サイズが4:3の画面になります。パノ라마画面での映像の変形が気になるときはこちらを選びます。
- 「パノ라마画面」:
画面いっぱいの映像になります。

- 4 テレビメニューボタンを押して終了する

便利な機能で
楽しむ

2画面にする

2つの番組を同時に楽しむことができます。

- BSデジタル放送を2画面表示するときには、次の操作を行うまえにBSデジタル放送に切り換えてください。

1 マルチボタンを押して、画面に選択表示を出す

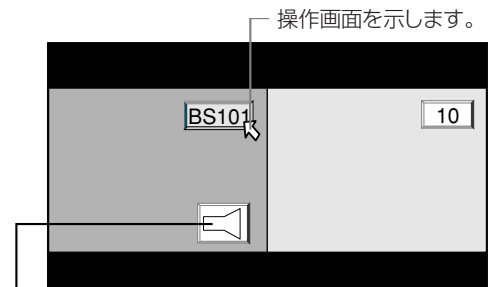


2 カーソルボタン(◀▶)を押して「2画面」を選び、決定ボタンを押す

2画面表示になります。

それまでご覧になっていた画面が左画面になります(操作画面)。

- ご覧になっている映像によっては、2画面分割された片側の画面サイズが16:9のワイド画面になります。



スピーカーから音が出ていることを示します。
(ヘッドホンをつないでいるときは、ヘッドホンのマークになります。)

操作画面を変えるには

2画面にしたときは、左画面が操作できる画面(操作画面)になっています。操作画面を変えるにはカーソルボタン(◀▶)を押します。

音声は操作画面の音声スピーカー(またはヘッドホン)から聞こえてきます。



画面入換ボタン

ふたを開けたところ

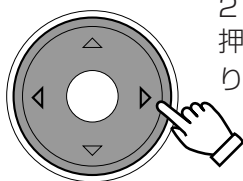
左右の画面を入れ換えるには

画面入換



画面入換ボタンを押します。
左右の画面が入れ換わります。

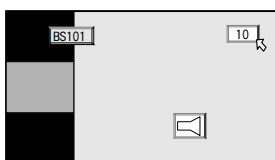
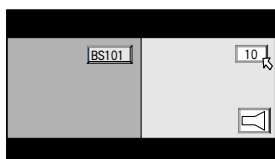
操作画面を拡大するには



2画面中にカーソルボタンを押すと、操作画面が大きくなります。

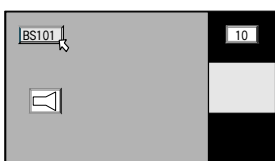
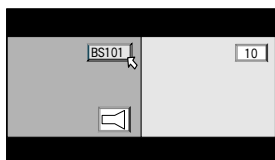
●左画面を拡大するとき:

左画面を操作画面にして、カーソルボタン(◀)を押します。



●右画面を拡大するとき:

右画面を操作画面にして、カーソルボタン(▶)を押します。



1画面に戻すには

ご覧になりたい方の画面を操作画面にして、決定ボタンを押します。選んだ画面の映像が1画面になります。

ご注意

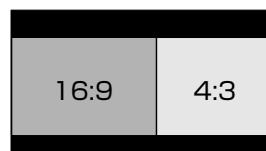
- BSデジタル放送を2画面表示しているときは、画面入換はできません。
- 2画面中のBSデジタル放送では、チャンネル切替時に表示される情報(音声や番組情報)は表示されません。
- データ放送の操作(※P.48)はできません。
- 次のボタンは操作できません。
クイック番組表、ホームメニュー、日付+/-、週間番組表、局別番組表、予約確認、番組説明、i.LINK、信号切換、マルチビュー、BSメニュー、どこでもズーム、ナチュラルシネマ
- 2画面中はオートパンorama(※P.23)は使えません。
- 750pの映像をご覧のときは、2画面表示できません。

2画面で見ることが出来る組み合わせ

		右画面								
		テレビ	ビデオ1		ビデオ2	ビデオ3		ビデオ4		
左画面	テレビ	VHF/UHF/CATV	BSデジタル	映像・S映像入力	D4映像入力	映像・S映像入力	D4映像入力	ビデオ4		
		テレビ	×	×	○	×	○	○	×	○
	BSデジタル	○	×	○	×	○	○	×	○	
	ビデオ1	映像・S映像入力	○	×	×	×	○	○	×	○
		D4映像入力	○	×	×	×	○	○	×	○
	ビデオ2		○	×	○	×	×	○	×	○
	ビデオ3	映像・S映像入力	○	×	○	×	○	×	×	○
		D4映像入力	○	×	○	×	○	×	×	○
	ビデオ4		○	×	○	×	○	○	×	×

- 左画面に次のような信号が入力されると、16:9の画面サイズになります。

- ・S映像入力から「フル」の信号が入力されたとき
- ・D4映像入力端子から16:9の信号が入力されたとき
- ・BSデジタル放送を見ているとき



便利な機能で
楽しむ

番組一覧を表示する



ふたを開けたところ

メモ機能を使う(静止画)

静止ボタン



ふたを開けたところ

番組一覧を表示する

現在放送されている番組を、一度に表示します。どのチャンネルでどんな番組が放送されているのを見ながら、番組を選びます。

●BSデジタル放送のチャンネルは表示されません。

1 マルチボタンを押し画面に選択表示を出す



選択表示

2 カーソルボタン(◀▶)を押して「番組一覧」を選び、決定ボタンを押す

画面が(9、12または16)分割されて、番組が静止画で映ります。(最初の表示中は音声は聞こえません。)

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
C13	C14	C15	C16

受信できる放送局が16以上あるときは、カーソルボタン(◀▶▲▼)を押すと、番組一覧の続きを見ることができます。

- 一通り分割表示の一覧が終わると、左上の画面から順番に、数秒間ずつ動画が再生されます。(このときは音声も聞こえます。)
- 番組一覧で表示できるチャンネルは、チャンネル+/−ボタンで選局できるチャンネルです。(P.91、93)

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して見たい番組を選ぶ

4 決定ボタンを押す 選んだチャンネルに切り換わります。

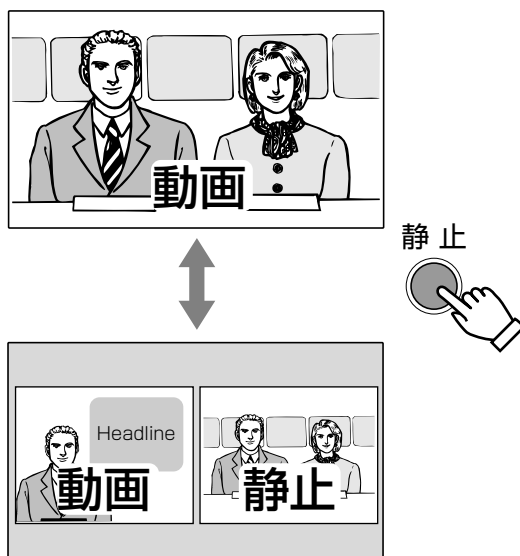
番組一覧中にできない操作

- 次のボタンまたは機能は操作できません。
 - ・オートパンorama機能
 - ・どこでもズームボタン、ナチュラルシネマボタン、音声切換ボタン、静止ボタン、画面入換ボタン、オフタイマーボタン、チャンネル+/-ボタン、入力切換ボタン
- BSデジタル放送をご覧のときに番組一覧を行うと、地上波放送またはCATVに切り換わります。

メモ機能を使う(静止画)

今見ている映像を、静止画面で見ることができます。
応募先の住所などをメモするときに便利です。同時に今まで見ていた番組も楽しめます。

静止させたい場面で 静止ボタンを押す



便利な機能で
楽しむ

もとの画面に戻すには、もう1度静止ボタンを押します。

- テレビメニューボタンを押しても、静止は解除されません。

2画面中に静止ボタンを押すと…

操作画面の動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。もう1度静止ボタンを押すと元の2画面に戻ります。

ご注意

次のようなときは、静止画をご覧になることはできません。

- 番組一覧を表示中のとき。
- D4映像入力端子から750pの映像をご覧のとき。

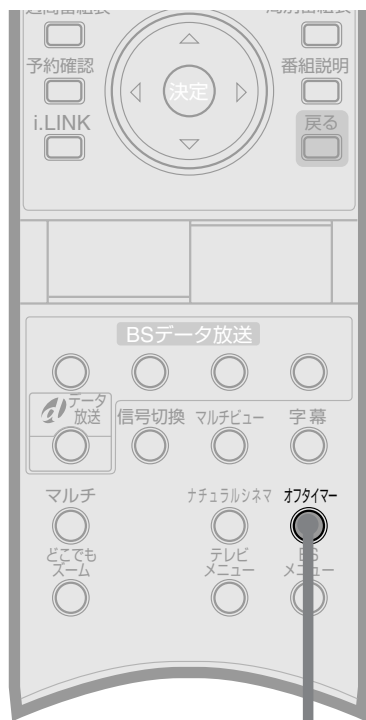
見たいところを拡大する(どこでもズーム)



1,4

ふたを開けたところ

おやすみタイマーを使う(オフタイマー機能)



オフタイマーボタン

ふたを開けたところ

見たいところを拡大する (どこでもズーム)

画面の気になる部分を拡大して見ることができます。

- BS デジタル放送やD4 映像入力をご覧のときは操作できません。

1 どこでもズームボタンを押す

画面に拡大範囲をしめす枠が表示されます。(このとき画面サイズはフルに変わります。)



拡大される範囲(ズーム枠)

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)ズームしたい場所に枠を移動させる



ズーム枠

- ズーム枠は拡大したい部分を指定するめやすの枠です。実際に拡大される位置や場所が異なることがあります。

3 決定ボタンを押す

ズーム枠で囲まれた範囲が、画面いっぱいに表示されます。



おやすみタイマーを使う (オフタイマー機能)

テレビを見ながら寝てしまいそうなとき便利です。設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

4 ズームを解除するには、 どこでもズームボタンを もう1度押す

ズームが解除されてふだんの映像に戻ります。



ズーム中に拡大したい部分を移動するには

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して拡大したい部分を移動することができます。

ズームする部分を選び直すには

戻るボタンを押すと、手順1に戻ります。

拡大された画面について

どこでもズーム機能で拡大された映像は、デジタル処理により拡大しているので、元の映像よりも粗い感じになります。

オフタイマーボタンを押す

1度押すと、設定画面を表示します。その後押すたびに、設定時間が変わります。設定後、画面に残り時間が表示されます。

設定画面

オフタイマー
切り(解除)
30分
1時間
1時間30分
2時間

← 選択中の設定が矢印で示されます。

残り時間表示

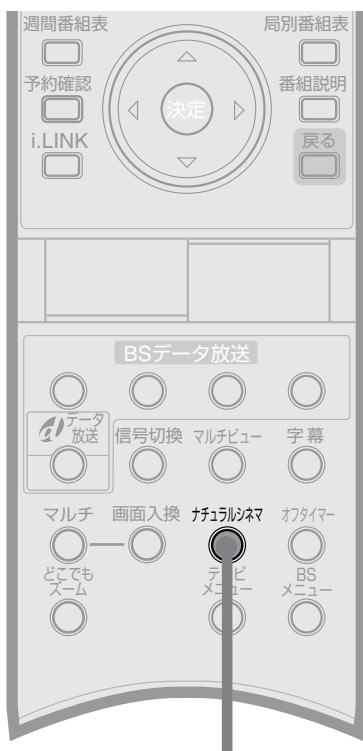
残り時間はテレビの操作をすると消えます。ただし、動作3分前になると、残り時間が強制的に表示されます。

再設定あるいは解除するには

オフタイマーボタンを押し、設定画面を表示して、時間を選び直してください。

便利な機能で
楽しむ

フィルム撮影された映画などをキレイに見る



ナチュラルシネマボタン

ふたを開けたところ

画質を選ぶ



ふたを開けたところ

フィルム撮影された映画などをキレイに見る

フィルム撮影された映画やアニメをご覧になるときに、動きが速いところの輪郭がぼんやりと見えることがあります。このようなときに、ナチュラルシネマを「入り」にすると動きの速いところも、ぼんやり感のない映像でご覧になれます。

- 通常はナチュラルシネマは「切り」にしてお使いください。設定を「入り」にすると、ふだんの放送などは輪郭が二重になったり、不自然な映像になることがあります。

ナチュラルシネマ



押すたびに、ナチュラルシネマの「入り」「切り」が切り換わります。

「入り」にすると、画面に「ナチュラルシネマモードにしました。」というメッセージが出ます。

表示窓のメッセージ

ナチュラルシネマを「入り」にすると、本体の表示窓に「ナチュラルシネマ」と表示されます。(「ル」の文字から左右に1文字ずつ表示され、すべての文字が表示されると1回点滅します。)数秒後、チャンネル表示や、ビデオ入力表示に切り換わります。

ご注意

- 2画面中、番組一覧中はナチュラルシネマボタンは使えません。
- 次のようなときはナチュラルシネマの設定は「切り」になります。
 - ・ ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
 - ・ チャンネルや入力を切り換えたとき
 - ・ 2画面や番組一覧に画面を切り換えたとき
- 次のようなときはナチュラルシネマの設定は「入り」にすることはできません。
 - ・ BSデジタル放送を見ているとき
 - ・ 2画面中や番組一覧中
 - ・ i.LINK接続で、D-VHSビデオデッキの映像を見ているとき(※P.112)
 - ・ D4映像入力端子につないだ機器からの750pや525p、1125iの映像を見ているとき

好みの映像に調節する

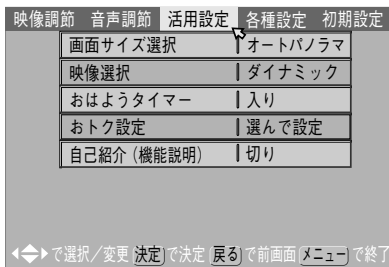
必要に応じて操作をしてください。
ふだんは画質を選ぶだけでもお楽しみいただけます。

- ① **画質を選ぶ**
4種類の画質から選びます。
- ② **映像を調節する** (P.34)
選んだ画質を調節します。
- ③ **シアタープロの調節をする** (P.68)
①で「シアター」の画質を選んだときに、さらに細かな調節ができます。詳しい知識をお持ちの方向けの調節です。

画質を選ぶ

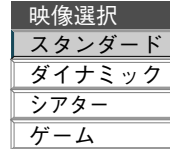
4種類の画質の中から、好みや状況にあわせて選んでください。

- 1 **テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ**



- 2 **カーソルボタン(▲▼)を押して「映像選択」を選び、決定ボタンを押す**

1度押すと、現在の設定が表示されます。



例:「スタンダード」を選んでいるとき

- 数秒間操作を行わないと、通常の画面に戻ります。手順1に戻ってやり直してください。

- 3 **カーソルボタン(▲▼)を押して画質を選び、決定ボタンを押す**

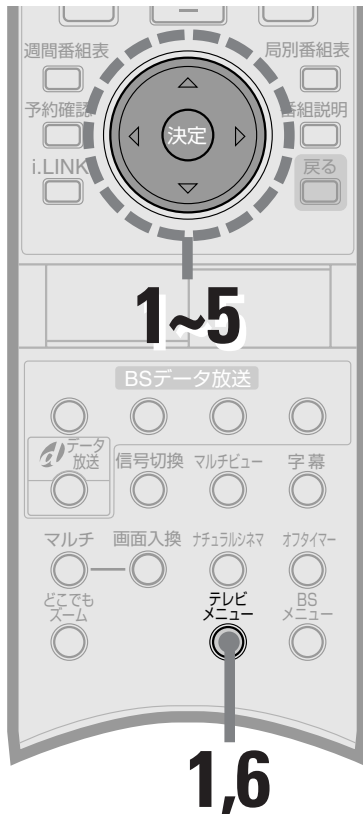
選んだ画質に切り換わり、設定メニューが消えます。

画質を選ぶときのめやす

スタンダード	ふつうの明るさの部屋でくっきりとした映像を見たいとき
ダイナミック	明るい部屋で明暗のはっきりとしたメリハリのある映像を見たいとき
シアター	映画番組や映画ソフトを見たいとき
ゲーム	テレビゲームを楽しむとき 明るさをおさえ、輪郭を強調した映像になります

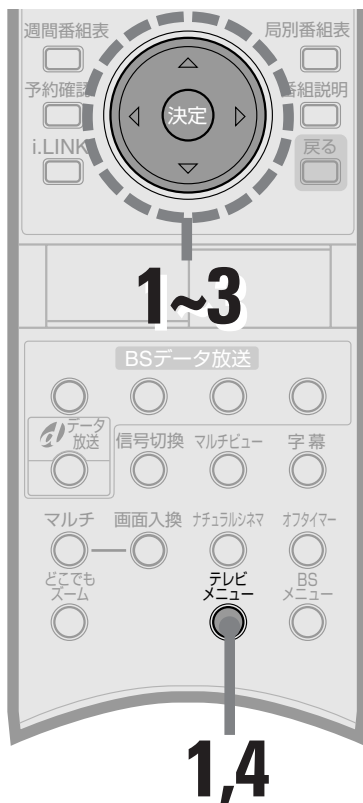
便利な機能で
楽しむ

映像を調節する



ふたを開けたところ

本来の解像度で表示する



ふたを開けたところ

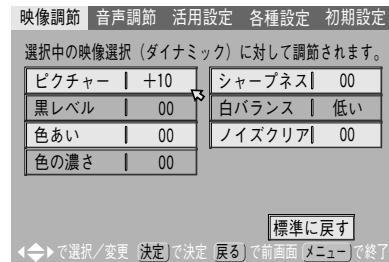
お好みの映像に調節する (つづき)

映像を調節する

選んだ画質をお好みにあわせて調節できます。

- 4種類の画質を別々に調節できます。

- 1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「映像調節」を選ぶ



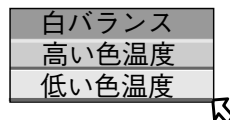
- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して調節したい項目を選び、決定ボタンを押す

調節用の画面が表示されます。

例: 「ピクチャー」を選んだとき



例: 「白バランス」を選んだとき



- 数秒間操作を行わないと、手順1の画面に戻ります。

- 3 カーソルボタン(◀▶)を押して調節する

- 白バランスの調節はカーソルボタン(▲▼)を使います

本来の解像度で表示する

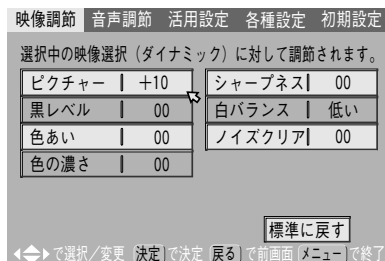
通常は、設定を「入り」にしてご使用ください。ノイズを抑えた見やすい映像でご覧いただけます。

ノイズよりも、解像度を優先したいときは、「切り」に設定してください。

便利な機能で
楽しむ

4 調節が終わったら決定ボタンを押す

メニュー画面が表示されます



- 調節が終わったら、戻るボタンを押してもメニュー画面に戻ることができます。

5 他の項目も調節するときは手順2～4をくり返す

6 テレビメニューボタンを押して終了する

お買い上げ時の設定に戻すには

手順2で「標準に戻す」を選び、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

調節項目の内容と調節のめやす

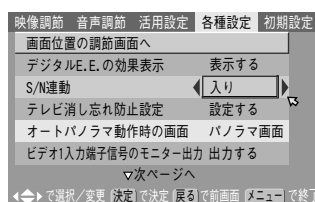
調節項目	◀	▶	調節の目安
ピクチャー	暗く・淡く	明るく・濃く	明るさ・色の濃さを決める
黒レベル	暗く	明るく	見やすい明るさに
白バランス	高	低	画面全体の色調を選ぶ 高：標準 低：赤みが強くなる
色の濃さ	淡く	濃く	健康的な肌色に
色あい	赤っぽく	緑っぽく	(交互に調節)
シャープネス	やわらかく	くっきり	好みの輪郭に
ノイズクリア	弱	強	画面のざらつきが少なくなるように調節

- ノイズクリアの調節中(00→+01または+01→00)に一瞬映像が消えますが、故障ではありません。

1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「S/N連動」を選ぶ

3 カーソルボタン(◀▶)を押して「入り」「切り」を選ぶ



4 テレビメニューボタンを押して終了する

お好みの音声に調節する

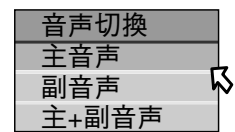
音声を選ぶ

通常のテレビ放送やBSデジタル放送を見ているときに、聞きたい音声を選ぶことができます。

通常のテレビ放送を見ているとき

二重音声放送やステレオ音声放送のときに、音声切換ボタンを押して、聞きたい音声を選びます。

音声切換



例：二重音声放送を受信しているとき

1度押すと、現在の設定が表示されます。押すたびに、次のように音声と表示が切り換わります。

二重音声放送受信中は：

「主音声」→「副音声」→「主+副音声」→「主音声」→…。

ステレオ放送受信中は：

「ステレオ」→「モノラル」→「ステレオ」→…。

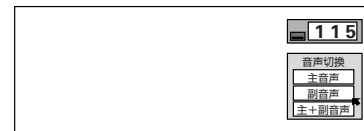
BSデジタル放送を見ているとき

映画の英語と日本語(吹替え)などのように、番組によっては複数の音声信号が送られているものがあります。

● 2画面表示中は操作できません。

1

音声切換ボタンを押して、画面に選択表示を出す



2

カーソルボタン(▼▲)で聞きたい音声を選び、決定ボタンを押す

「信号切換」で音声を選ぶときは

BSデジタル放送では「信号切換」によって他の音声を選べる番組があります。「信号を切り換える」(P.55)をご覧ください。

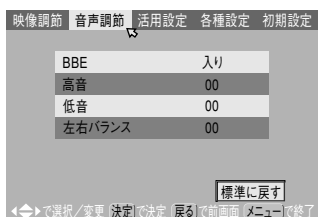


ふたを開けたところ

音声を調節する

好みの音声に調節することができます。

- 1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「音声調節」を選ぶ



- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して調節や設定したい項目を選ぶ



- 3 カーソルボタン(◀▶)を押して調節や設定をする

- 4 他の項目を調節するとき
は、手順2と3をくり返す

- 5 テレビメニューボタンを押して終了する

音声調節のめやす

	◀	▶
BBE*	「入り」と「切り」の切り換え 「入り」に設定すると、原音に忠実で聞きやすい音を再現します。	
高音	弱く	強く
低音	弱く	強く
左右バランス	左側が大きく	右側が大きく

*BBEは、BBE Sound社の登録商標です。

お買い上げ時の設定に戻すには

- 手順2で「標準に戻す」を選び、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

便利な機能で
楽しむ

BS デジタル放送を見る ホームメニューで選ぶ

ホームメニューでは次のようなことができます。

「現在の他チャンネル」：ご覧のメディア(BSテレビ・BSラジオ・BSデータ)の裏番組をすべて確認することができます。

「検索」：番組の種類(ジャンル)を指定して番組を選ぶことができます。

「いつでも情報」：お気に入りのデータ放送のチャンネルを登録して簡単に選ぶことができます。

現在の他チャンネル

現在選んでいるチャンネルの映像

- 下記の場合は黒くなり、何も表示されません。
 - ・有料番組
 - ・視聴年齢制限を超えている場合
- ラジオ放送とデータ放送受信中は、「ラジオ放送受信中」や「データ放送受信中」と表示されます。

現在の日時

ホームメニュー 7月25日(火) 午後 6:52

現在の他チャンネル 検索

番組一覧
「現在の他チャンネル」の番組を表示します。

いつでも情報
ニュース 天気 お好み メール

カーソルで選んでいる番組の情報

放送局名、番組名
放送開始/終了時間

: データ放送 P.48

: 有料番組 P.50

: 購入済み、契約済み

: マルチビュー放送 P.54

: 字幕放送 P.55

: 信号切換 P.55

: 視聴年齢制限 P.74

リモコンの操作案内表示

ホームメニューを操作するリモコンのボタンを説明しています。

いつでも情報

「現在の他チャンネル」を選んでいるときに、表示されます。

「ニュース」、「天気」、「お好み」
カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して項目を選び、決定ボタンを押すと、選んだ項目に設定されているチャンネルの画面になります。

「メール」
メールが表示されます (P.80)。

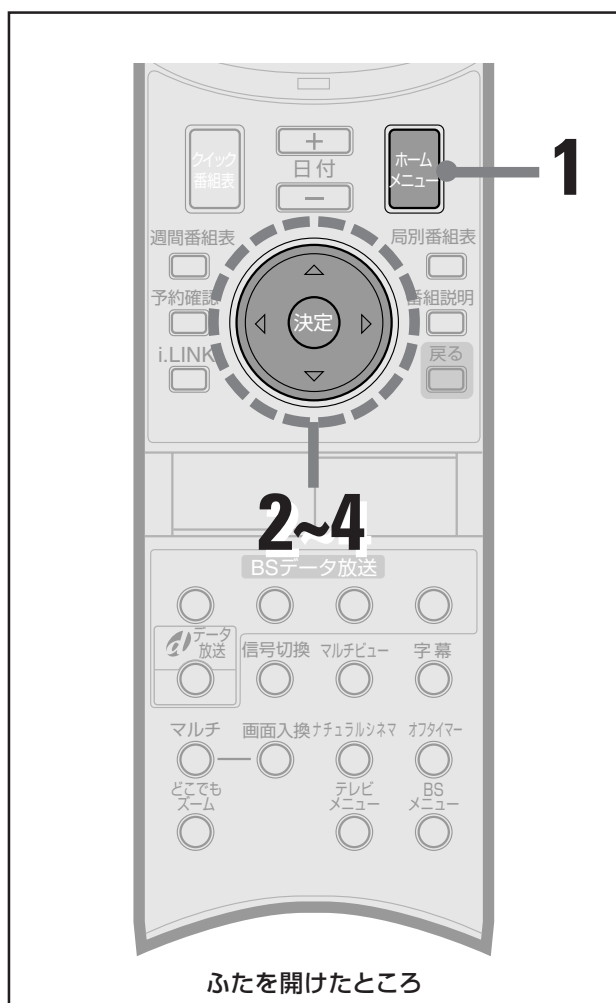
● いつでも情報チャンネルを設定するには (P.43)

検索

ジャンルに当てはまる番組を、すべてのメディア(BSテレビ・ラジオ・データ)から、探せます。

また、番組を予約することもできます (P.56)

検索ジャンル
検索できる番組のジャンル(種類)を一覧表示します。



裏番組から選ぶー「現在の他チャンネル」

裏番組を表示させて番組を選ぶことができます。

●2画面表示中は操作できません。

1 ホームメニューボタンを押す

ホームメニューが表示されます。



2 決定ボタンを押す

裏番組が選べるようになります。



3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して番組を選ぶ

選んだ番組の情報が画面左側に表示されます。



4 決定ボタンを押す

ホームメニューが消え、選んだチャンネルで放送中の番組が映ります。

番組が表示されないときは

電源プラグをコンセントに差し込んで、すぐに「現在の他チャンネル」を表示させると、番組が表示されないことがあります。これは本機に情報がまだ取り込まれていないためで、故障ではありません。数分待って再び操作をしてください。

操作の途中でホームメニューを消すには

ホームメニューボタンを押して下さい。

BSデジタル
放送を見る

ホームメニューで選ぶ (つづき)

見たい番組のジャンルを 指定して選ぶ「検索」

番組の種類と期間(時間)を指定して、その中から番組を選ぶことができます。

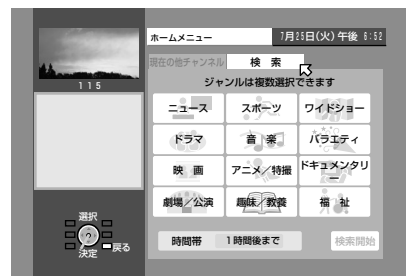
- 最長で7日後までの番組を探ることができます。
- 2画面表示中は操作できません。

次のジャンル(種類)の中から選んでください。

ジャンル

	ニュース		スポーツ
	ワイドショー		ドラマ
	音楽		バラエティー
	映画		アニメ
	ドキュメンタリー		劇場・公演
	趣味・教養		福祉

- 1 ホームメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「検索」を選び、決定ボタンを押す



- 2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して検索したいジャンルを選び、決定ボタンを押す

選んだジャンルが緑色に変わります。

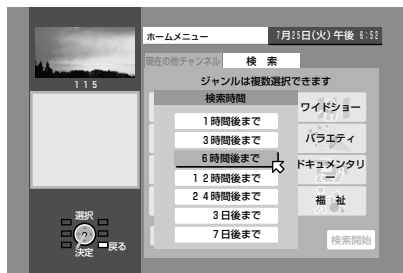
- 複数のジャンルを選ぶときは、手順2を繰り返してください。
- 選んだジャンルを取り消すときは、取り消したいジャンルを選び、決定ボタンを押してください。



ふたを開けたところ

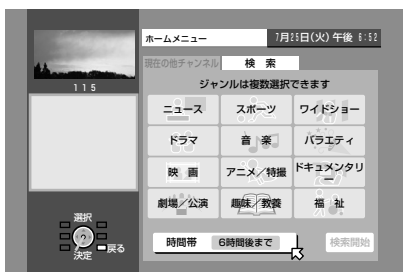
3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「時間帯」を選び、決定ボタンを押す

検索する時間の範囲が表示されます。



4 カーソルボタン(▲▼)を押して、いつまで(期間)検索するかを選び、決定ボタンを押す

時間帯は「1時間後まで」、「3時間後まで」、「6時間後まで」、「12時間後まで」、「24時間後まで」、「3日後まで」、「7日後まで」の7つから選べます。



5 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「検索開始」を選び、決定ボタンを押す

検索中のジャンルは文字背景の明るさが変わります。
検索が終わったら、該当する番組を6つずつ、最大30番組まで表示します。



6 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して番組を選ぶ

選んだ番組の情報が画面左側に表示されます。カーソルボタン(◀▶)を押しつづけると、番組一覧がスクロールして残りの番組が表示されます。



● ジャンルや時間帯を選び直すときはカーソルボタン(◀▶▲▼)で「選び直す」を選び、決定ボタンを押すと、手順2に戻れます。

7 決定ボタンを押す

- 放送中の番組を選んだとき：ホームメニューが消え、選んだ番組が映ります。
- 放送予定の番組を選んだとき：予約画面が表示されます。予約するには「番組を予約する」(P.56)をご覧ください。

検索にかかる時間

「ジャンル」によって検索にかかる時間は異なります。また選んだ「ジャンル」の数や「時間帯」によっても異なります。

ホームメニューで選ぶ (つづき)

いつでも情報から選ぶ

お気に入りのデータ放送のチャンネルを登録して簡単に選ぶことができます。

- 始めに、右ページをご覧ください、「ニュース」、「天気」、「お好み」にお好きなチャンネルを1つずつ登録してください。
- 2画面表示中は操作できません。

1 ホームメニューボタンを押してから、カーソルボタン(▼)をくり返し押しして、「ニュース」に矢印を移す



ニュースのマークが緑色に変わります。

2 カーソルボタン(◀▶)を押して、「ニュース」「天気」「お好み」のいずれかを選ぶ



3 決定ボタンを押す

登録されているチャンネルに切り換わります。

メールについて

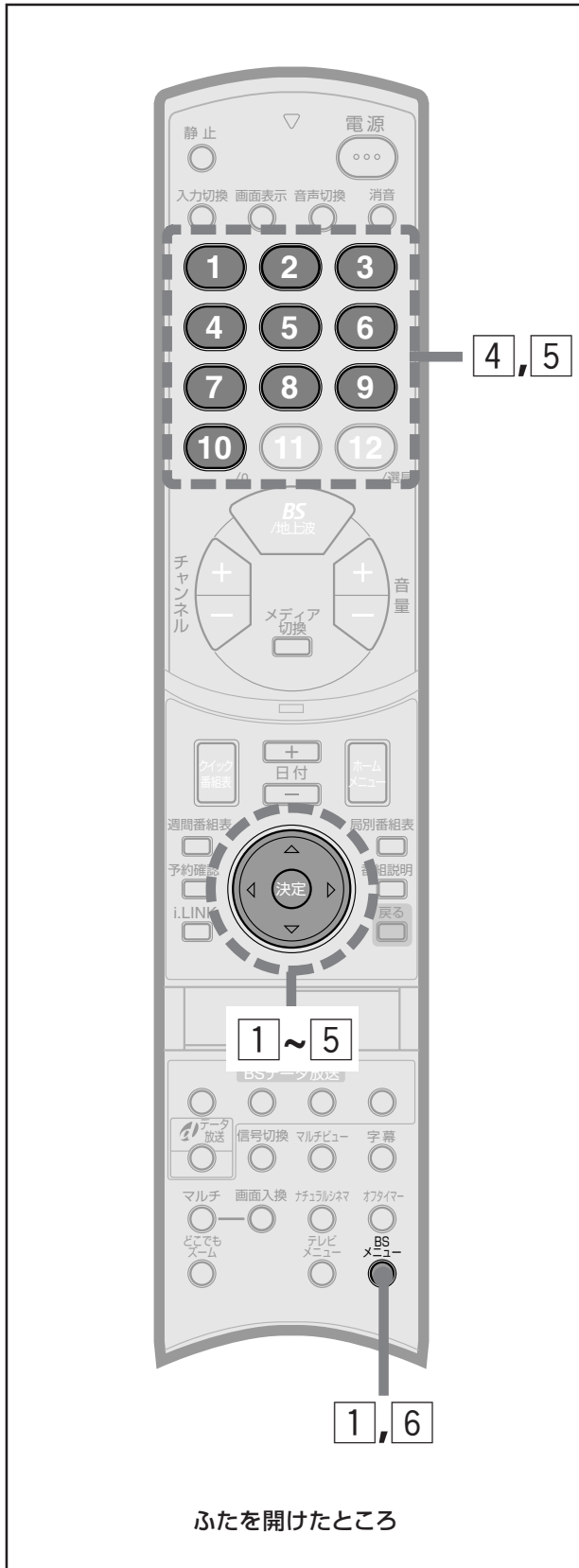
「メールを読む」をご覧ください。(P.80)



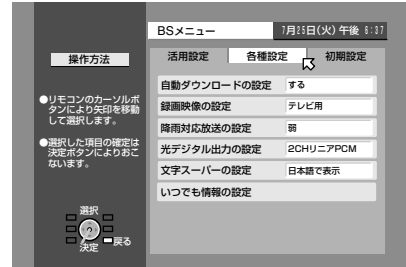
ふたを開けたところ

いつでも情報のチャンネルを 設定・変更するには

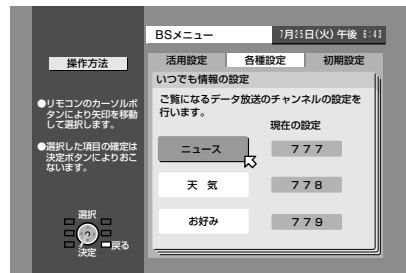
BSメニューの各種設定で行います。



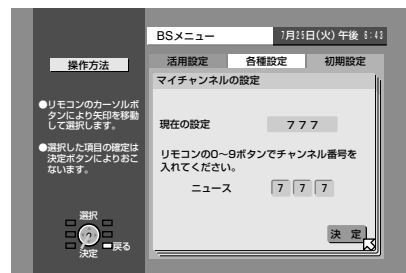
- 1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して「いつでも情報の設定」を選び、決定ボタンを押す



- 3 カーソルボタン(▲▼)を押して設定・変更したい項目を選び、決定ボタンを押す



- 4 数字ボタンを押して設定したいデータ放送のチャンネルを入力し、決定ボタンを押す

- 5 他の項目も変更するときは手順 3 ~ 4 をくり返してください

- 6 BSメニューボタンを押して終了する

BSデジタル
放送を見る

番組表で選ぶ

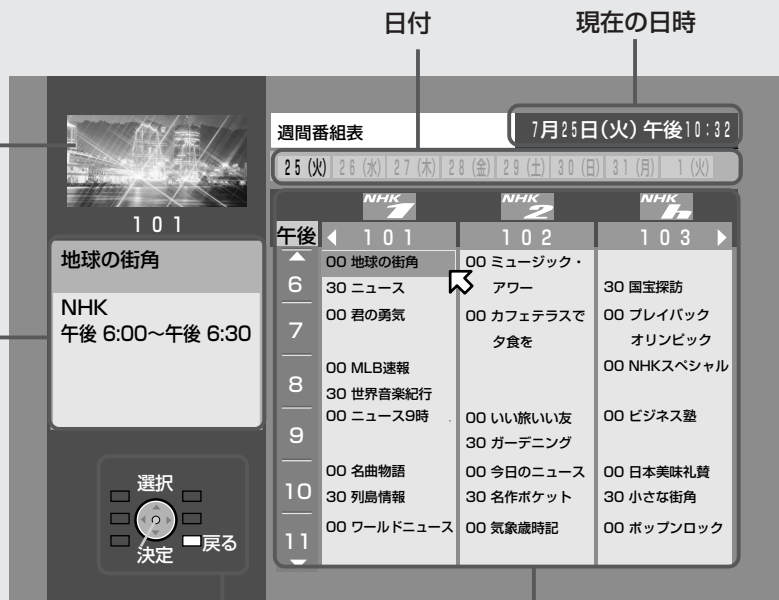
週間番組表、局別番組表とクイック番組表の3つの番組表から、お好きな番組を選ぶことができます。

また視聴予約や録画予約にも使います (P.56)。

週間番組表

現在選んでいるチャンネルの映像

- ラジオ放送とデータ放送受信中は、「ラジオ放送受信中」や「データ放送受信中」と表示されます。



カーソルで選んでいる番組の情報

放送局名、番組名
放送開始／終了時間

: データ放送 P.48

: 有料番組 P.50

: 購入済み、契約済み

: マルチビュー放送 P.54

: 字幕放送 P.55

: 信号切換 P.55

: 視聴年齢制限 P.74

リモコンの操作案内表示

ホームメニューを操作するリモコンのボタンを説明しています。

番組一覧

カーソルボタン(▲▼)を押すつづけると上下に移動して、1週間分の番組を表示します。カーソルボタン(◀▶)を押すつづけると左右に移動してチャンネルが変わります。

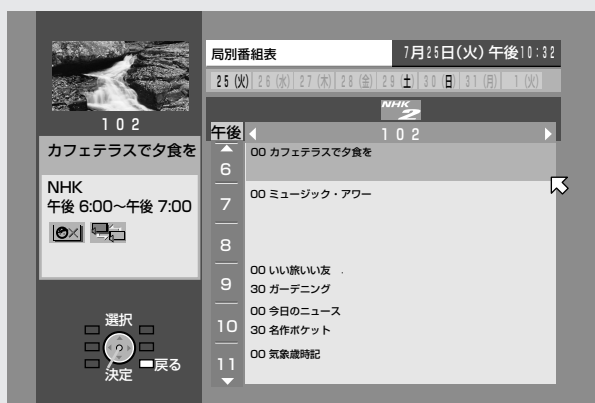
番組情報の自動更新

週間番組表／クイック番組表：

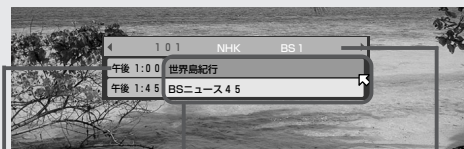
約3分ごとに新しい内容に更新されます。

局別番組表：約1分ごとに新しい内容に更新されます。

局別番組表



クイック番組表



放送開始時刻

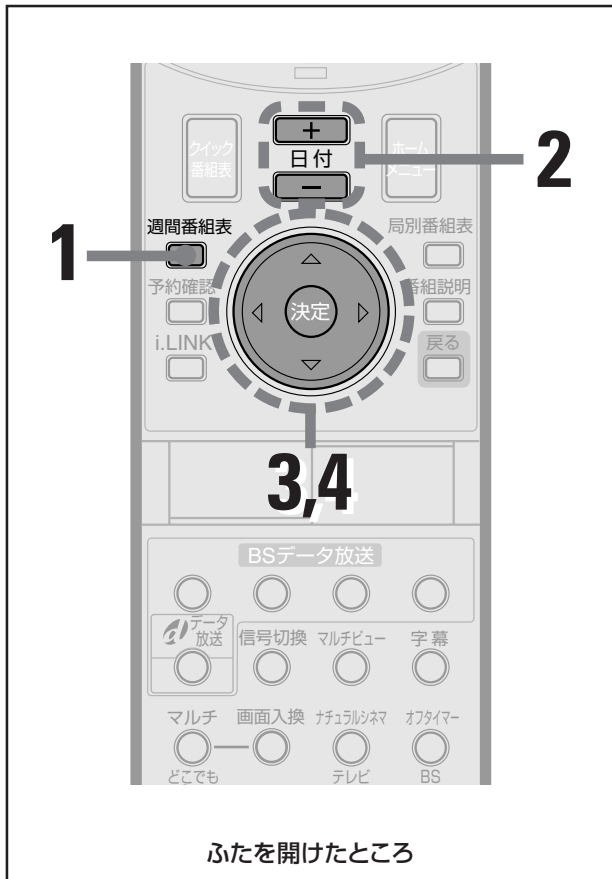
番組名

放送中の番組と、次の番組が表示されます。

放送局名／

チャンネル名

カーソルボタン(◀▶)を押すと、各チャンネルの番組が表示されます。



週間番組表で選ぶ

ご覧のメディア(BSテレビ・BSラジオ・BSデータ)の、現在から1週間先までの番組を表示できます。新聞や雑誌の番組欄を見るような感覚で番組を選ぶことができます。

- 1度に3局、6時間分表示されます。
- 2画面表示中は操作できません。

1 週間番組表ボタンを押す

週間番組表が表示されます。



2 日付+/-ボタンを押して放送日を選ぶ

選んだ日付の番組表が表示されます。



3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して番組を選ぶ

選んだ番組の情報が画面左側に表示されます。



- カーソルボタン(◀▶)を押しつづけると、チャンネルがスクロールします。
- カーソルボタン(▲▼)を押しつづけると、放送時間がスクロールします。

4 決定ボタンを押す

- 放送中の番組を選んだとき：週間番組表が消え、選んだ番組に切り換わります。
- 放送予定の番組を選んだとき：予約画面が表示されます。予約するには「番組を予約する」(P.56)をご覧ください。

操作の途中で週間番組表を消すには

週間番組表ボタンを押します。

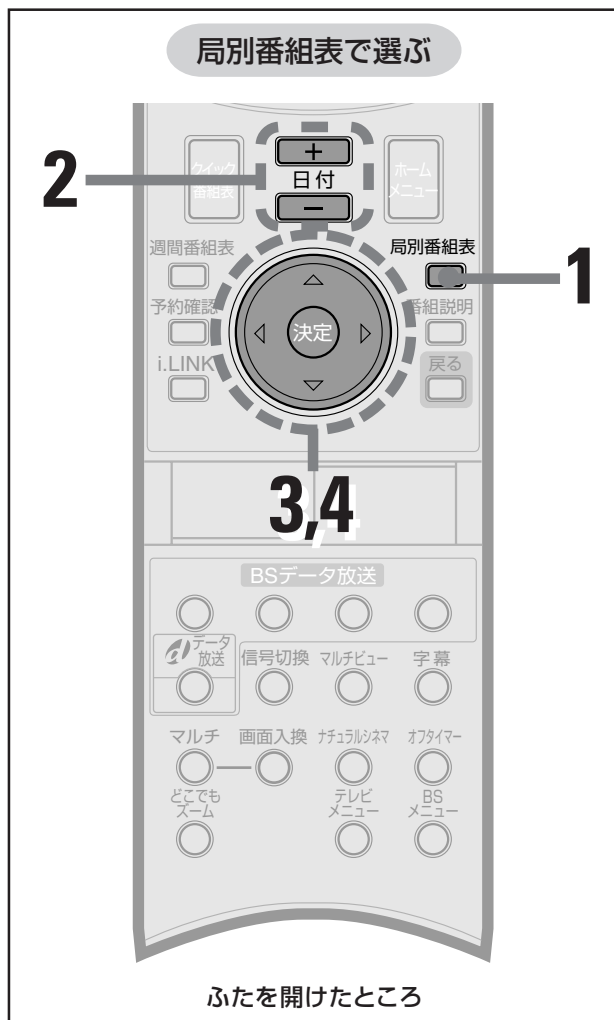
選んだ番組の内容を知るには

手順3で番組説明ボタンを押します。詳しい番組の情報が見られます。(P.53)

番組表が表示されないときは

電源プラグをコンセントに差し込んで、すぐに「週間番組表」を表示させると、番組の表示がされないことがあります。これは本機に情報がまだ取り込まれていないため、故障ではありません。数分待って再び操作をしてください。

局別番組表で選ぶ



番組表で選ぶ(つづき)

局別番組表で選ぶ

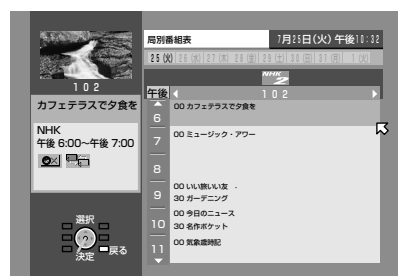
現在見ている放送局の1週間先までの番組を表示できます。

- 1度に表示できるのは6時間分です。
- 2画面表示中は操作できません。

1

局別番組表ボタンを押す

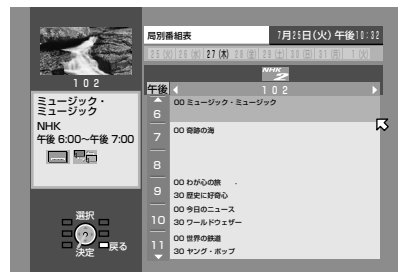
局別番組表が表示されます。



2

日付+/-ボタンを押して放送日を選ぶ

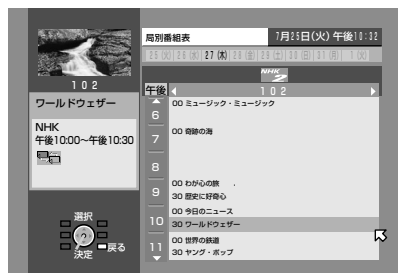
選んだ日付の番組が表示されます。



3

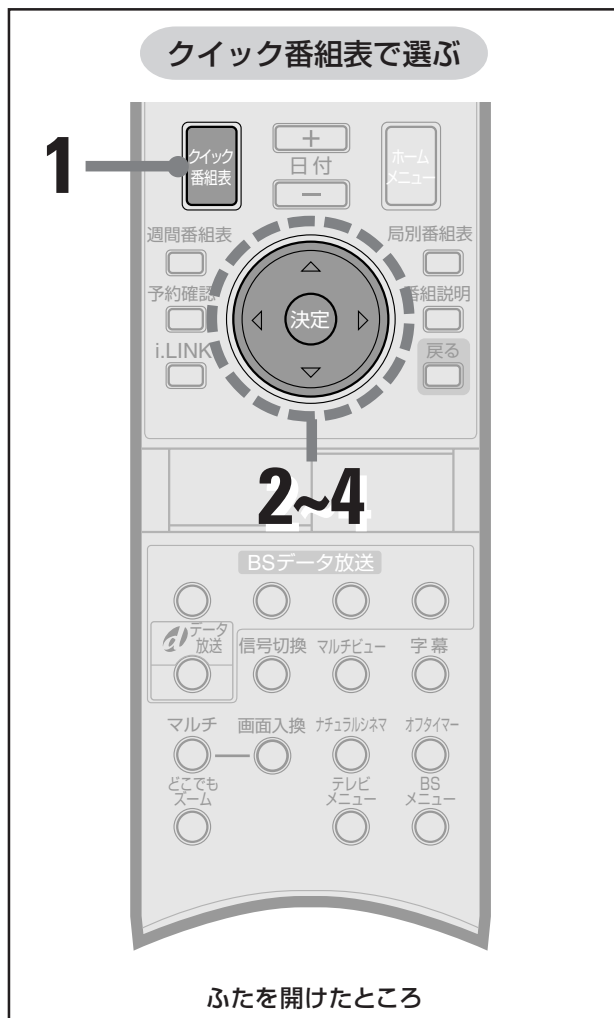
カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して番組を選ぶ

選んだ番組の情報が画面左側に表示されます。



- カーソルボタン(▼▲)を押し続けると、放送時間がスクロールします。
- カーソルボタン(◀▶)を押し続けると、チャンネルがスクロールします。

クイック番組表で選ぶ



4 決定ボタンを押す

- **放送中の番組を選んだとき：**
局別番組表が消え、選んだ番組が映ります。
- **放送予定の番組を選んだとき：**
予約画面が表示されます。予約するには「番組を予約する」(P.56)をご覧ください。

放送局のチャンネル数

放送局によっては時間によって、1チャンネルだけの放送だったり、3チャンネルを使っての放送だったりすることがあります。ハイビジョン放送が行われているときは、1チャンネルだけの放送になります。

操作の途中で局別番組表を消すには

局別番組表ボタンを押します。

選んだ番組の内容を知るには

手順3で番組説明ボタンを押します。
詳しい番組の情報が見られます。(P.53)

番組表が表示されないときは

電源プラグをコンセントに差し込んで、すぐに「局別番組表」を表示させると、番組の表示がされないことがあります。これは本機に情報がまだ取り込まれていないためで、故障ではありません。
数分待って再び操作をしてください。

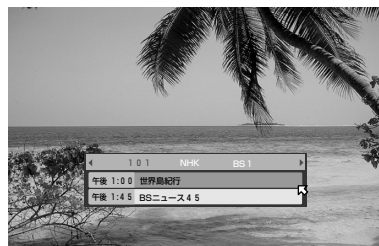
クイック番組表で選ぶ

画面はそのまま、次の番組や裏番組をさがして選べます。

- 2画面表示中は操作できません。

1 クイック番組表ボタンを押す

クイック番組表が表示されます。



2 (他のチャンネルを見るときは) カーソルボタン(◀▶)を押す

選んだチャンネルの情報が表示されます。



3 カーソルボタン(▲▼)を押して番組を選ぶ

4 決定ボタンを押す

- **放送中の番組を選んだとき：**
クイック番組表が消え、選んだ番組が映ります。
- **放送予定の番組を選んだとき：**
予約画面が表示されます。予約するには「番組を予約する」(P.56)をご覧ください。

操作の途中でクイック番組表を消すには

クイック番組表ボタンを押します。

選んだ番組の内容を知るには

手順3で番組説明ボタンを押します。
詳しい番組の情報が見られます。(P.53)

チャンネル(数字)ボタン



データ放送ボタン

ふたを開けたところ

データ放送を見る

 :データ放送のアイコン(P.52)

データ放送には2種類の放送があります。

連動型データ放送:

BSテレビやBSラジオ番組に連動して、付加情報などが放送されます。(番組によります。)

独立型データ放送:

データ放送だけの放送です。

BSテレビ放送に連動した「連動型データ放送」は、その番組を受信中にデータ放送ボタンを押します。

BSラジオ放送に連動した「連動型データ放送」と、「独立型データ放送」は、BSテレビ放送を選ぶのと同じように、チャンネルを選ぶことで見ることができます。

データ放送のサービス内容は各放送局や番組によって異なります。

データ放送の特長

- ニュース、天気予報などをいつでも見られます。
- クイズやアンケートに答えたり、ショッピングなど双方向のサービスを受けられます(電話線の接続が必要です P.95)。
- テレビ番組関連の情報を見られます。
例えばスポーツ中継中に選手のプロフィールや他の試合の経過などを見られます。

ご注意

BS デジタル放送ではさまざまなデータ放送が送られてきます。データ放送の種類によっては表示されない場合や、表示が出るまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。番組によっては、選局と同時に「データ受信中」の表示がされたり、データ放送画面に自動的に切り換わる場合があります。また、時間帯によっては、データ放送がされていないときもあります。

「連動型」のデータ放送を見るとき

BSテレビ放送をご覧のときに、次の操作をしてください。

- チャンネルを選ばと、自動的にデータ放送画面に切り換わる場合があります。

データ放送ボタンを押す

データ放送を見ることができます。



もとの映像に戻るには

データ放送ボタンを押してデータ放送を終了します。データ放送によっては、データ放送ボタンを押してももとの映像に戻らない場合があります。

「独立型」のデータ放送を見るとき

メディア切換ボタンを使って、データ放送のチャンネルを選びます。(P.21)

- ホームメニューの「いつでも情報」に登録しておくと簡単に見ることができます。

ホームメニューからデータ放送を見るには

データ放送はホームメニューの「いつでも情報」にチャンネルを登録しておく、ホームメニューから簡単に見ることができます。(P.43)

- 1 ホームメニューボタンを押して、ホームメニューを表示させる



- 2 カーソルボタン(◀▶)を押して「現在の他チャンネル」を選び、決定ボタンを押す
- 3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「ニュース」、「天気」または「お好み」を選び、決定ボタンを押す

データ放送受信中の操作

データ放送受信中は、リモコンのカラーボタン、チャンネル(数字)ボタン、カーソルボタン(◀▶▲▼)と決定ボタンを使って、データ放送の画面上の指示に従って、操作を行います。

画面上のボタンに色がついているときは、その色に対応するカラーボタンで選択します。

カラーボタンと違う色のときや、カラーボタンで選べないときは、カーソルボタン(◀▶▲▼)と決定ボタンで操作します。

画面上に操作ガイドが表示されているときは、その指示にしたがって操作してください。

- 2画面表示中は操作できません。

データ放送受信中の操作時は...

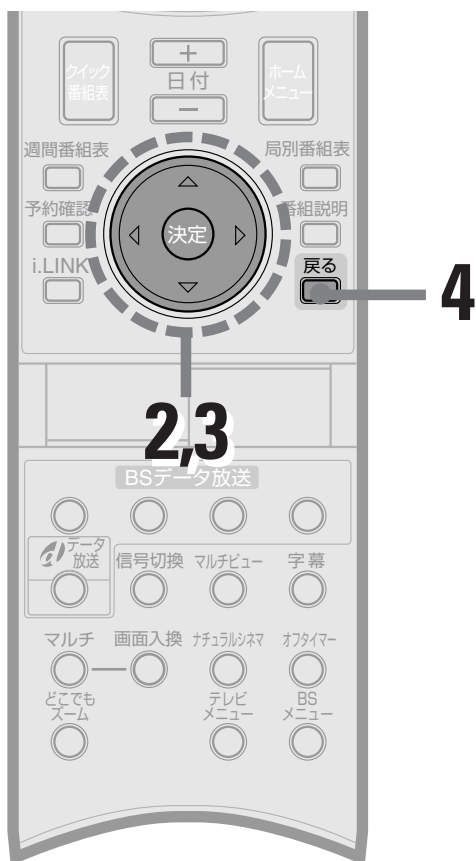
- 操作は画面を見ながらゆっくりと行ってください。操作が速いと正しく反応しないことがあります。
- データ放送ボタンを押すと、データ放送画面が表示されるまで、「データ受信中」と表示されます。
- 1度受信したデータは記憶していますので、再表示するときは速くできますが、チャンネルを切り換えたり、別のデータ放送に切り換えた後は表示に時間がかかります。

データ放送のボタンの表示

データ放送のボタンの表示は、放送局や番組によって異なります。

- データ放送では、画面で表示される操作ボタンと実際に操作するボタンが異なることがあります。

有料番組を見る



ふたを開けたところ

有料番組を見る

 : 有料番組のアイコン (P.52)

BSデジタル放送には、番組ごとに料金のかかる有料番組もあります (ペイ・パー・ビュー*)。 (*「用語解説」 P.133)

現在放送されているペイ・パー・ビューの有料番組を選んだときや、番組表などで放送予定のペイ・パー・ビューの有料番組を選んだときには、その番組を購入するかどうかを決める画面が表示されます。

- ペイ・パー・ビューをご覧になるには、電話線を必ず接続してください。(「電話線をつなぐ」 P.95)
- 放送中の番組では番組終了時間に近くなると、番組を購入できないことがあります。
- 2画面表示中は操作できません。

1

有料番組を選ぶ

- 現在放送中の番組を選ぶには、数字(チャンネル)ボタンやチャンネル+/−ボタンで選びます。
ホームメニューや番組表からも選べます。(P.38~47)
- 放送予定の番組は、番組表から選びます。(P.44~47)

現在放送中の番組を購入するときは、手順4の操作が終わるまで映像・音声は出ません。
番組によってはプレビュー(番組の内容を確認するための短時間の放送)が見られることがあります。

2

料金、録画可能かどうかなどを確認してから、決定ボタンを押す

番組購入のための画面が表示されます。



3桁の数字で選ぶ



1,5

ふたを開けたところ

3 カーソルボタン(◀▶)を押して「視聴購入する」または「録画購入する」を選び、決定ボタンを押す

4 番組表などが画面から消えないときは、戻るボタンを押す

視聴年齢制限のある番組のときは

視聴年齢制限を設定しているとき(※ P.74~77)に、設定した年齢を超える番組を購入するときには、手順1の後でチャンネル(数字)ボタンを押して暗証番号を入力する必要があります。

例)「17歳」に視聴年齢制限を設定したとき:

- 番組の視聴年齢制限が、「18歳以上」、「19歳以上」など、設定した年齢より上ならば
→ 番組を購入するには暗証番号を入力してください。
- 番組の視聴年齢制限が、「17歳以上」、「16歳以上」など、設定した年齢と同じまたは下ならば
→ 暗証番号を入力しなくても番組を購入できます。

番組購入を途中で中止するには

- 現在放送中の番組を購入しようとしているときは、別のチャンネルを選びます。
- 番組表から操作しているときは戻るボタンを押します。

3桁の数字で選ぶ

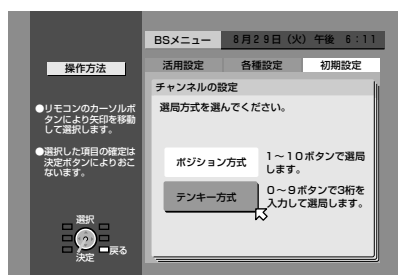
お買い上げ時の設定では、1~10のチャンネル(数字)ボタンを押すだけでチャンネルを選ぶことができますようになっていきます(ポジション方式)。BSデジタル放送の3桁のチャンネル番号を入力して選局したいときは、「テンキー方式」を選びます。

● 2画面表示中は操作できません。

1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で、「初期設定」を選ぶ
「初期設定」画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「チャンネルの設定」を選び、決定ボタンを押す
「チャンネルの設定」画面が表示されます。

3 カーソルボタン(▲▼)を押して「選局方式の設定」を選び、決定ボタンを押す



「選局方式の選択」画面が表示されます。

4 カーソルボタン(▲▼)を押して「テンキー方式」を選び、決定ボタンを押す。
「チャンネルの設定」画面に戻ります。

5 BSメニューボタンを押して終了する。

ポジション方式に戻すには

手順4で「ポジション方式」を選びます。

画面表示ボタン



カーソル/決定ボタン

番組説明ボタン

ふたを開けたところ

番組の内容を知りたい

BSデジタル放送の番組を見ているときに、その番組がどんな放送か（有料放送かどうかなど）確認できます。また、番組の簡単な説明を見ることもできます。

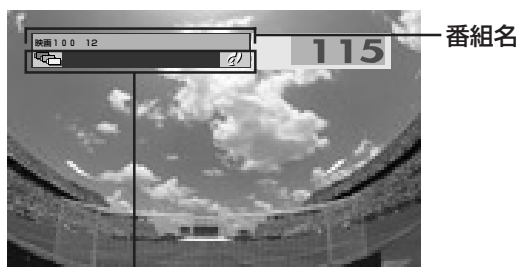
画面表示で確認する

BSデジタル放送をご覧のときに、次の操作をしてください。

- 2画面表示中は操作できません。
- 放送内容が表示されない場合があります。

画面表示ボタンを押す

放送内容を示すアイコンバーが表示されます。



アイコンバー

番組の放送形式にあわせて、次のようなアイコンが表示されます。

アイコンの種類

- : データ放送 ④ P.48
- : 有料番組 ④ P.50
- : 購入済み / 契約済み
- : マルチビュー放送 ④ P.54
- : 字幕放送 ④ P.55
- : 信号切替 ④ P.55
- : 視聴年齢制限 ④ P.74

アイコンはホームメニュー・週間番組表・局別番組表にも表示されます。(④ P.38、44)

画面表示を消すには

繰り返し画面表示ボタンを押します。

- BS データ放送画面では、アイコンは表示されません。

番組の説明を見る

現在放送中の番組の説明を見るとき

BSテレビ放送をご覧のときに、次の操作をしてください。

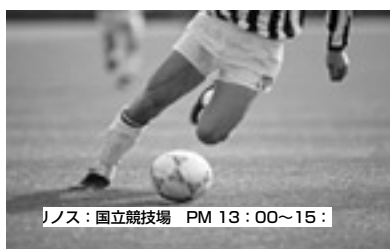
- 番組によっては説明が用意されていないことがあります。
- 2画面表示中は操作できません。

番組説明ボタンを押す

番組説明の「一行表示」が表示されます。

一行表示

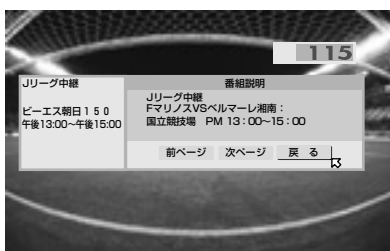
このときは、説明がスクロールして全文を表示します。



もう一度番組説明ボタンを押すと

番組説明の「一覧表示」が表示されます。

一覧表示



さらにもう一度番組説明ボタンを押すと表示が消えます。

一覧表示で説明の続きを見るには

番組説明が表示しきれないときは、カーソルボタン(◀▶)を押して「次ページ」を選び、決定ボタンを押すと説明の続きが表示されます。前の説明に戻るときは「前ページ」を選んで、決定ボタンを押します。

放送予定の番組の説明を見るとき

BSテレビ放送をご覧のときに、次の操作をしてください。

- 番組によっては説明が用意されていないことがあります。
- 2画面表示中は操作できません。

1 番組表を表示して、放送予定の番組を選ぶ

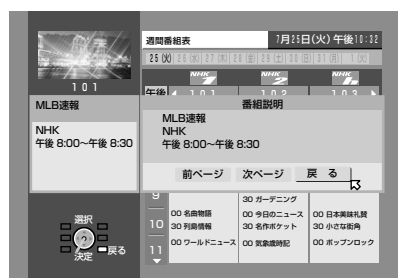
- カーソルボタン(◀▶▲▼)で選びます。決定ボタンは押さないでください。



例：週間番組表で番組を選ぶ。

2 番組説明ボタンを押す

選んだ番組の番組説明画面が表示されます。



番組説明の表示を消すには

番組説明ボタンを押します。

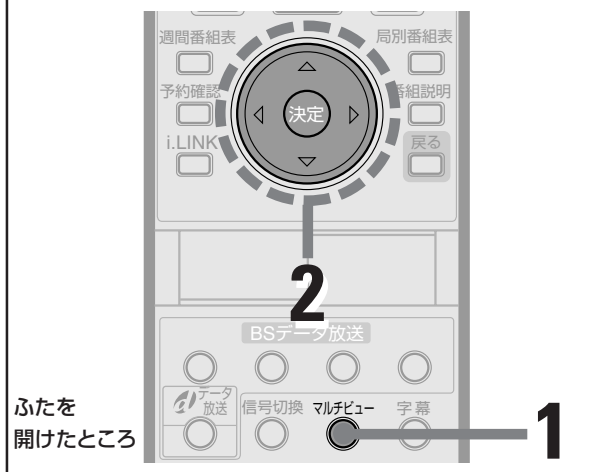
番組表を消すには

それぞれの番組表ボタン(週間番組表ボタン、局別番組表ボタン、クイック番組表ボタン)を押します。

説明の続きを見るには

番組説明が表示しきれないときは、カーソルボタン(◀▶)を押して「次ページ」を選び、決定ボタンを押すと説明の続きが表示されます。前の説明に戻るときは「前ページ」を選んで、決定ボタンを押します。

映像アングルを変えて見る



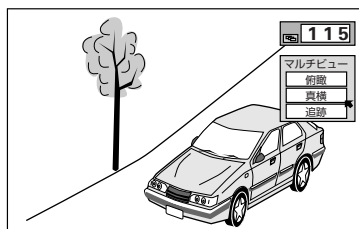
映像アングルを変えて見る

:マルチビュー放送のアイコン(P.52)

マルチビュー放送の番組では、メイン映像の他に、副(サブ)映像を選べます。

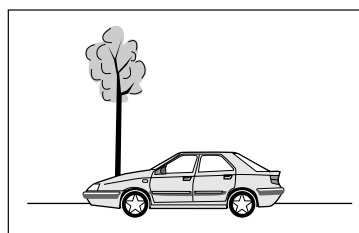
●2画面表示中は操作できません。

1 マルチビュー放送を見ているときに、マルチビューボタンを押す



2 カーソルボタン(▲▼)を押して映像を選び、決定ボタンを押す

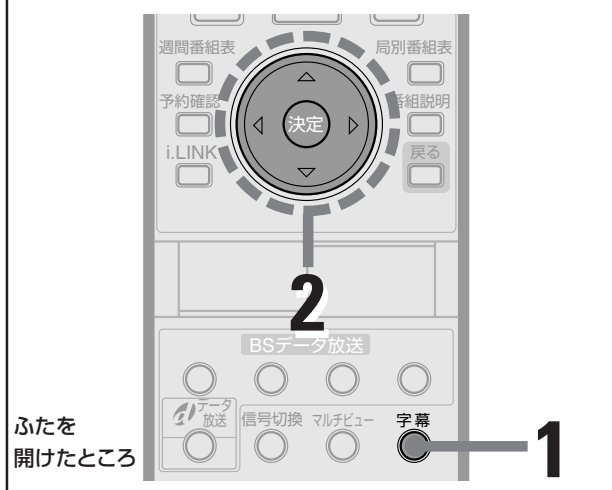
選んだ映像に切り換わります。



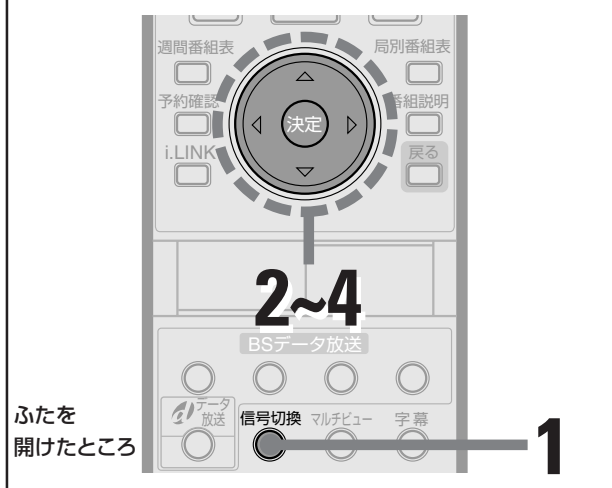
副映像が有料のときは

副映像が有料であることがあります。そのときは画面の指示に従って、副映像を購入してください。

字幕や文字スーパーを見る



信号を切り換える



番組の放送形式を確認するには

放送予定の番組は、週間番組表または局別番組表を表示して、カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して番組を選びます。番組表の左側に放送形式のアイコンが表示されます。

字幕や文字スーパーを見る

:字幕放送のアイコン(P.52)

映画の字幕などのように、番組によっては字幕や文字スーパーがあるものがあります。

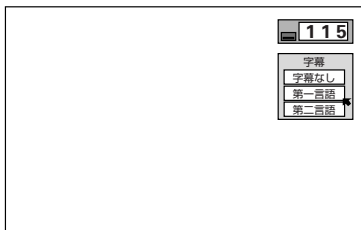
字幕 :映像や音声と関連のある情報

文字スーパー :映像や音声と関連のない情報
(P.77)

●2画面表示中は操作できません。

1 字幕や文字スーパーのある番組を見ているときに、字幕ボタンを押す

●字幕放送が行われていないときには、表示や操作ができません。



2 カーソルボタン(▲▼)を押して「日本語」または「第2言語」などを選び、決定ボタンを押す

●番組によって表示は異なります。

字幕や文字スーパーを消すときは

- 1 字幕ボタンを押す
- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して「字幕なし」を選び、決定ボタンを押す
●番組によって表示は異なります。

信号を切り換える

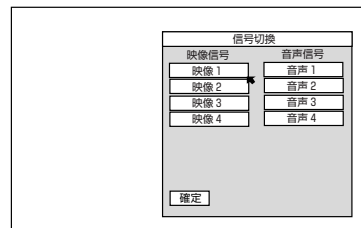
:信号切替のアイコン(P.52)

1つのチャンネルで複数の映像/音声信号が送られている場合(副映像や、英語の音声など)があります。このときは、映像信号や音声信号を切り換えられます。

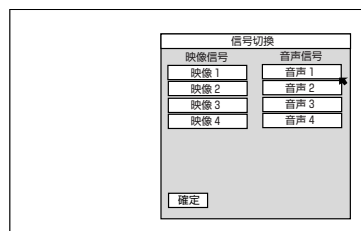
●2画面表示中は操作できません。

1 信号切替のできる番組を見ているときに、信号切替ボタンを押す

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して映像信号を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して音声信号を選び、決定ボタンを押す



4 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「確定」を選び、決定ボタンを押す

信号が有料のときは

信号が有料であることがあります。その場合は画面の指示に従って、信号を購入してください。

番組を予約する

予約には視聴予約と録画予約があります。

- 予約をすると、BS番組予約ランプが点灯します。

視聴予約: 見たいと思った番組を見逃したくないときに利用します。

録画予約: 番組をビデオで録画したいときに利用します。

予約できる番組の数は

視聴予約と録画予約、合わせて20番組までです。

予約できる期間は

番組表に表示される1週間先まで可能です。

見たい番組を忘れない ために「視聴予約」

- 予約を途中で中止するときには、戻るボタンを押します。
- 2画面表示中は操作できません。

1 番組表を表示して、放送予定の番組を選ぶ (P.44~47)

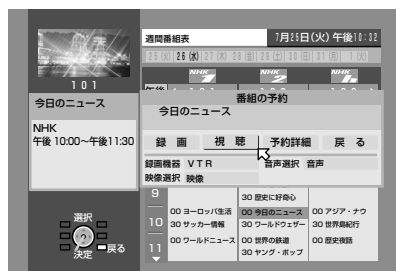
- カーソルボタン(◀▶▲▼)で選びます。



例: 週間番組表で番組を選ぶ。

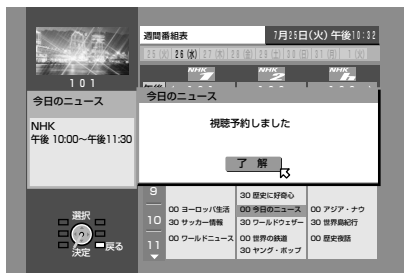
2 決定ボタンを押す

「番組の予約」画面が表示されます。



ふたを開けたところ

3 カーソルボタン(◀▶)を押して「視聴」を選び、決定ボタンを押す



ご注意

電源コードのプラグがコンセントから抜かれていると予約した番組を見ることはできません。電源を切るときは、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切ってください。(予約待機・実行中はBS番組予約ランプが点灯します。)

4 予約完了を確認し、決定ボタンを押す



5 戻るボタンを押す

番組表が消えます。

予約した時間になると

● テレビをご覧のとき:

予約した番組の始まる30秒程前になると、「まもなく予約した番組に切り替わります。何か操作をすると予約は取り消されます。」というメッセージが表示されます。その後、予約した番組のチャンネルに切り換わります。

● 電源が「切」のとき:

予約した番組の始まる30秒程前になると、自動的に電源が入り、予約した番組のチャンネルが映ります。

予約が実行されなかったときは

「メール」でお知らせします。(P.80)

番組を予約する(つづき)

ビデオに録画する —「録画予約」

番組によっては録画が禁止されているものや、有料のときがあります。

有料番組を録画予約するときは「有料番組を見る」(P.50)もあわせてご覧ください。

- 予約を途中で中止するときは、戻るボタンを押します。
- 2画面表示中は操作できません。
- ビデオデッキ、D-VHSビデオデッキの接続はP.111～P.112をご覧ください。

1 番組表を表示して、放送予定の番組を選ぶ (P.44～47)

- カーソルボタン(◀▶▲▼)で選びます。



例：週間番組表で番組を選ぶ

2 決定ボタンを押す

「番組の予約」画面が表示されます。



ふたを開けたところ

3 カーソルボタン(◀▶)で「予約詳細」を選び、決定ボタンを押す

「予約方法の詳細設定」画面が表示されます。



4 カーソルボタン(▲▼)で「録画機器選択」を選び、決定ボタンを押す

- 普通のビデオデッキで録画するとき:
「VTR」を選んで、決定ボタンを押します。
- D-VHSビデオデッキで録画するとき:
「D-VHS」を選んで、決定ボタンを押します。

5 カーソルボタン(▲▼)で「終了」を選び、決定ボタンを押す

「番組の予約」画面に戻ります。

6 カーソルボタン(◀▶)を押して「録画」を選び、決定ボタンを押す

- 「録画」が薄く表示されているときは、録画が禁止されており、選べません。
- 有料番組のときは「録画」を選ぶと、「番組の購入」画面が表示され、料金がわかります。



7 予約完了を確認し、決定ボタンを押す

8 戻るボタンを押す

番組表が消えます。

予約した時間になると

● 電源が「入」のとき:

予約した番組の始まる30秒程前になると、「まもなく予約した番組に切り替わります。何か操作をすると予約は取り消されます。」というメッセージが表示されます。その後、予約した番組のチャンネルに切り換わります。

● 電源が「切」のとき:

録画が始まってもテレビの電源は入りません。テレビをご覧になるには、リモコンの電源ボタンを押して電源を入れてください。

予約が実行されなかったときは

「メール」でお知らせします。(P.80)

ご注意

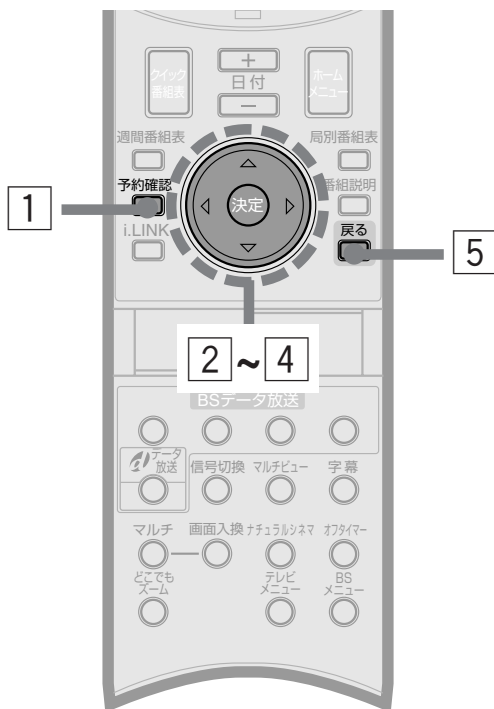
- 電源コードのプラグがコンセントから抜かれていると予約した番組を録画することはできません。電源を切るときは、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切ってください。(予約待機・実行中は、BS番組予約ランプが点灯します。)
- ビデオリモートコントローラーを正しく設置してください。(P.120)
- D-VHSで予約録画するには、i.LINKの設定(LINC)をしてください。(P.115)
- D-VHSがi.LINK設定されている場合はその機器が、録画機器として優先的に表示されます。
- i.LINK設定されていないD-VHSを録画機器選択で選ぶことができますが、録画する時間に他の機器とLINCされていないようにご注意ください。
- 複数の同じ機種名のD-VHSを接続しているときは、機器番号(D-VHS1、D-VHS2...)と実際のD-VHSとの対応を確認されることをおすすめします。

予約時に映像や音声などを選びたいときは



ふたを開けたところ

予約を取り消す/変更するには



ふたを開けたところ

番組を予約する(つづき)

予約時に映像や音声などを選びたいときは

番組によっては、マルチビューや2カ国語放送といった、複数の映像や音声があることがあります。これらの番組を予約するときは映像・音声を選んで予約することができます。

1 58 ページの手順3までをおこなう



2 カーソルボタン(▲▼)で設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

● 文字が灰色の項目は選べません。



例：音声選択を選んだとき

3 カーソルボタン(▲▼)で選びたい映像や音声・字幕の番号を選び、決定ボタンを押す

「決定」にカーソル(矢印)が移動します。



4 決定ボタンを押す

5 他の項目を設定するときは手順②～④をくり返す

6 カーソルボタン(▲▼)を押して「終了」を選び、決定ボタンを押す
「番組の予約」画面に戻ります。

予約詳細の項目説明

録画機器選択：●ふつうのビデオデッキで録画するとき：「VTR」を選んで、決定ボタンを押します。

●D-VHSビデオデッキで録画するとき：「D-VHS」を選んで、決定ボタンを押します。

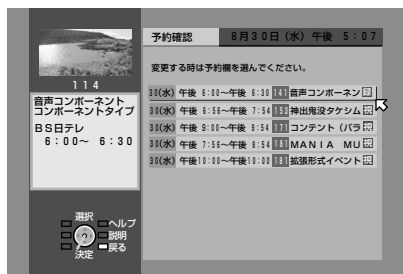
映像選択：マルチビューなどの複数の映像があるときに、映像名を選びます。(最大4つ)

音声選択：2か国語放送など複数の音声があるときに音声名を選びます。(最大8つ)

予約を取り消す/変更するには

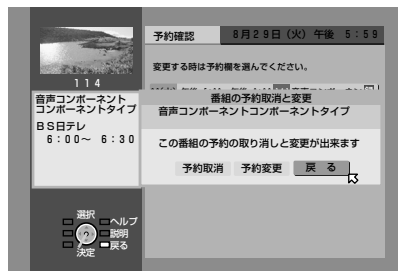
予約を取り消したり、視聴予約を録画予約に変更したり、録画予約を視聴予約に変更したり、予約詳細の内容を変更したりできます。

1 予約確認ボタンを押して、「予約確認」画面を表示する



2 カーソルボタン(▲▼)を押して取消し/変更したい番組を選び、決定ボタンを押す

「番組の予約取消と変更」画面が表示されます。



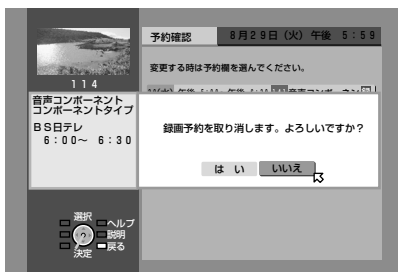
3 カーソルボタン(◀▶)を押して「予約取消」または「予約変更」を選び、決定ボタンを押す

●「予約変更」を選んだときは「番組の予約」画面が表示されます。

視聴予約、録画予約の手順に従って予約内容を変更してください。(P.56～59)

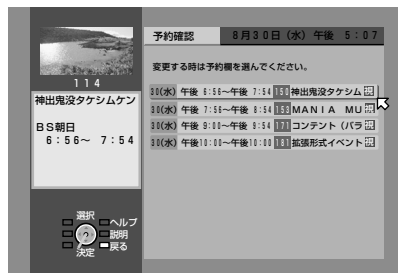
変更が終わったら手順⑤に進んでください。

●「予約取消」を選んだときは確認の画面が表示されます。



4 カーソルボタン(◀▶)を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

●予約の取り消しをやめて、予約を変更するときには「いいえ」を選びます。



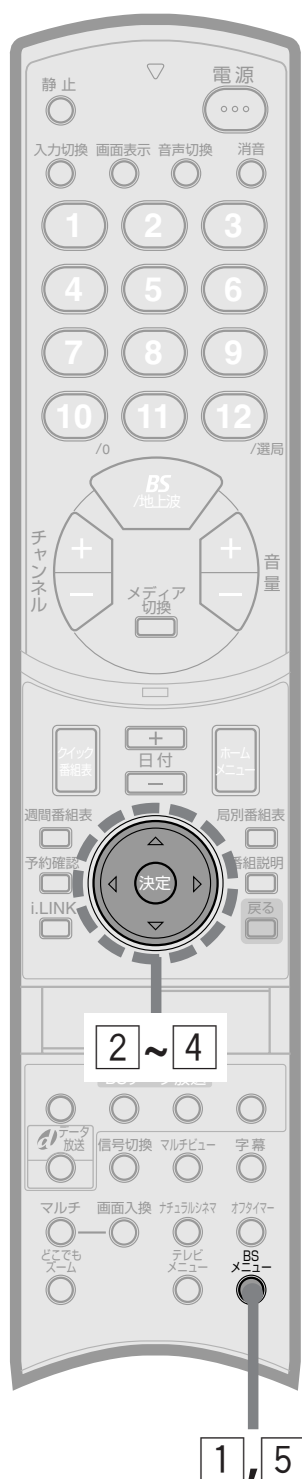
5 戻るボタンを押して終了する

番組を予約する(つづき)

予約番組の開始時刻の変更に自動的に合わせるには(予約追従)

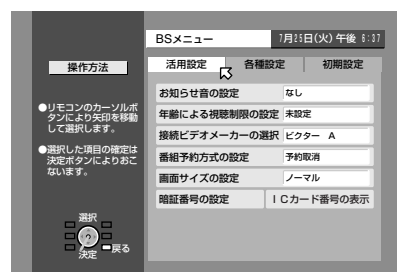
予約している前の番組の放送時間が延長になるなど、予約してある番組の放送開始時刻が遅れることがあります。そのようなときに予約開始の時刻も自動的に合わせるかどうかの設定をします。

- 「予約追従」機能に対応していない番組やチャンネルもありますので、ご注意ください。
- 「予約追従」機能で自動的に予約の時刻を調節することができるのは、最大3時間までです。

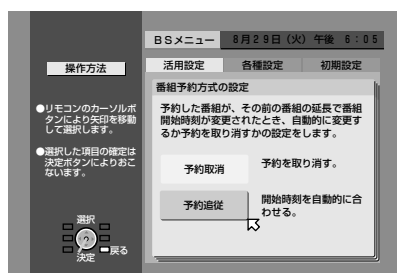


ふたを開けたところ

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる



2 カーソルボタン(▲▼)を押して「番組予約方式の設定」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタン(▲▼)を押して「予約追従」を選び、決定ボタンを押す

- 「予約取消」を選ぶと、放送時間が遅れたときは予約は取り消されます。

4 決定ボタンを押す

「活用設定」画面に戻ります。

5 BSメニューボタンを押してメニューを消す

録画予約についてのご注意

録画予約実行中は

- 録画予約した番組の放送開始30秒前から、誤動作を防ぐため、BSデジタル放送の操作はできなくなります。BSデジタル放送の操作をするには、予約確認ボタンを押して、予約を解除してください。(ただし、録画予約実行中に予約を解除すると、録画は中止されますのでご注意ください。)
- B-CAS^{ビーキャス}カード挿入口のふたを開け閉めしたり、B-CAS^{ビーキャス}カードを抜き差ししたときは予約が解除されます。
- 予約が解除されると録画は中止されます。

録画予約したあとは

正しく予約できているか予約確認をしてください(予約を取り消す/変更するには P.61)

ビデオデッキで録画の準備をします。

- ビデオリモートコントローラーがただしく接続されていることを確認してください。

(P.111、112、120)

1 ビデオカセットをビデオデッキに挿入する

録画してもよいビデオカセットであることを確認してください。また、必要に応じてビデオカセットの録画開始場所を決めます。

2 ビデオデッキの入力切換を操作して本機を接続した入力を選ぶ

3 ビデオデッキの電源を切る

- 万一、本機の不具合等により、正常に録画できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

連続した番組を録画予約したときは

次の番組の開始予定時刻の1秒前にチャンネルが切り換わります。

録画有料番組のときは

番組によっては、録画が有料(視聴の料金とは別)のときがありますので、ご注意ください。

次の場合は録画できません

- ビデオデッキの電源が入ったままのとき
- ビデオデッキでタイマー録画が「入り」になっているとき(本機で録画予約したときは、ビデオデッキで録画予約(タイマー予約)をする必要はありません。)

次の場合には予約は実行されません

- 天候や放送局の都合で、予約した番組の実施データが送られて来ないとき
- 予約した番組が放送中止になったとき
- 予約実行直前に停電になったとき
- 「番組予約方式の設定」が「予約取消」に設定されているときに、予約番組の開始時刻が遅れたとき(「番組予約方式の設定」が「予約追従」に設定されていても、予約番組の開始時刻が3時間以上遅れたときは実行されません。)
- 有料番組を予約した場合、予約実行時にB-CAS^{ビーキャス}カードが挿入されていなかったときやB-CAS^{ビーキャス}カード挿入口のふたがあいていたとき

録画についてのご注意

BS デジタル放送の番組には、コピーガード* (コピー=録画についての制限) のあるものがあります。番組説明 (P.53) で、番組にどのような録画の制限があるかを確認できます。(*用語解説 P.132)

- ・「デジタルコピー：可」 → 番組をD-VHSテープに録画できます。
- ・「デジタルコピー：1回のみ可」 → 番組をD-VHSテープに録画できますが、そのテープをダビングすることはできません。
- ・「デジタルコピー：不可」 → 番組をD-VHSテープに録画できません。
- ・「アナログコピー：可」 → 番組をVHS/S-VHSテープに録画できます。
- ・「アナログコピー：1回のみ可」 → 番組をVHS/S-VHSテープに録画できますが、そのテープをダビングすることはできません。
- ・「アナログコピー：不可」 → 番組をVHS/S-VHSテープに録画できません。

本機を使いこなす（一般操作）

おトク設定で節電する



ふたを開けたところ

このテレビには3つの主な節電機能があります(おトク機能)。

「おトク設定」メニューを使って、節電機能をすべて使うか、選んで使うか、節電機能を使わないかの設定を行います。

節電機能の種類

おトク機能

デジタルE.E.:

Ecology & Economy(目にやさしい省電力)+ Electronic Eye(電子の目の略)です。

部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。節電になり、目にやさしい機能です。

- 「明るめ」「標準」「ひかえめ」「切り」から選びます。

無信号電源オートオフ:

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。放送終了後やビデオの再生終了後、約4分間経過すると電源を切って節電します。

(BSデジタル放送を選んでいるときは、この機能は働きません。)

- 「する」「しない」を選びます。

深夜電源オートオフ:

設定された時間になるとテレビの電源を切って節電する機能です。

- 「午前0時」「午前1時」「午前2時」「しない」から選びます。

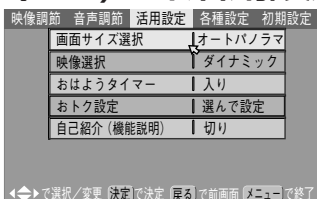
おトク以外の節電機能

テレビ消し忘れ防止 (P.67):

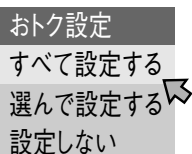
テレビの消し忘れを防ぐ機能です。

3つの節電機能をすべて使う

- 1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ

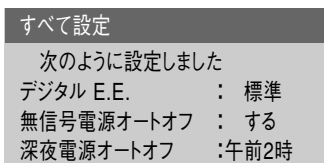


- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して「おトク設定」を選び、決定ボタンを押す



- 3 カーソルボタン(▲▼)を押して「すべて設定する」を選び、決定ボタンを押す

設定の内容が数秒間表示されます。



表示窓のメッセージ

デジタルE.E.を「入り」にすると、本体の表示窓に「E.E.ON」と表示されます。(数秒後、チャンネル表示や、ビデオ入力表示に切り換わります。)

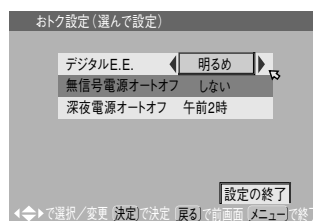
3つの節電機能を選んで使う

- 1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ

- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して「おトク設定」を選び、決定ボタンを押す

- 3 カーソルボタン(▲▼)を押して「選んで設定する」を選び、決定ボタンを押す

- 4 カーソルボタン(▲▼◀▶)を押して必要な項目を設定する



- ▲▼で、設定する項目を選びます
- ◀▶で、設定値を選びます

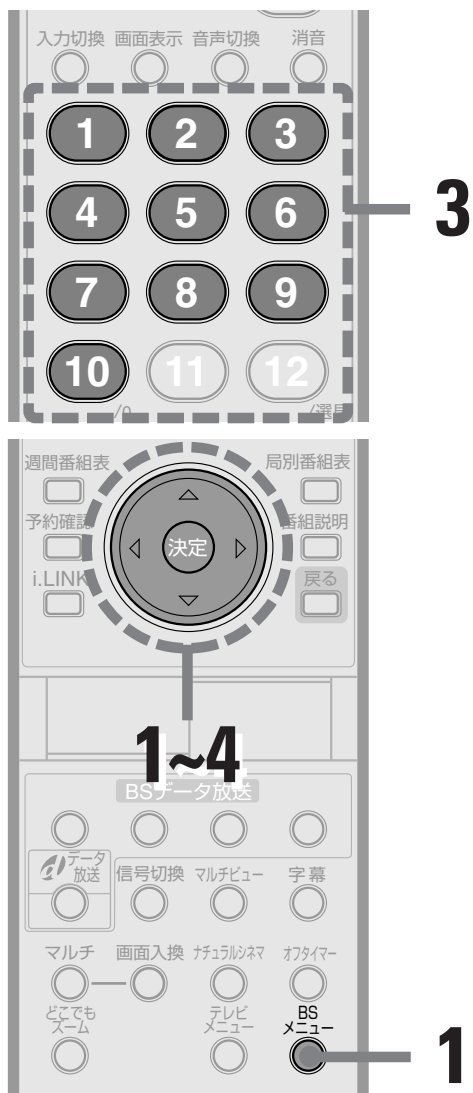
- 5 カーソルボタン(▲▼◀▶)を押して「設定の終了」を選ぶ

- 6 決定ボタンを押して終了する

設定メニューが消えます。

本機を使い
こなす(一般)

おはようタイマーを使う(オンタイマー機能)



ふたを開けたところ

テレビ消し忘れを防止する



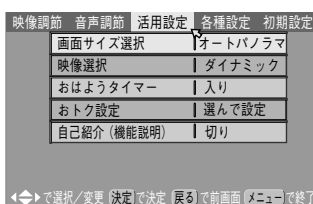
ふたを開けたところ

おはようタイマーを使う (オンタイマー機能)

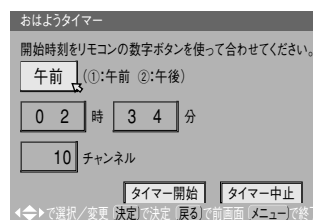
設定した時刻になると自動的にテレビの電源が入ります。お好きな時刻とチャンネルを設定できます。

- BSデジタル放送のチャンネルは指定できません。

1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▲▼)を押して「おはようタイマー」を選び、決定ボタンを押す



3 リモコンのチャンネル(数字)ボタンを押して、時刻を設定する

時間の設定のしかた

- 午前・午後の設定
チャンネル(数字)ボタンで設定します。午前なら「1」、午後なら「2」を押します。
- 時刻の設定
チャンネル(数字)ボタンで、現在時刻を入力します。
- チャンネルの設定
チャンネル(数字)ボタンで、チャンネルを指定します。

設定を途中でやりなおすには
カーソルボタン(◀▶▲▼)で項目を戻すことができます。

テレビ消し忘れを防止する

何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

4 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「タイマー開始」を選び、決定ボタンを押す

オンタイマーランプが点灯します。

電源が「切り」のとき、設定された時間になると自動的にテレビの電源が入ります。

「おはようタイマー」を止めるには

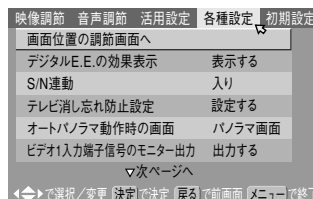
手順4で「タイマー中止」を選びます。

「おはようタイマー」の設定を変えるには

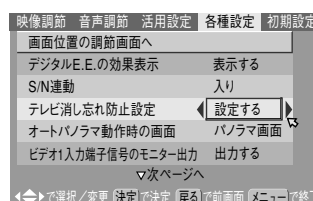
「おはようタイマー」で設定した時刻とチャンネルは記憶されます。

設定した時刻とチャンネルを変えるには、設定したときと同じように時刻とチャンネルを設定しなおしてください。

1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▲▼)を押して「テレビの消し忘れ防止設定」を選ぶ



3 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を選ぶ

- 「設定する」 : 何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。
- 「設定しない」 : この機能は働きません。

4 テレビメニューボタンを押して終了する

本機を使用
こなす(一般)

シアタープロの設定をする

画質に「シアター」を選んでいるときは、さらに細かい映像の調節ができます。シアタープロとは、さらに細かな映像調節をおこなう機能です。設定項目は微妙な調節を行うため専門的な内容になっています。調節は、少しずつ設定値を変更して変化を確認しながら、実行してください。

- 調節を行う前に、画質選択で「シアター」を選んでください。(P.33)



ふたを開けたところ

1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「映像調節」を選ぶ

映像調節	音声調節	活用設定	各種設定	初期設定
選択中の映像選択 (シアター) に対して調節されます。				
ピクチャー	+10	シャープネス	00	
黒レベル	00	白バランス	高い	
色あい	00	ノイズクリア	00	
色の濃さ	00	シアタープロ設定へ		
標準に戻す				
◀▶で選択/変更 決定で決定 戻るで前画面(メニュー)で終了				

2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「シアタープロ設定へ」を選び、決定ボタンを押す

映像調節	音声調節	活用設定	各種設定	初期設定
選択中の映像選択 (シアター) に対して調節されます。				
DSDエッジ	+10	速度変調	00	
Hシャープネス	00	白バランス 赤	00	
Vシャープネス	00	白バランス 青	00	
DC量補正	00	色バランス	00	
DSDコアリング	00			
調節の終了 標準に戻す				
◀▶で選択/変更 決定で決定 戻るで前画面(メニュー)で終了				

3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して調節したい項目を選ぶ

4 カーソルボタン(◀▶)を押して調節する

例: 「DSDエッジ」を選んだとき



例: 「白バランス 赤」を選んだとき



- 数秒間、操作を行わないと、手順2の画面に戻ります。

5 決定ボタンを押す

シアタープロ設定画面に戻ります。

6 他の項目を調節するとき は、手順3～5を繰り返す

7 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「調節の終了」を選び、決定ボタンを押す

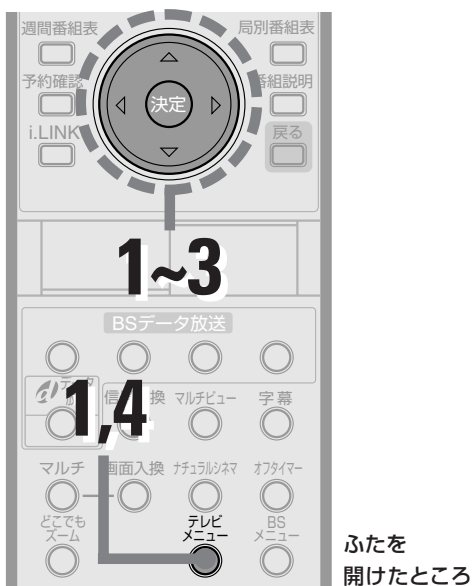
- 「標準に戻す」を選んで決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

8 テレビメニューボタンを押して終了する

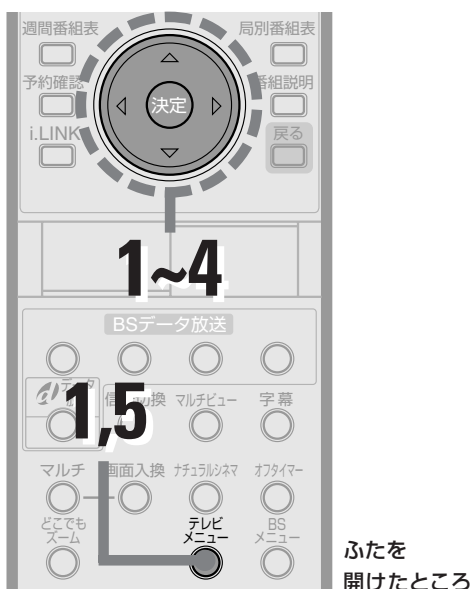
「シアタープロ」の設定について

- **DSDエッジ:**
文字やイラストなどの輪郭部の明るさの変化を急峻きゆうしゆんにして映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。設定値を大きくしすぎると、風景などの映像が不自然になることがあります。
(設定値: 輪郭をつけない -30...+30 輪郭をつける)
- **Hシャープネス、Vシャープネス:**
映像の輪郭部に明るいところはより明るく、暗い部分はより暗い信号を加えて輪郭を強調してはっきりとした映像にします。
調節するときにはHシャープネス、Vシャープネスを交互に調節します。数値を大きくしすぎると、加えた信号が目立ち不自然な映像になることがあります。
(設定値: 輪郭を強調しない -30...+30 輪郭を強調する)
- **DC量補正:**
全体に明るい画面のとき、あるいは全体に暗い画面のときの黒の再現性を補正します。
「黒レベル」調節で画面を明るくすると、本来黒い部分が白っぽく感じたり、その反対に、暗くすると黒い部分がつぶれ気味になり見にくくなる場合があります。そのようなときにはDC量補正を調節してバランスをとってください。
(設定値: 黒みを増やす -30...+30 黒みを減らす)
- **DSDコアリング:**
画面のざらざら感(ノイズ)を抑えるため、原因となる微小信号成分を除去します。よりノイズを抑えたいときに+側に調節します。
(設定値: あまりノイズを除去しない -5...+5 よりノイズを除去する)
- **速度変調:**
映像の縦線の輪郭強度度を調節します。
通常は、忠実な映像でご覧いただくために、設定は「0」のままでお使いください。
忠実な映像ではシャッキリ感が不足していると感じたときに、少しだけ補正してください。
(設定値: 補正しない 0...+15 補正する)
- **白バランス 赤、白バランス 青:**
映像の基準となる白をより白く見えるように調節する項目です。
調節するときには「白バランス赤」と「白バランス青」を交互に調節して、白が白らしく見えるように調節します。
(設定値: 赤みをつけない -30...+30 赤みをつける)
(設定値: 青みをつけない -30...+30 青みをつける)
- **色バランス:**
肌色の調節をしたあと、他の色のバランスを整えるときに使います。
映像調節の「色合い」で肌色を調節すると他の色もわずかに変化してしまいます。(例: 肌色を調節したら、緑の葉が少し黄色味がかかった葉になってしまった。)このようなとき、お好みに調節した肌色はそのままに、青みだけを変化させることができます。肌色以外の色が自然な色になるように調節してください。
(設定値: 青みを弱くする -5...+5 青みを強くする)

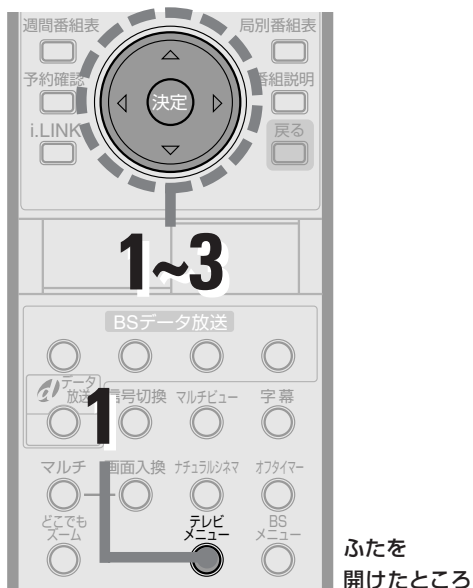
デジタルE.E.の効果を表示する



地磁気の影響を少なくする



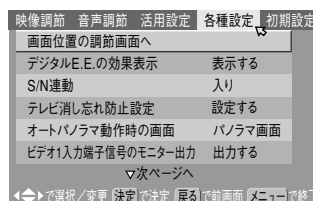
自己紹介機能を使う



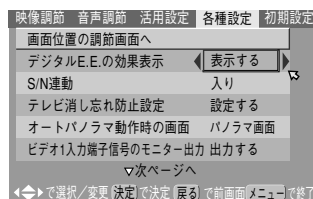
デジタルE.E.の効果を表示する

部屋の明るさが変化したとき、デジタルE.E.の効果のレベルがハートマークでテレビ画面に表示されます。

1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▲▼)を押して「デジタルE.E.の効果表示」を選ぶ



3 カーソルボタン(◀▶)を押して設定を選ぶ

- 「表示する」:
部屋の明るさが変化したとき、デジタルE.E.の効果のレベルがハートマークでテレビ画面に表示されます。
- 「表示しない」:
デジタルE.E.の効果のレベルは表示されません。

4 テレビメニューボタンを押して終了する

地磁気の影響を少なくする

地磁気による画面の傾きや色むらを調節します。

1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「映像の傾き調整画面へ」または「地磁気補正画面へ」を選び、決定ボタンを押す

「映像の傾き調整画面へ」と「地磁気補正画面へ」はカーソルボタン(▼)を押しつづけると表示されます。

- 「映像の傾き調整画面へ」:
画面の傾きを調節するときに選びます。
- 「地磁気補正画面へ」:
地磁気の影響を受け画面に紫や緑の色がついているときに選びます。

3 カーソルボタン(◀▶)で調節する



- 映像の傾き調整中は、画面の映像が平行になるように調節します。
- 地磁気補正中は、画面の四隅が同じくらいの白さになるように調節します。

4 決定ボタンを押す

「各種設定」画面に戻ります。

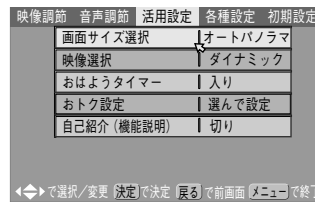
5 テレビメニューボタンを押して終了する

自己紹介機能を使う

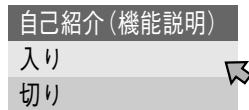
本機には自己紹介機能があります。本機の持っている機能を自動的に紹介してくれる機能です。

- BSデジタル放送を見ているときは、この機能は働きません。

1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▲▼)を押して「自己紹介(機能説明)」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタン(▲▼)を押して「入り」を選び、決定ボタンを押す

「どこでもズーム」、「2画面」、「デジタルE.E.」の順に、自己紹介をおこないます。

自己紹介を止めるには

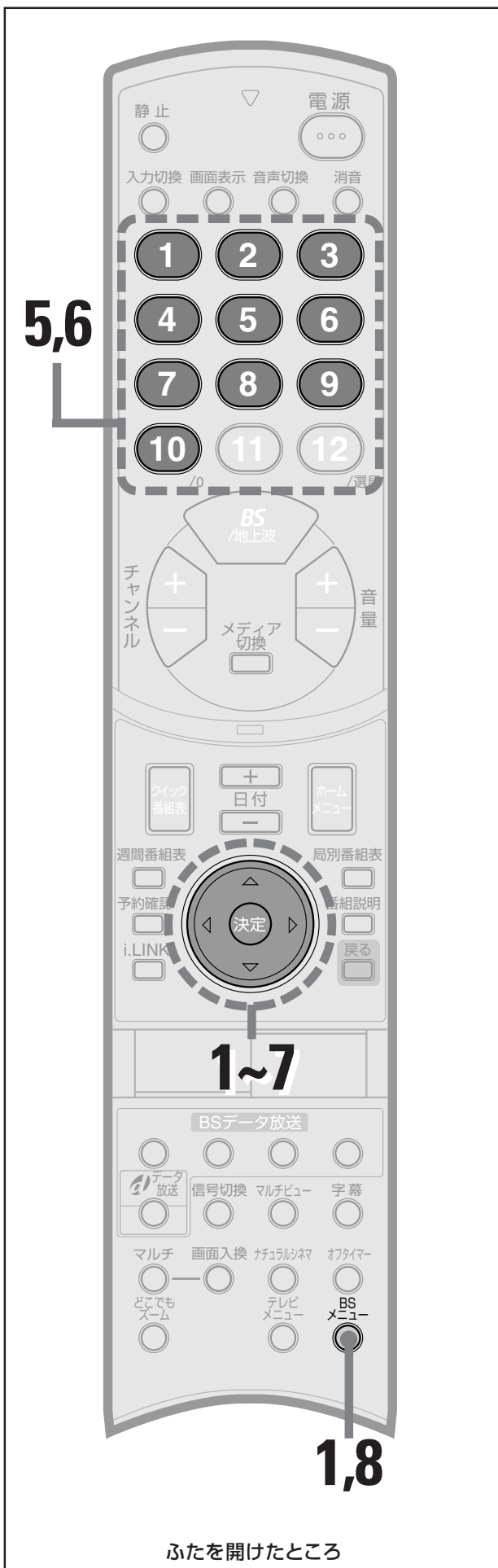
もう一度手順1から始め、手順3で「切り」を選び、決定ボタンを押します。

「自己紹介(機能説明)を中止しました」と表示されます。

本機を使いこなす(一般)

本機を使いこなす (BS 操作)

好きなチャンネルを設定する

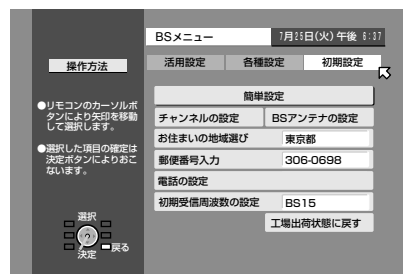


チャンネル一覧に自分の好きなチャンネル(マイチャンネル)を設定できます。メディア切換ボタンとチャンネル(数字)ボタンで簡単に選べます。

BSテレビ放送、BSラジオ放送、BSデータ放送をそれぞれ30チャンネルずつ設定できます。

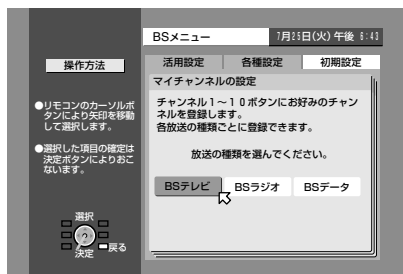
●2画面表示中は操作できません。

1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ

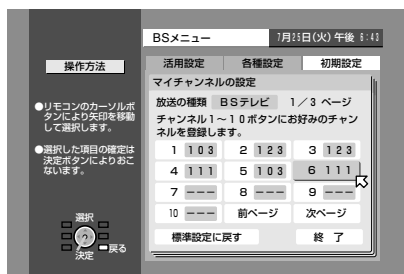


2 カーソルボタン(▲▼)を押して「チャンネルの設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン(▲▼)を押して「マイチャンネルの設定」を選び、決定ボタンを押す



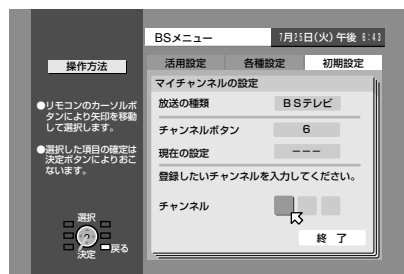
4 カーソルボタン(◀▶)を押して放送の種類を選び、決定ボタンを押す



例:「BSテレビ」を選んだとき

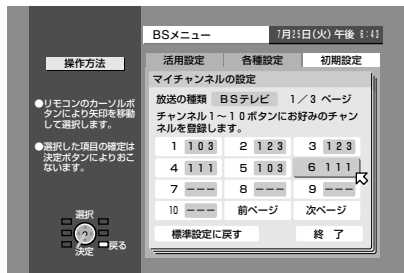
5 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して設定したいチャンネル(数字)ボタン(1~10)を選び、決定ボタンを押す

チャンネル番号を変更する画面が表示されます。



6 チャンネル(数字)ボタンを押して設定したいチャンネル番号(3桁)を入力し、決定ボタンを押す

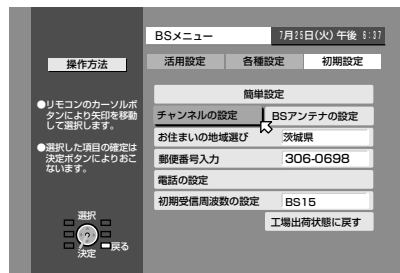
前の画面に戻ります。



- 続けてチャンネルを設定する場合は手順5~6をくり返してください。

7 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「終了」を選び、決定ボタンを押す

「初期設定」画面に戻ります。



8 BSメニューボタンを押して終了する

マイチャンネルをお買い上げ時の設定に戻すには

- 1 P.72~73の手順1~4をおこなう
- 2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「工場出荷状態に戻す」を選び、決定ボタンを押す
- 3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「終了」を選び、決定ボタンを押す
- 4 BSメニューボタンを押して終了する

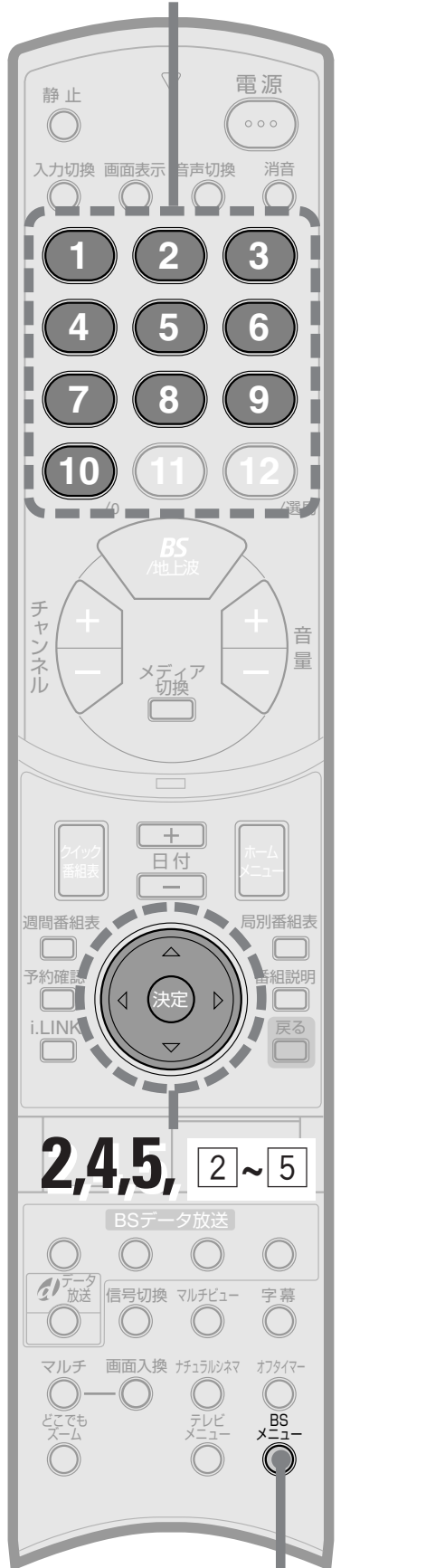
表示窓のメッセージ

チャンネル一覧に設定したチャンネルをご覧のときに、本体の表示窓に設定した番号が表示されます。(P.122)

- ・ 1ページ目に設定したチャンネルは、1~10で表示されます。(番号表示の前に「BS」と表示されます)
例: 1ページ目の3番 → 「BS3」
- ・ 2ページ目に設定したチャンネルは、11~20で表示されます。
例: 2ページ目の3番 → 「BS13」
- ・ 3ページ目に設定したチャンネルは、21~30で表示されます。
例: 3ページ目の3番 → 「BS23」

本機を使い
こなす(BS)

3, 3, 4



2, 4, 5, 2 ~ 5

1, 6, 1, 6

ふたを開けたところ

視聴年齢を制限する

 : 視聴年齢制限のアイコン (P.52)

暗証番号と視聴年齢制限を設定することができます。

設定をすると視聴年齢制限のある番組(成人向けの番組など)を見るときには、暗証番号の入力が必要となり、暗証番号を知らない人(お子様)には見ることができません。

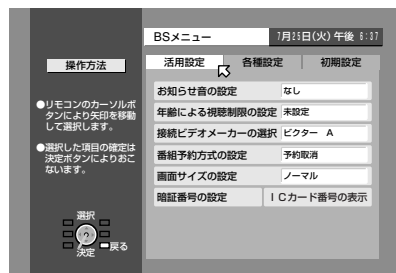
暗証番号を設定する

ご注意:

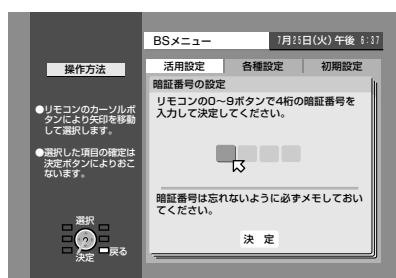
暗証番号を忘れると、本機だけでは再設定できません。カスタマーセンターに連絡して暗証番号を解除してもらう必要があります。暗証番号の管理には十分ご注意ください。(カスタマーセンターの電話番号はB-CASカードに書かれています。)

●2画面表示中は操作できません。

1 BSメニューボタンを押す

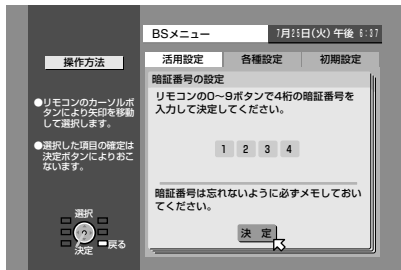


2 カーソルボタン(▲▼)を押して「暗証番号の設定」を選び、決定ボタンを押す



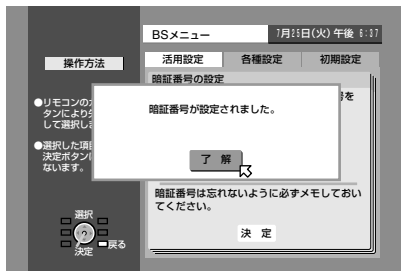
3 チャンネル(数字)ボタンを押して暗証番号を入力する

- 暗証番号は必ずメモしてください。



4 決定ボタンを押す

確認の画面が表示されます。



5 決定ボタンを押す

「活用設定」画面に戻ります。

6 BSメニューボタンを押して終了する

暗証番号を変更するには

1 BSメニューボタンを押して、BSメニューを表示させる

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「暗証番号の設定」を選ぶ

3 チャンネル(数字)ボタンを押して、現在の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す

4 チャンネル(数字)ボタンを押して、新しい暗証番号を入力し、決定ボタンを押す

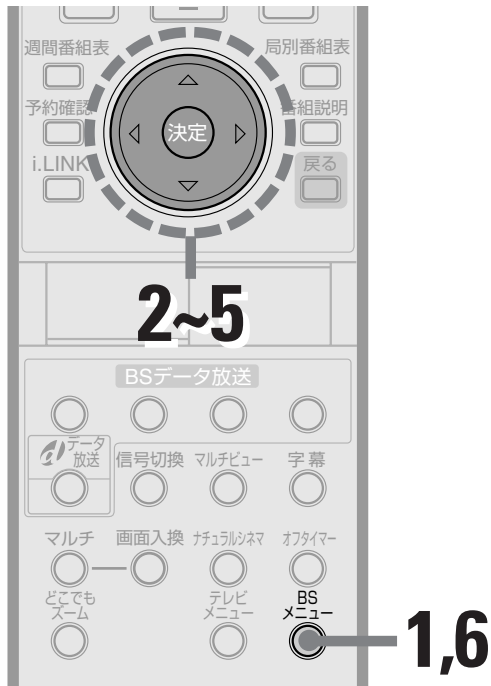
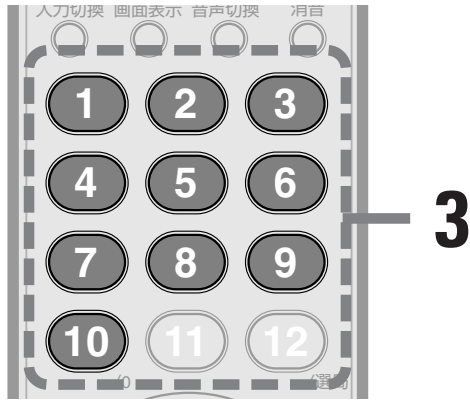
確認の画面が表示されます。

5 決定ボタンを押す

6 BSメニューボタンを押して終了する

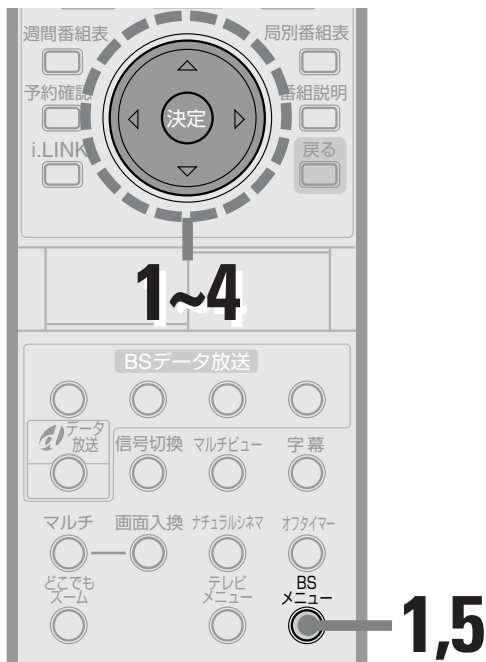
本機を使用
こなす(BS)

視聴年齢を制限する



ふたを開けたところ

文字スーパーの設定を変える



ふたを開けたところ

視聴年齢を制限する

(つづき)

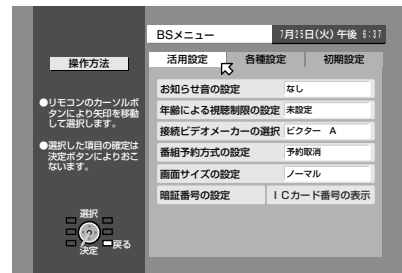
 : 視聴年齢制限のアイコン (P.52)

視聴年齢を制限する

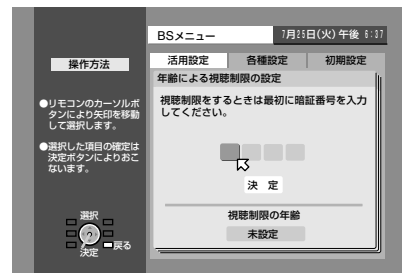
あらかじめ暗証番号を設定しておいてください。
(P.74)

- 2画面表示中は操作できません。

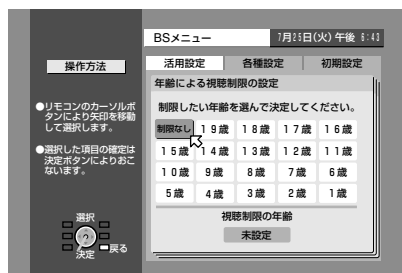
1 BSメニューボタンを押す



2 カーソルボタン(▲▼)を押して「年齢による視聴制限の設定」を選び、決定ボタンを押す



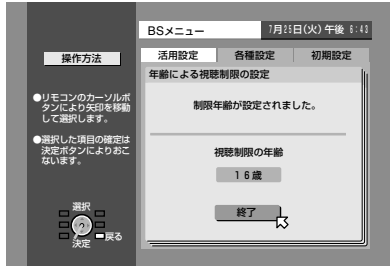
3 チャンネル(数字)ボタンを押して暗証番号を入力し、決定ボタンを押す



- 暗証番号を間違えたときは、戻るボタンを押して、手順2からやり直します。

4 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して設定したい年齢を選び、決定ボタンを押す。

確認の画面が表示されます。



5 決定ボタンを押す。

「活用設定」画面に戻ります。

6 BSメニューボタンを押して終了する

視聴年齢制限のある番組のときは

視聴年齢制限を設定しているときに、設定した年齢を超える番組を購入するときには、手順1の後でチャンネル(数字)ボタンを押して暗証番号を入力する必要があります。

例)「17歳」に視聴年齢制限を設定したとき:

- 番組の視聴年齢制限が、「18歳以上」、「19歳以上」など、設定した年齢より上ならば
→番組を購入するには暗証番号を入力します。
- 番組の視聴年齢制限が、「17歳以上」、「16歳以上」など、設定した年齢と同じまたは下ならば
→暗証番号を入力しなくても番組を購入できます。

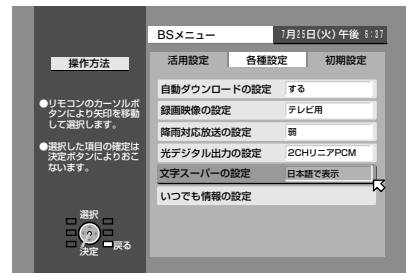
文字スーパーの設定を変える

お買い上げ時には、文字スーパーのある番組のときは文字スーパーが表示されるように設定されています。

- 文字スーパーを見るには(P.55)
- 2画面表示中は操作できません。

1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「文字スーパーの設定」を選ぶ



3 決定ボタンを押す

4 カーソルボタン(▲▼)を押して「日本語で表示」、「外国語で表示(英語など)」または「表示しない」を選び、決定ボタンを押す

5 BSメニューボタンを押して終了する

本機を使い
こなす(BS)

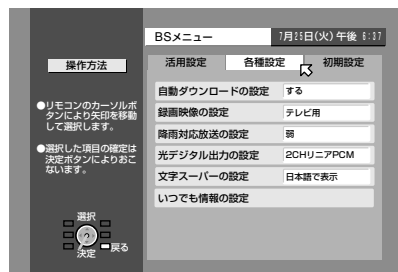
ダウンロードする

本機のBSデジタル放送受信部はパソコンのようにプログラム(ソフトウェア)やデータで、さまざまな機能を実現しています。また、本機では、新しい機能の追加やサービスへの対応が必要になったとき、「ダウンロード」と呼ばれる機能でプログラムやデータを入れ換え、機能の追加やサービスへの対応を実現できるようになっています。

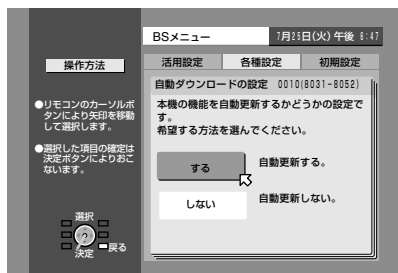
ここではそのダウンロード機能を自動的に働かせるかどうかの設定を行います。ダウンロードするプログラムがあるときにはメールでお知らせします。

- ダウンロードの設定は「する」にされることをおすすめします。
- 2画面表示中は操作できません。

1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▲▼)を押して「自動ダウンロードの設定」を選び、決定ボタンを押す



ふたを開けたところ

3 カーソルボタン(▲▼)を押して「する」を選び、決定ボタンを押す

- 「する(自動ダウンロード)」:
プログラムが送られてきたときに自動的にダウンロードします。ダウンロードの結果はメールでお知らせします。
- 「しない」:
ダウンロードしません。必要があるときはメールの指示にしたがってダウンロードをおこなってください。(※「自分でダウンロードする」)

プログラムによっては「する(自動ダウンロード)」に設定していても、自動的にダウンロードされないものがあります。そのときはメールをご覧ください。ダウンロードをするかしないかを選んでください。

4 BSメニューボタンを押して終了する

- ダウンロードが完了すると、メールで通知があります。

ダウンロードに関するご注意

- ダウンロードは、おもに深夜、テレビを使用していないときに行われます。できるだけ、電源プラグを抜かず、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切っておいてください。
- 自動的に更新するように設定すると、自動的に更新が行われます。ただし、自動更新の時間に本機の電源が「入り」のときは、更新が行われません。(※「ダウンロードに失敗したときは…」)

自分でダウンロードする

左の手順3で「する(自動ダウンロード)」を選んでいても、プログラムによっては、ダウンロードをするかしないかを選んで、決定しなくてはならないものがあります。

- 1 メールを開く (※ P.80)
- 2 メールをよく読んで内容を確認してください
- 3 カーソルボタン(◀▶)を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

メールで指定された時間になると自動的にダウンロードが始まります。(リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切っておいてください。)

ダウンロードに失敗したときは…

メールでお知らせします。再度ダウンロードをするかどうかを選択できます。

「もう1度ダウンロードをする」を選ぶと、指定された時間にダウンロードが行われます。

本機を使い
こなす(BS)

メールを読む

メールは、放送局から送られてくる個人あての情報と、本機が予約の実行に失敗したときに出すメッセージの2種類があります。重要なお知らせが含まれていますので、必ずお読みください。

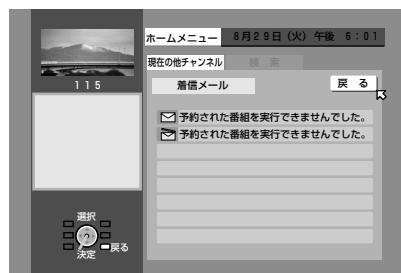
- 新しいメールを受信したときや、未読のメールがあるときは、メールランプが点灯します。
- メールは10通まで保管されます。10通を超えたときは古いものから自動的に消去されます。(任意に消去することはできません。)
- 2画面表示中は操作できません。

1 ホームメニューボタンを押して、ホームメニューを表示させる



2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「メール」を選び、決定ボタンを押す

メール一覧の画面が表示されます。



✉: まだ読んでいないメール

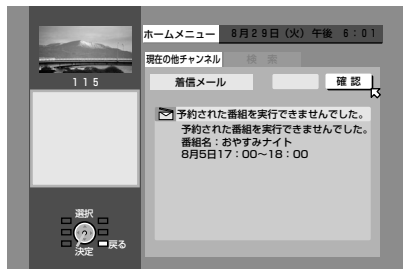
✉: すでに読んだメール

- メールは8通まで表示されます。9通以上のメールがあるときはカーソルボタン(▲▼)を押しつづけると表示されます。



ふたを開けたところ

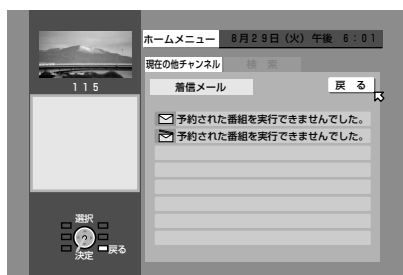
3 カーソルボタン(▲▼)を押して読みたいメールを選び、決定ボタンを押す



- 表示しきれなかった部分を読むには、カーソルボタンで「次ページ」を選び、決定ボタンを押すと、表示しきれなかった文章が表示されます。

4 決定ボタンを押す

メール一覧の画面に戻ります。



5 戻るボタンを押す

「ホームメニュー」画面に戻ります。

6 ホームメニューボタンを押して終了する

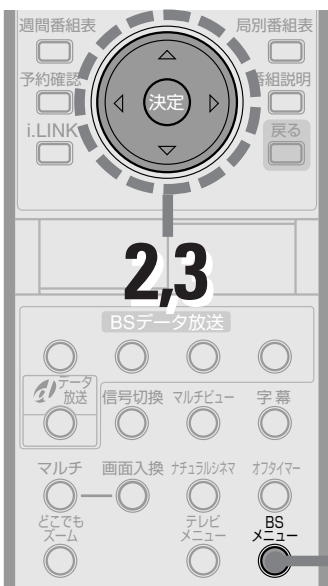
未読のメールがなくなると、本体のメールランプが消えます。

本機を使い
こなす(BS)

本機が出すメールの内容と対処法

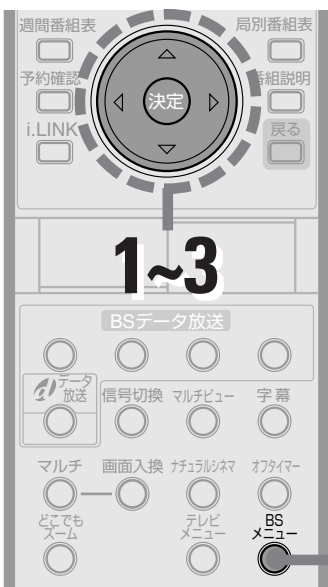
メールの題名	メールの本文	対処法
予約された番組を実行できませんでした。	予約された番組を実行できませんでした。 番組名：### 日時：###	
新しいプログラムの更新失敗	新しいプログラムまたはデータの更新に失敗しました。再度、取り込みを行いますか？ 「はい」を選ぶと深夜など本機を使用していない時に自動的にプログラムをダウンロード(受信)します。 「はい」「いいえ」	「はい」を選んで、深夜には本機の電源を入れないようにしてください。更新をしたくないときは「いいえ」を選んでください。 (P.79)
カスタマーセンターとの接続失敗	カスタマーセンターとの接続に異常が発生しました。詳細は取扱説明書をご覧ください。	電話回線の接続の確認、電話の設定の確認を行い、接続テストで問題がないことを確認してください。

お知らせ音を設定する



ふたを開けたところ

降雨対応放送の設定をする



ふたを開けたところ

録画のための設定をする



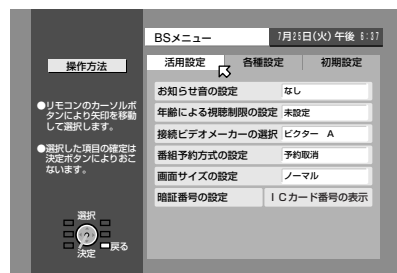
ふたを開けたところ

お知らせ音を設定する

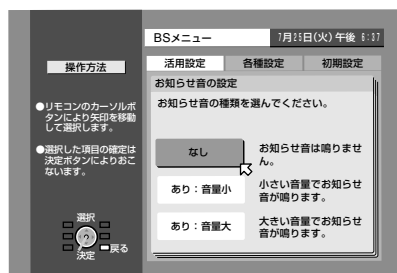
リモコンや本体のボタンで本機を操作したとき、操作を受け付けたことをお知らせする音が出るように設定できます。

- お知らせ音が出るのは、BSデジタル放送のときだけです。
- 2画面表示中は操作できません。

1 BSメニューボタンを押す



2 カーソルボタン(▲▼)を押して「お知らせ音の設定」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタン(▲▼)を押して「なし」、「あり:音量小」または「あり:音量大」を選び、決定ボタンを押す

- 「なし」:お知らせ音は鳴りません。
- 「あり:音量小」:小さい音(テレビの音量によります)でお知らせ音が鳴ります。
- 「あり:音量大」:大きな音(テレビの音量によります)でお知らせ音が鳴ります。

4 BSメニューボタンを押して終了する

降雨対応放送の設定をする

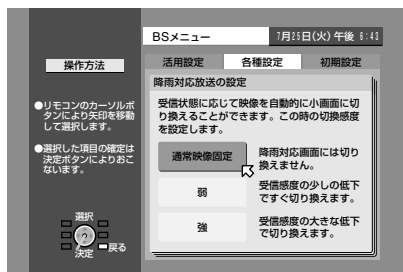
BS デジタル放送の電波は、大雨や大雪などに影響されやすく、一時的に受信できなくなる場合があります。放送局によっては、悪天候でも小さな映像が見られるようにしているところがあります。(降雨対応放送と呼ばれます。)

通常の放送と、降雨に強い放送が同時に送られますので、受信状態が悪くなったときに、2つの放送をどのように切り換えるかを設定します。

- 2画面表示中は操作できません。

1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「降雨対応放送の設定」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタン(▲▼)を押して「通常映像固定」、「弱」または「強」を選び、決定ボタンを押す

- 「通常映像固定」: 降雨対応放送には切り換えられません。
- 「弱」: 受信状態が悪くなるとすぐに切り換えます。ある程度受信状態が良くなると、通常の画面に戻ります。
- 「強」: 受信状態が悪くなったら切り換えます。受信状態が良くなると、通常の画面に戻ります。

4 BSメニューボタンを押して終了する

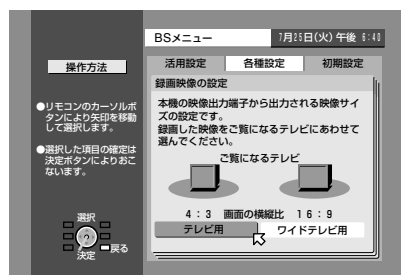
録画のための設定をする

画面サイズ(横:縦)が16:9の映像を録画するときの設定をします。録画したテープを画面サイズが4:3のテレビでご覧になるときは「テレビ用」を、本機などの画面サイズが16:9のテレビでご覧になるときは「ワイドテレビ用」を選んでください。

- この設定は、1度おこなえば録画をするたびに設定する必要はありません。
- 2画面表示中は操作できません。

1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)を押して「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「録画映像の設定」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタン(◀▶)を押して「テレビ用」または「ワイドテレビ用」を選び、決定ボタンを押す

- 録画したビデオテープをご覧になるテレビを選びます。

4 BSメニューボタンを押して終了する

こんなときは

- 「テレビ用」の設定で16:9の映像を録画すると、上下に黒い帯が付きます。
- 「ワイドテレビ用」の設定で16:9の映像を録画し、画面の横縦比4:3のテレビでご覧になると、上下に伸びた映像になります。

本機を使い
こなす(BS)

お買い上げ時の設定に戻す

BSデジタル放送の設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

- 暗証番号の設定は戻りません。
- 2画面表示中は操作できません。

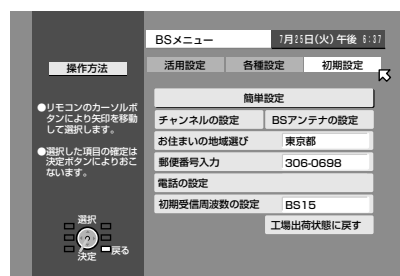


1~4

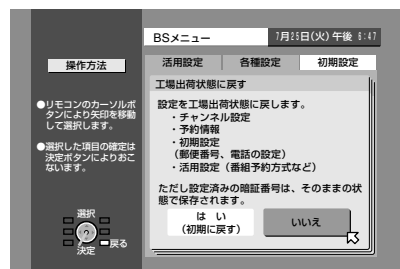
1,5

ふたを開けたところ

1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ

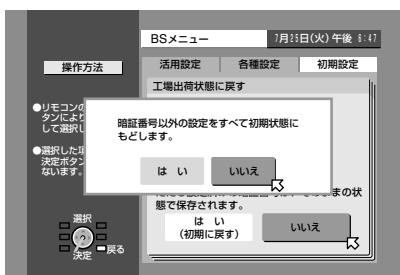


2 カーソルボタン(▲▼)を押して「工場出荷時状態に戻す」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタン(◀▶)を押して「はい(初期にもどす)」を選び、決定ボタンを押す

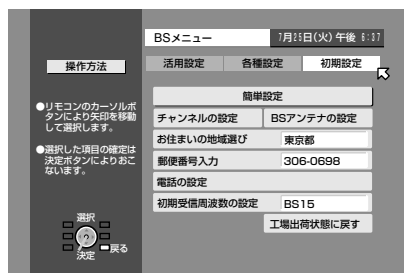
確認の画面が表示されます。



- お買い上げ時の状態に戻さないときは「いいえ」を選んでください。

4 カーソルボタン(◀▶)を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

「工場出荷状態に設定中です。しばらくお待ちください。」と表示され、しばらくすると「初期設定」画面に戻ります。



5 BSメニューボタンを押して終了する

ご注意

お買い上げ時の設定に戻すと、BSデジタル放送の受信設定は「未設定」となります。もう一度BSデジタル放送をご覧になる前に、簡単設定(P.97)をおこなってください。

本機を使い
こなす(BS)

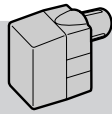
アンテナの接続と設定

VHF、UHF アンテナをつなぐ

まず、はじめにVHF、UHFアンテナをつなぎます。一番近い例を選んで、接続してください。

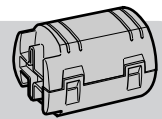
1

アンテナ線をアンテナコネクタにつなぐ

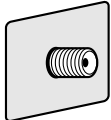


2

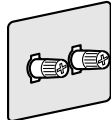
アンテナコネクタの近くにフェライトコアを付ける



壁面アンテナ端子の形とアンテナ線の種類

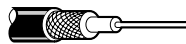


同軸ケーブル用端子



フィーダー線用端子

※妨害を受けやすいので同軸ケーブル用端子に交換されることをおすすめします。



同軸ケーブル



フィーダー線

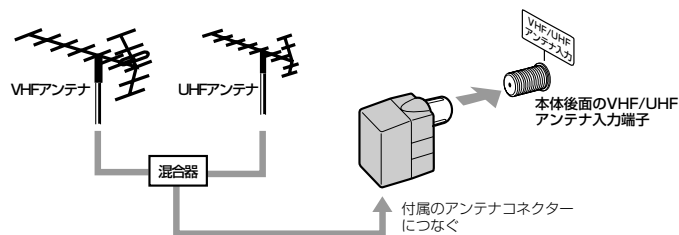
※妨害を受けやすいので使用しないでください。



F型コネクタ

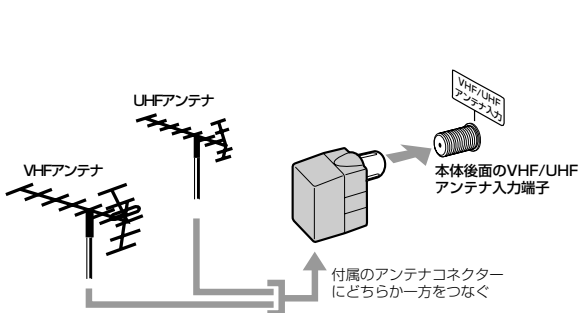
※壁面アンテナ端子にF型コネクタが付いているときは、そのまま本機のアンテナ端子につなぎます。

VHFとUHFが混合されているとき

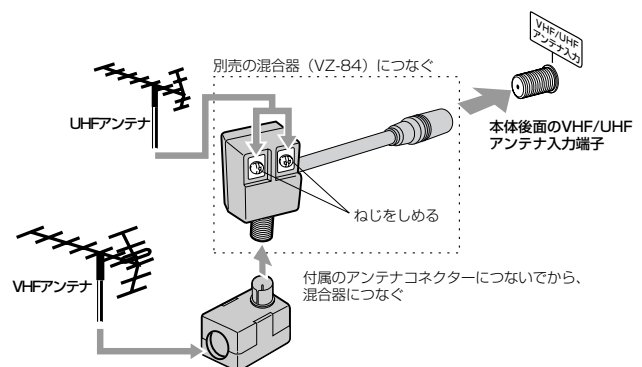


VHFとUHFが別々になっているとき

■ VHF、UHFのどちらか一方を接続する

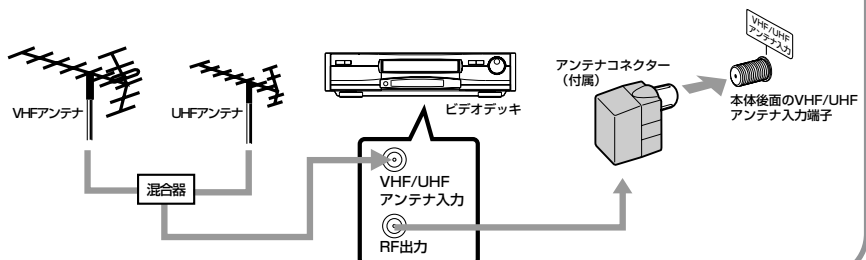


■ VHF、UHFの両方を接続する



ビデオデッキを接続するとき

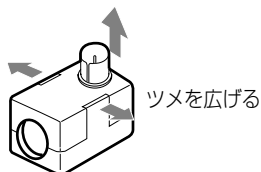
アンテナのケーブルはビデオデッキに接続し、ビデオデッキのRF出力からのケーブルを本機のVHF/UHFアンテナ入力端子につなぎます。ビデオデッキの取扱説明書も合わせてご覧ください。



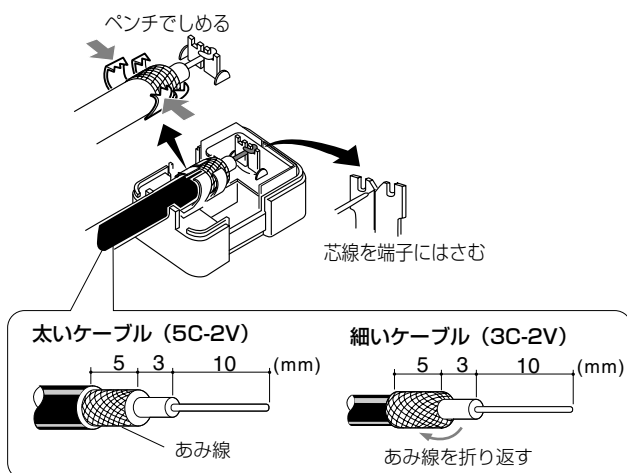
「知っておいていただきたいこと」(P.13)も
ご覧ください。

コネクタのつなぎかた

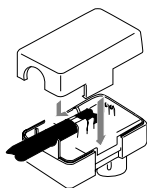
1 カバーを開ける



2 ケーブルをつなぐ



3 カバーをつける



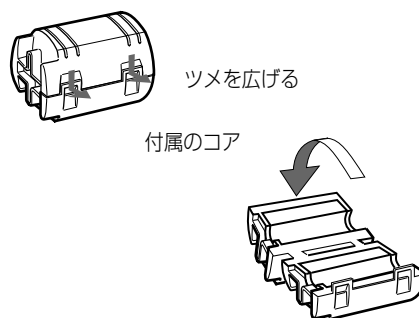
アンテナをつなぐときは

- BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器(または)分配器が必要になります。分波器(または)分配器は妨害を受けにくくするため、金属のケースで作られたものをご使用ください。ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。
- 妨害電波の影響を避けるため、道路や電車の架線、ネオンなどから離して設置するよう依頼してください。
- アンテナは定期的に点検・交換してください。特にばい煙や潮風があるところでは、傷みややすくなります。映りが悪くなったときは、サービス取扱所にご相談ください。

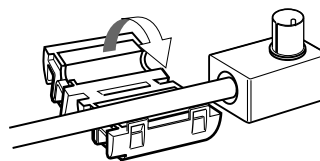
フェライトコアの取り付けかた

フェライトコアは必ず取り付けてください。

1 コアを開く



2 コアをケーブルに取り付ける



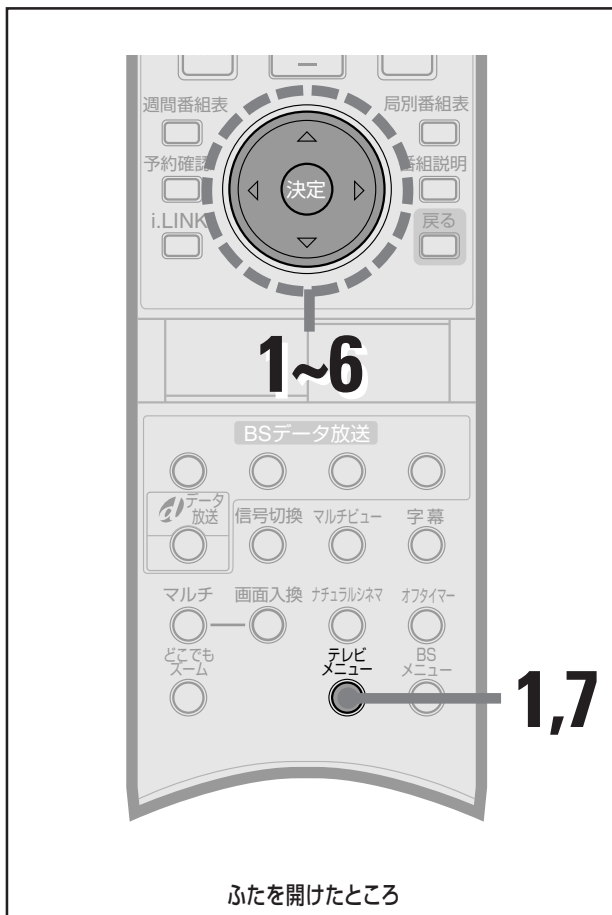
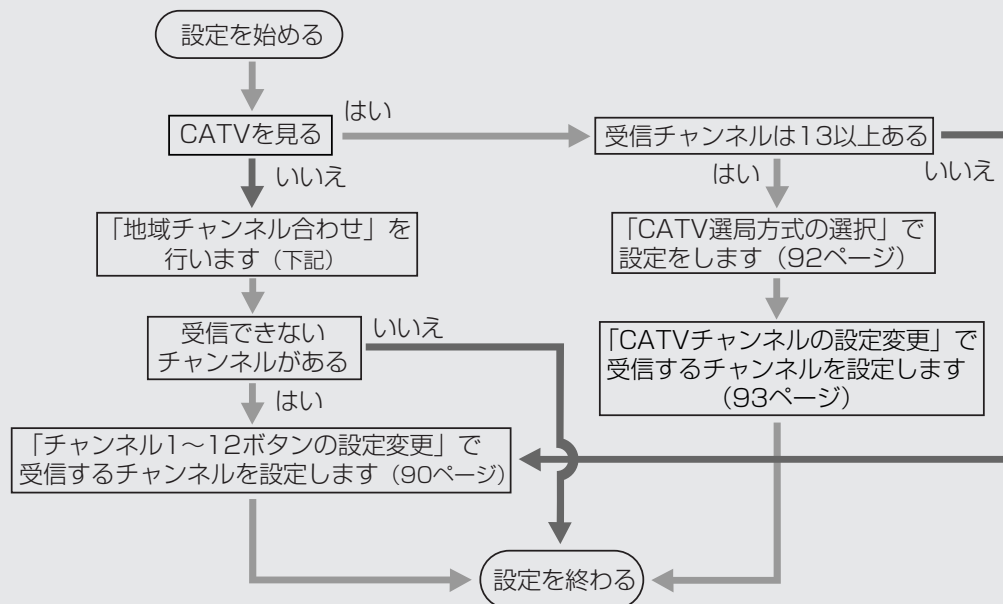
できるだけコネクタに近い位置で
コアを閉じ、取り付ける

アンテナの
接続と設定

地上波のチャンネルを合わせる

■チャンネル設定の手順

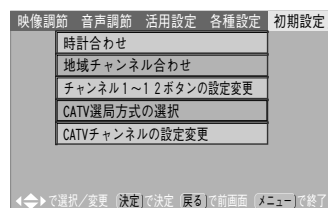
このテレビはお買い上げ時には、VHFの1～12チャンネルが映るように設定されています。そのままではテレビが映らないときは、次の手順でチャンネルの設定を行ってください。



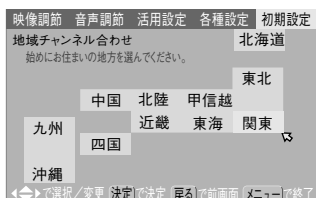
地域のチャンネルを一括して設定する

お住まいの地域を選んで、放送局を一括して登録することができます。

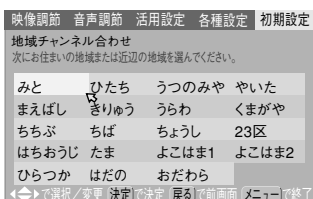
- 1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ



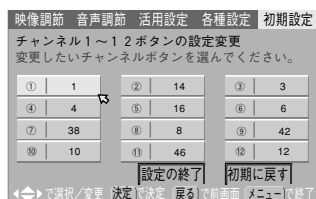
2 カーソルボタン(▲▼)を押して「地域チャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、お住まいの地方を選び、決定ボタンを押す



4 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、お住まいの都市を選び、決定ボタンを押す



例:「23区」を選んだとき

5 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、各チャンネルが受信できることを確認する

6 カーソルボタン(▼)ボタンを押して「設定の終了」を選び、決定ボタンを押す

7 テレビメニューボタンを押して終了する

お住まいの地域名がないとき

最も近い地域を選びます。
 近県または近隣の地域を選び、地域チャンネル合わせを行なってください。また、地域チャンネル合わせは、テレビの中継局には対応していません。中継局からの電波を受信したいときは、個別にチャンネル合わせを行ってください。(P.90)

設定の操作を中止するには

戻るボタンを押します。
 ひとつ前の画面に戻ります。

八王子・横浜市にお住まいの方は

- 八王子市にお住まいで、「はちおうじ」で放送が受信できない方は、「23区」に設定してください。
- 横浜市にお住まいの方は、はじめに「よこはま2」で設定してください。放送が受信できないときは「よこはま1」に設定し直してください。

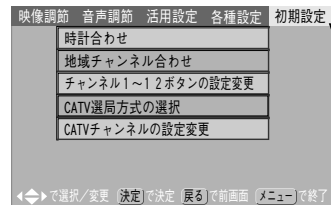
アンテナの
 接続と設定

地上波のチャンネルを合わせる(つづき)

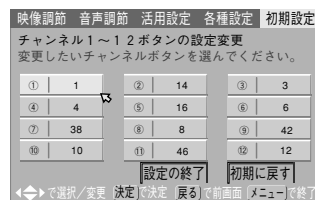
チャンネルを個別に設定する

お住まいの地域が「地域チャンネル合わせ」で設定できないときに個別に登録する、空いているチャンネルにCATVチャンネルを割り当てる、受信状態が悪い放送局を受信できないようにするなどの設定ができます。

- 1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ



- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して、「チャンネル1~12ボタンの設定変更」を選び、決定ボタンを押す



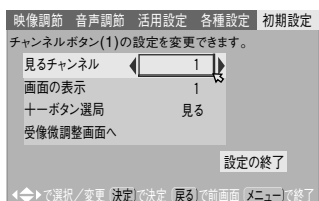
例:「23区」のとき

- 3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、設定したいリモコンチャンネルボタンを選び、決定ボタンを押す



ふたを開けたところ

4 カーソルボタン(▲▼)を押して、調節したい項目を選ぶ



5 カーソルボタン(◀▶)を押して、項目の設定を変更する

チャンネル設定の項目について

見るチャンネル : 受信するチャンネルの番号を選びます。(1~12:VHF放送、13~62:UHF放送、C13~C38:CATV放送)

画面の表示 : テレビ画面に表示するチャンネル番号を選びます。

+/-ボタン選局 : チャンネル+/-ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)
放送を受信していないときは、「見ない」にします。

受信微調整 : 受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します。

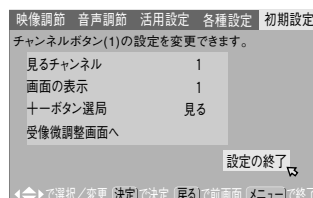
- 受信微調整を調整するには「受信微調整画面へ」を選び、決定ボタンを押す。調整バーが表示されます。



カーソルボタン(◀▶)で調整します。

6 他のチャンネル(数字)ボタンの設定も変えるときは、手順3~5をくり返す

7 カーソルボタン(▲▼)を押して「設定の終了」を選び、決定ボタンを押す



8 テレビメニューボタンを押して終了する

設定の操作を中止するには

戻るボタンで中止できます
ひとつ前の画面に戻ります。

チャンネルが13個以上あるときは



ふたを開けたところ

CATVチャンネルを個別に調節する



ふたを開けたところ

地上波のチャンネルを合わせる(つづき)

チャンネルが13個以上あるときは

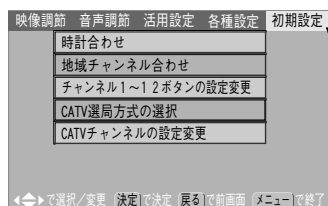
VHF、UHF、CATVのチャンネルが13個以上あるときは、選局方法を「数字入力方式」にすると、チャンネル(数字)ボタンで入力して選ぶことができます。

例：VHFの1チャンネルを選局するときは、0(10)、1と押します。

例：VHFの12チャンネルを選局するときは、1、2と押します。

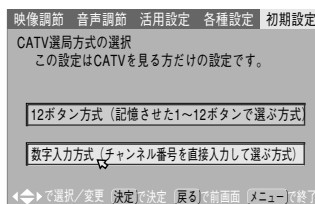
例：CATVのチャンネル34を選局するときは、3、4と押します。

- 1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ



- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して「CATV選局方式の選択」を選び、決定ボタンを押す

- 3 カーソルボタン(▲▼)を押して「数字入力方式(チャンネル番号を直接入力して選ぶ方式)」を選び、決定ボタンを押す



- 4 テレビメニューボタンを押して終了する

お買い上げ時の設定に戻すには

リモコンの1～12ボタンで選局できるように戻すには、手順3で「12ボタン方式」を選びます。

CATVについて

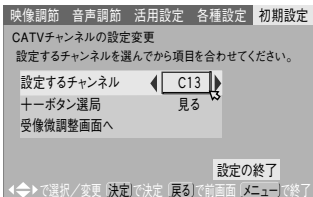
CATV(ケーブルテレビ)はサービスの行われている地域でだけ受信でき、CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはCATV各社にご相談ください。

CATVチャンネルを個別に調節する

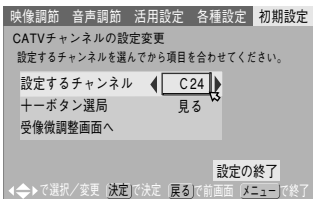
CATVの各チャンネルの設定を変更するときは、選局方法を「数字入力方式」(P.92)にしてください。

1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ

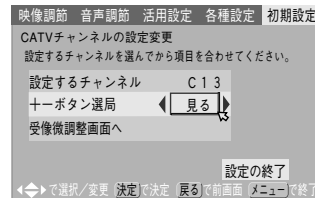
2 カーソルボタン(▲▼)を押して、「CATVチャンネルの設定変更」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタン(◀▶)を押して、CATVチャンネルを選ぶ



4 カーソルボタン(▲▼)を押して、調節する項目を選ぶ



5 カーソルボタン(◀▶)を押して、項目の設定を変更する

チャンネル設定の項目について

見るチャンネル : 受信するチャンネルの番号を選びます。(1～12:VHF放送、13～62:UHF放送、C13～C38:CATV放送)

画面の表示 : テレビ画面に表示するチャンネル番号を選びます。

十一ボタン選局 : チャンネル+/ーボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)
放送を受信していないときは、「見ない」にします。

受像微調整 : 受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します。

● 受像微調整を調整するには「受像微調整画面へ」を選び、決定ボタンを押す。調整バーが表示されます。



カーソルボタン(◀▶)で調整します。

6 他のCATVチャンネルの設定も変更するときは、手順3～6をくり返す

7 カーソルボタン(▲▼)で「設定の終了」を選び、決定ボタンを押す

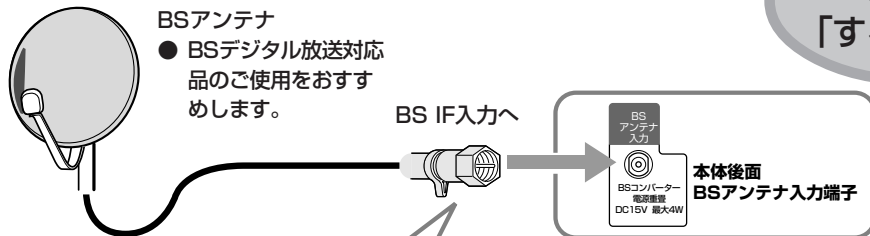
8 テレビメニューボタンを押して終了する

アンテナの接続と設定 (BSデジタル) BS アンテナをつなぐ

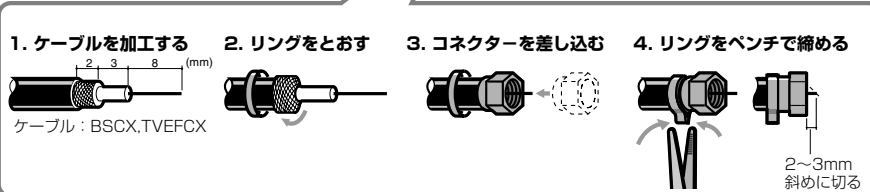
「知っておいていただきたいこと」(P.13)も
ご覧ください。

マンションなどの共聴システムを利用しているか、個人でBSアンテナをつないでいるかによって接続が異なります。アンテナの設置・接続はお買い上げの販売店にご依頼ください。

個別受信 (個別に BS アンテナを取り付けた場合)

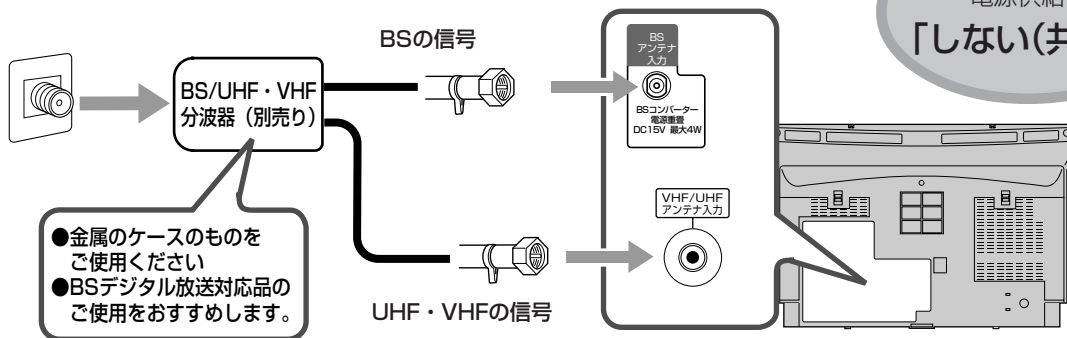


コンバーターへの
電源供給を
「する(個別)」



付属のアンテナコネクターは使用できません。

共聴 (マンションなど共聴システム)

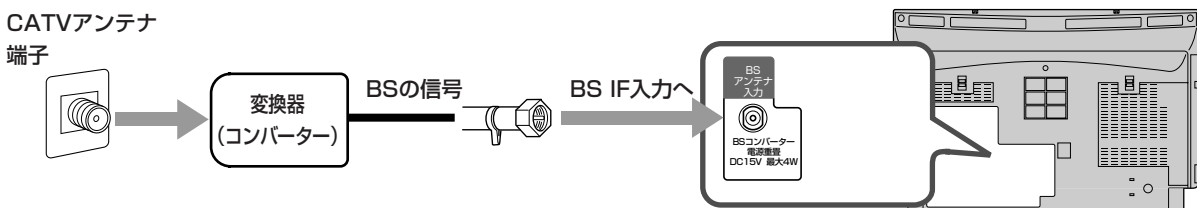


コンバーターへの
電源供給を
「しない(共聴)」

- 金属のケースのものを
ご使用ください
- BSデジタル放送対応品
のご使用をおすすめします。

- 共聴の設備によってはコンバーターへの電源供給を「する」に設定する必要がある場合があります。(パススルー方式を使用している場合) 共聴システムの管理者にご確認ください。

CATVをつなぐとき



コンバーターへの
電源供給を
「しない(共聴)」

- CATVの場合は、この接続のように「変換器」が必要な場合や専用のBSデジタルチューナーが必要な場合があります。必ずCATV会社にご確認のうえ接続をしてください。

BSデジタル放送の信号は今までのBS放送より分波器やブースターなどの影響を受けやすくなっています。今までのBS放送が受信できても、BSデジタル放送が受信できないことがあります。このようなときはお買い上げの販売店にご相談ください。またできるだけBSデジタル放送に対応した機器をご使用になることをおすすめします。

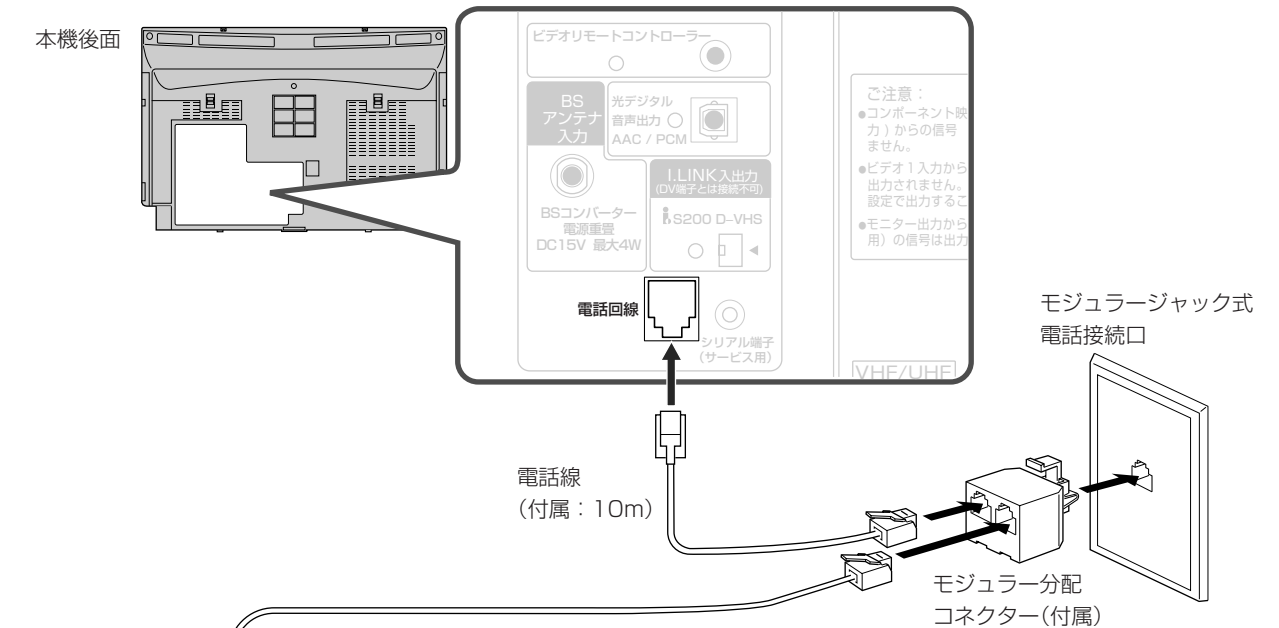
電話線をつなぐ

ご注意

接続が終わるまで電源コードをコンセントから抜いておいてください。

有料番組を購入するとき（P.50）や、クイズ番組の回答、ショッピングの申し込みなどの双方向型の番組に参加するときは、電話回線を使用します。これらのサービスを利用するときは必ず電話線を接続してください。

- 常に接続しておく必要があります。
- 接続したあとで電話の設定（P.102、107～109）を行います。



電話接続口が3ピン差し込みコンセントのときは

市販の交換アダプターでモジュラージャックに変換してモジュラー分配コネクターをつなぎます。

電話接続口がモジュラージャック式や3ピン差し込みコンセント以外の場合は

お買い上げの販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。

ご注意

- 本機は、専用線、公衆電話、共同電話、携帯電話、PHS、自動車電話、船舶電話、地域集団電話、ホームテレホンには接続できません。構内交換機(PBX)には接続できないものがあります。
- 本機が通信を行っているときは、同じ電話接続口に接続されている電話機やファクシミリなどは使用できません。また、一部の電話器やファクシミリでは呼び出し音が鳴ることがあります。そのときは、電話機やファクシミリのメーカーにご相談ください。

ISDN回線につなぐには

ターミナルアダプター(市販品)の電話用またはモデム用モジュラージャックに接続してください。ターミナルアダプターを使用していないときは、お買い上げ販売店またはお近くの電話会社にご相談ください。

キャッチホンサービスをご利用のときは

本機の通信中にキャッチホンが入ると通信が中断し、データが送れなくなります。キャッチホンのサービスをキャッチホンⅡに変更してください。詳しくはお近くの電話会社にご相談ください。

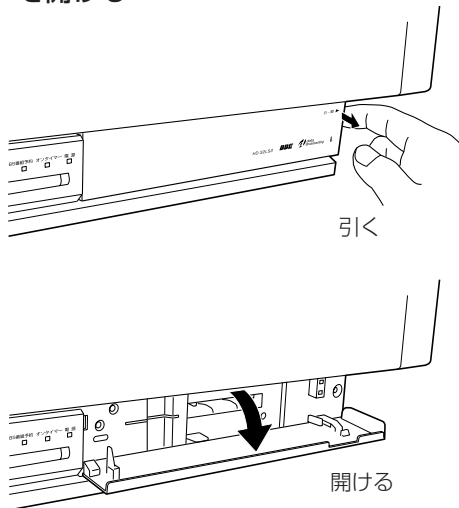
本機が通信を行うのは

- ICカードに記載された番組購入、契約状況などのデータが、月1回程度自動的に放送局に送信されます。
- 投票やショッピングなどの視聴者参加型番組はそのつどセンターに送信します。
- 電話料金が、有料か無料かは、放送事業者(放送局)にご確認ください。

B-CASカードを入れる

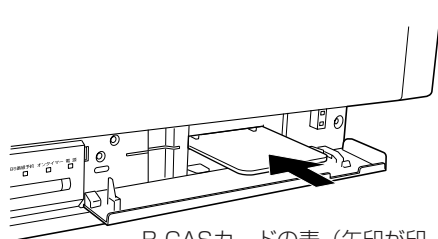
B-CASカード* を入れる

1 右ドアを開ける



2 B-CASカードを入れる

- B-CASカードは台紙の上に取り付けられています。



B-CASカードの表（矢印が印刷されている面）を上に向け、止まる位置まで入れる。

3 右ドアを閉める

4 B-CASカード番号を表示させ（「B-CASカード番号を表示するには」）、B-CASカードがきちんと挿入されていることを確認する

*「用語解説」(P.132)

B-CASカード番号を表示するには

- 2画面表示中は操作できません。

- 1 B-CASカードがB-CASカード挿入口にきちんと入っていることを確認する
- 2 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ
- 3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「ICカード番号を表示する」を選び、決定ボタンを押す
 - 表示されなかったときは、B-CASカードを1度抜いて、正しく入れ直します。その後、手順2からやり直します。
- 4 決定ボタンを押す
- 5 BSメニューボタンを押して終了する

初期受信周波数の設定について

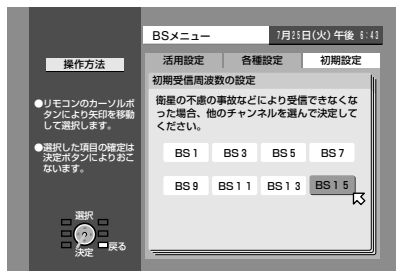
電源を入れたときに情報受信するチャンネル番号を設定します。

通常はお買い上げ時の設定(BS15)で変更する必要はありません。

BS15ではBSデジタル情報データが受信できなくなったときに、BS1・BS3・BS13のいずれかに設定し直します。

- 従来のBS放送(アナログ)が放送されているチャンネル(現在はBS5・BS7・BS9・BS11)を選ぶとBSデジタル放送を受信できなくなりますのでご注意ください。
- 2画面表示中は操作できません。

- 1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して、「初期受信周波数の設定」を選び、決定ボタンを押す



- 3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、設定したいチャンネルを選び、決定ボタンを押す
- 4 BSメニューボタンを押して終了する

BS デジタル放送の受信に必要な設定をする 簡単設定

本機を購入後、はじめてBSデジタル放送をごらんになるときは、「簡単設定」で必要な設定をしてください。

あらかじめ、アンテナやテレビ、電話線、ビデオデッキなどの接続を済ませておきます。

- BSアンテナをつなぐ (P.94)
- 電話線をつなぐ (P.95)
- ビデオデッキを接続する (P.111、112)

「簡単設定」では次の順に設定をすすめます。

ステップ1 「簡単設定」を始める (P.98)



ステップ2 BSアンテナの設定をする (P.99)



ステップ3 お住まいの地域を選ぶ (P.100)



ステップ4 郵便番号を入力する (P.101)



ステップ5 電話線の設定をする (P.102)

ご注意

- お住まいの地域、郵便番号は、データ放送の情報提示に利用されますので、正しく設定されることをおすすめします。
- 有料番組を購入するときや、クイズ番組の解答・ショッピングの申し込みなどの双方向型の番組に参加するときは、電話線の接続 (P.95) と設定が必要です。
- 通常、簡単設定が終了しているときは、時計は自動的に設定されます。しかし、衛星から時刻の情報が送られていないときは設定されません。その場合は、「時計を合わせる」(P.109) をご覧になって設定してください。

ステップ1



ふたを開けたところ

ステップ2



ふたを開けたところ

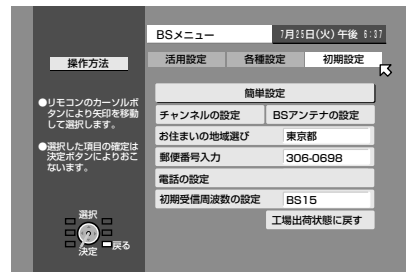
簡単設定 (つづき)

ステップ 1

簡単設定を始める

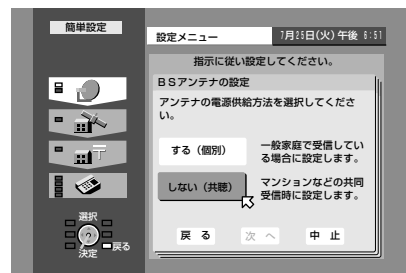
- 2画面中は操作できません。
- BSアンテナを接続していることを確認してください。

1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ



2 カーソルボタン(▲▼)を押して、「簡単設定」を選び、決定ボタンを押す

「BSアンテナの設定」画面に移ります。



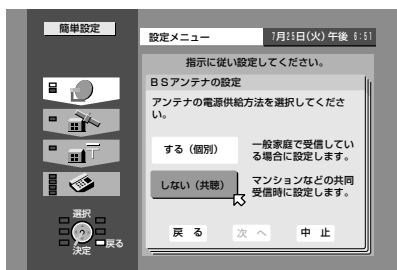
ステップ 2 へ

ステップ2

BS アンテナの設定をする

1 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、「する(個別)」または「しない(共聴)」を選び、決定ボタンを押す

BSアンテナに電源を供給するかどうかを設定します。



「する(個別)」:

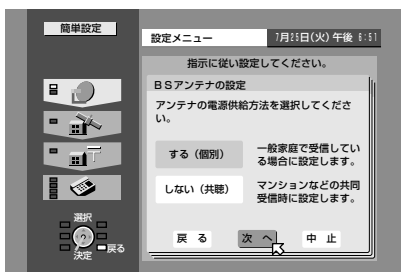
BSアンテナに電源を供給します。本機に直接BSアンテナをつないでいる場合に選びます。

「しない(共聴)」:

BSアンテナに電源を供給しません。マンションなどで共聴システムをお使いのときに選びます。

「次へ」にカーソル(矢印)が移動します。

2 決定ボタンを押す



「する(個別)」を選んだ場合

→ 手順**3**へ

「しない(共聴)」を選んだ場合

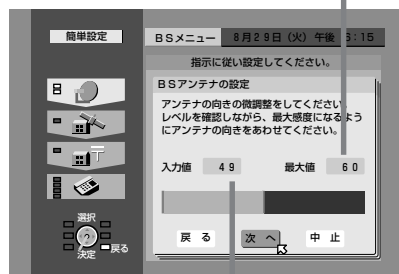
→ 手順**4**へ

3 (個別にアンテナをつないでいるときのみ) BSアンテナの向きを調整する

- アンテナレベルが「最大値」に近付くようにBSアンテナの向きを調整します。
- BSアンテナは少しずつ動かしてください。画面のレベル表示はアンテナの動きより少し遅れます。

最大値

アンテナの方向調整を始めてから受信した最大値を表示します。



現在のアンテナレベル

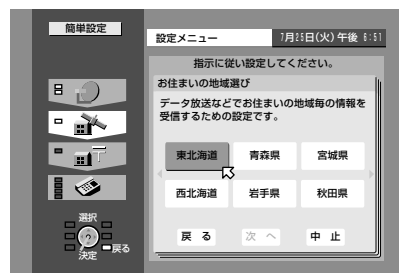
最大値に近付けるように、調整します。

- アンテナレベルは0～99までの数値で表示されます。アンテナレベルが50以下のときは、放送を受信できないことがありますのでご注意ください。
- アンテナレベルは本体の表示窓にも表示されます。(P.105)

アンテナの
接続と設定

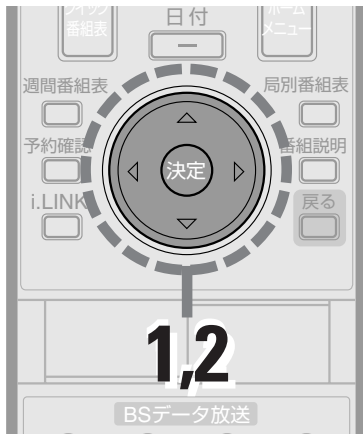
4 決定ボタンを押す

「受信情報を取得中です。しばらくお待ちください」と表示され、しばらくすると「お住まいの地域選び」画面に移ります。



- 受信情報の取得は通常数秒かかりますが、10秒程度かかる場合もあります。

ステップ3



ふたを開けたところ

ステップ4



ふたを開けたところ

簡単設定 (つづき)

ステップ3

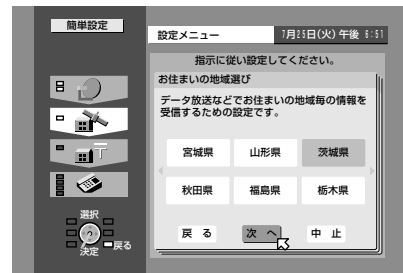
お住まいの地域を選ぶ

「お住まいの地域選び」は、データ放送の情報提示に利用されますので、正しく設定してください。

1

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、お住まいの地域を選び、決定ボタンを押す

1度に表示されるのは6つの地域です。カーソルボタン(◀▶)を押すごとに、他の地域が表示されます。

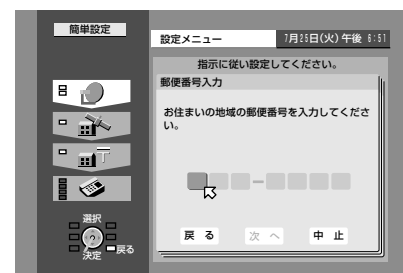


決定ボタンを押すと、「次へ」にカーソル(矢印)が移動します。

2

決定ボタンを押す

「郵便番号入力」画面に移ります。



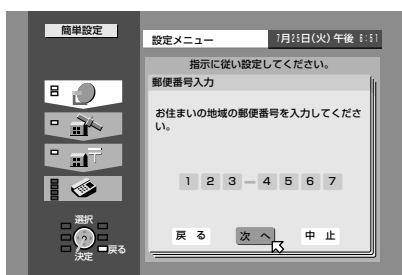
ステップ **4** へ

ステップ4

郵便番号を入力する

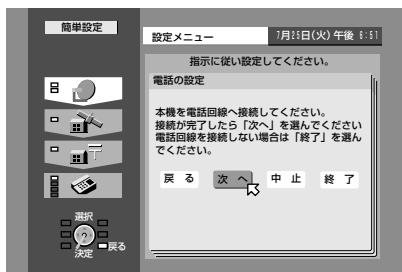
「郵便番号入力」は、データ放送の情報提示に利用されますので、正しく設定してください。

1 チャンネル(数字)ボタンを押して郵便番号を入力する



2 決定ボタンを押す

「電話の設定」画面に移ります。



「次へ」にカーソル(矢印)が移動します。

- 電話線を接続している場合：
決定ボタンを押します。
ステップ5へ進みます。
- 電話線を接続していない場合：
カーソルボタン(▶)を押して「終了」を選んで、決定ボタンを押します。
簡単設定はこれで完了です。



簡単設定(つづき)

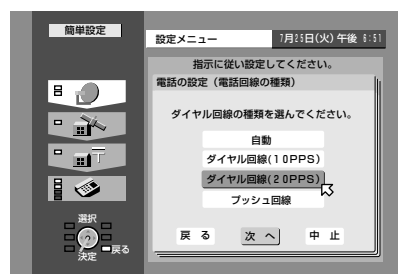
ステップ5

電話の設定をする

有料番組の購入や、クイズ番組の回答・ショッピングの申し込みなどの双方向型の番組に参加しないときは必要ありません。手順1で「中止」を選び、BSメニューボタンを押して終了してください。

1

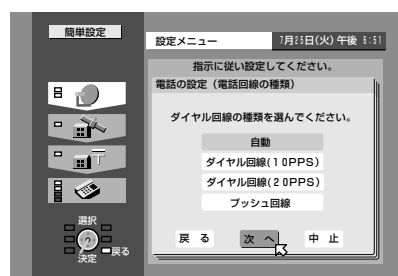
カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、「次へ」を選び、決定ボタンを押す



2

カーソルボタン(▲▼)を押して「自動」を選び、決定ボタンを押す

電話回線の種類がわかっているときはその種類を選んでください。

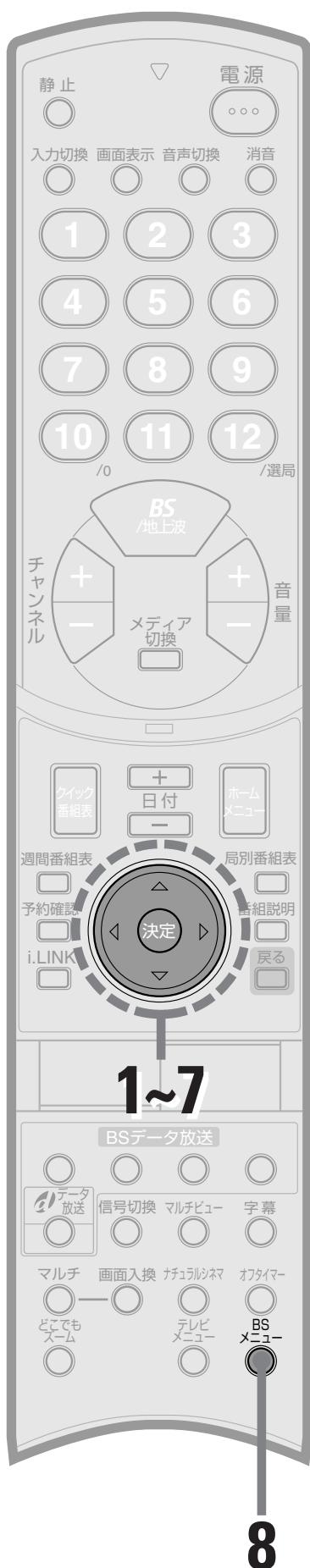


「次へ」にカーソル(矢印)が移動します。

3

決定ボタンを押す

外線発信番号の設定画面に移ります。



ふたを開けたところ

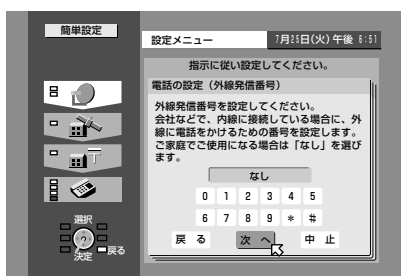
4 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して外線発信番号を設定し、決定ボタンを押す

例1)「0」発信のとき:

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「0」を選び、決定ボタンを押す。

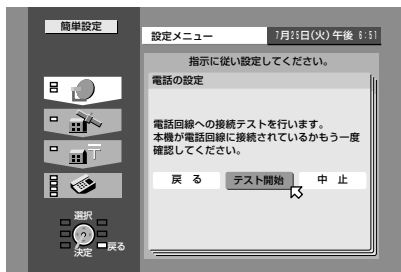
例2)ご家庭の電話のとき:

カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「なし」を選び、決定ボタンを押す。



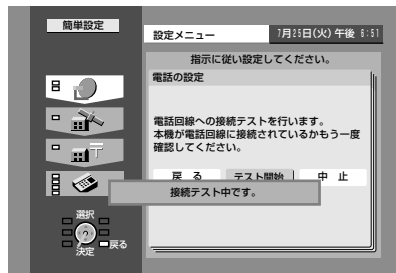
「次へ」にカーソル(矢印)が移動します。

5 決定ボタンを押す



正しく接続されているかどうか、テストします。

6 カーソルボタン(◀▶)を押して「テスト開始」を選び、決定ボタンを押す



「接続テスト中です」と表示されます。本体の表示窓右側には「通信中」と表示されます。しばらくして接続テストが終了すると、結果が表示されます。

● 接続テストは最長1分30秒ほどかかります。

接続テストがうまくいかなかったときは

● 戻るボタンを押して手順2に戻り、ご使用の電話回線の種類(「ダイヤル回線(10pps)」、「ダイヤル回線(20pps)」または「プッシュ回線」)を選び直してください。

接続している電話回線の種類がわからないときは、電話会社にお問い合わせください。

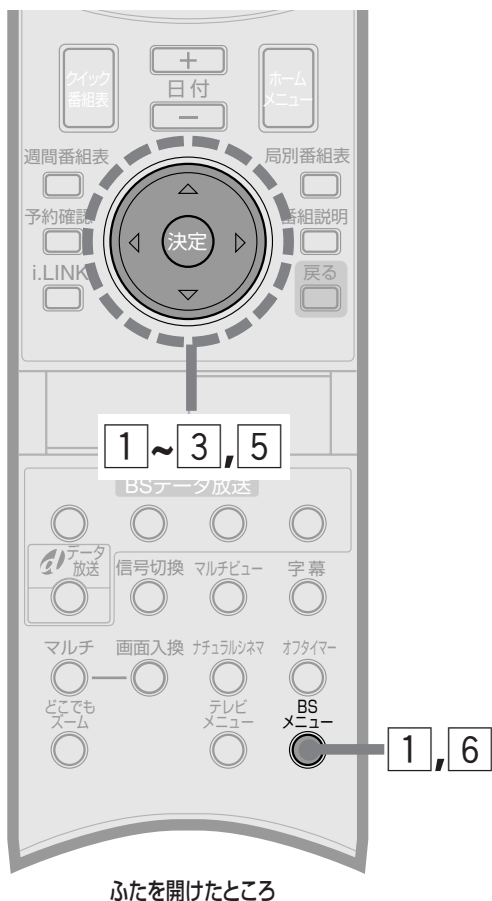
● 電話線が正しく接続されているか確認してください。(P95)

7 決定ボタンを押す

これで簡単設定は終了です。

8 BSメニューボタンを押して終了する

BSアンテナの設定/変更をするには



ふたを開けたところ

お住まいの地域の設定/変更をするには



ふたを開けたところ

個別に設定 / 変更する

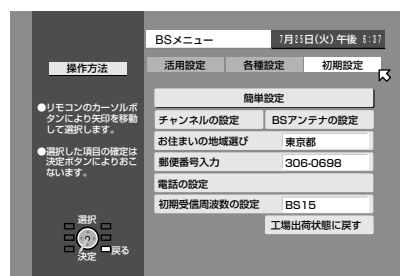
BSアンテナの設定/変更をするには

BSアンテナのコンバーターへ、本機から電源を供給する/しないの設定/変更ができます。

●2画面表示中は操作できません。

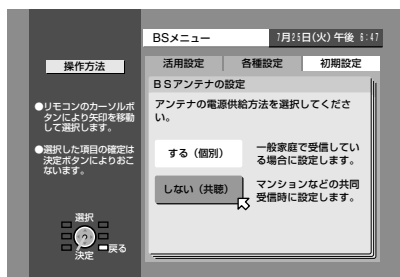
- 1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で、「初期設定」を選ぶ

「初期設定」画面が表示されます。



- 2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して、「BSアンテナの設定」を選び、決定ボタンを押す

電源供給の設定画面が表示されます。



- 3 カーソルボタン(◀▶)を押して「する(個別)」または「しない(共聴)」を選び、決定ボタンを押す

「する(個別)」:

BSアンテナに電源を供給します。本機に直接BSアンテナをつないでいる場合に選びます。

「しない(共聴)」:

BSアンテナに電源を供給しません。マンションなどで共聴システムをお使いのときに選びます。

手順④(次ページ)の画面が表示されます。

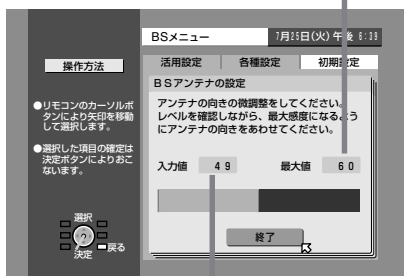
4 個別のアンテナをつないでいるときはBSアンテナの向きを調整する

「しない(共聴)」を選んだときは手順⑤に進んでください。

- アンテナレベルが「最大値」に近付くようにBSアンテナの向きを調整します。
- BSアンテナは少しずつ動かしてください。画面のレベル表示はアンテナの動きより少し遅れます。

最大値

アンテナの方向調整を始めてから受信した最大値を表示します。



現在のアンテナレベル

最大値に近付けるように、調整します。

5 決定ボタンを押す

「受信情報を取得中です。しばらくお待ちください。」と表示され、しばらくすると「初期設定」画面に戻ります。

6 BSメニューボタンを押して終了する

アンテナレベルについて

- アンテナレベルは0~99までの数値で表示されます。アンテナレベルが50以下のときは、放送を受信できないことがありますのでご注意ください。
- アンテナレベルは本体の表示窓でも表示されます。

本体の表示窓

最大値



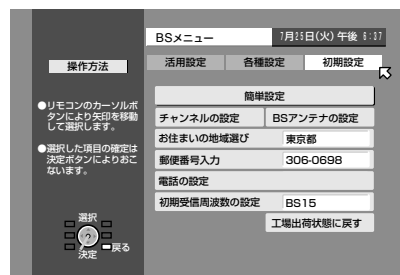
現在のアンテナレベル

お住まいの地域の設定/変更をするには

- 2画面表示中は操作できません。

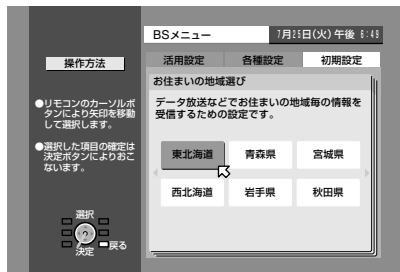
1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で、「初期設定」を選ぶ

「初期設定」画面が表示されます。



2 カーソルボタン(▲▼)を押して「お住まいの地域選び」を選び、決定ボタンを押す

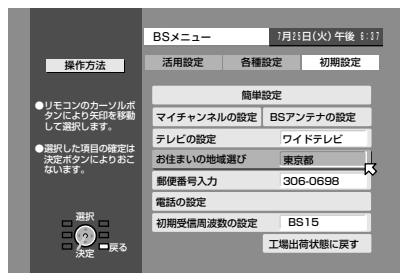
お住まいの地域を選ぶ画面が表示されます。



3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押してお住まいの地域を選び、決定ボタンを押す

- 1度に表示されるのは6地域です。カーソルボタン(◀▶)を押すごとに、他の地域が表示されます。

「初期設定」画面に戻ります。



4 BSメニューボタンを押して終了する

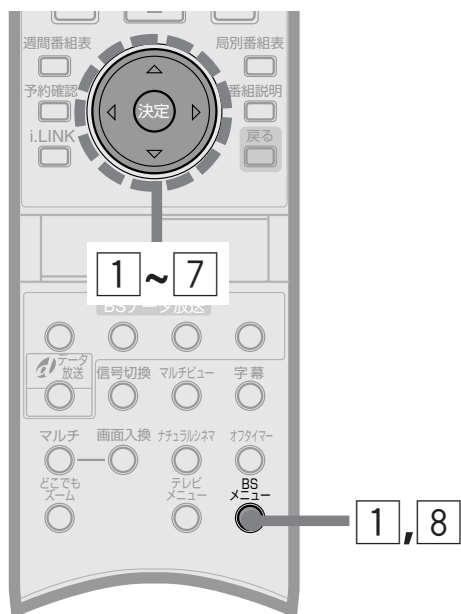
アンテナの
接続と設定

郵便番号の設定/変更をするには



ふたを開けたところ

電話の設定/変更をするには



ふたを開けたところ

個別に設定 / 変更する

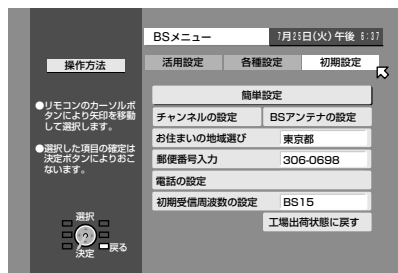
(つづき)

郵便番号の設定/変更をするには

●2画面表示中は操作できません。

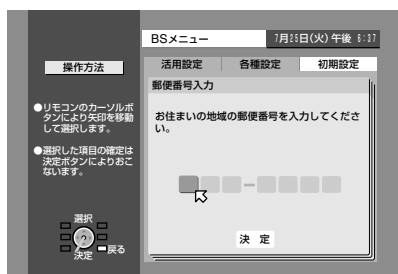
- 1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で、「初期設定」を選ぶ

「初期設定」画面が表示されます。



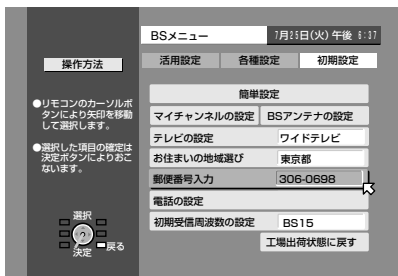
- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して、「郵便番号入力」を選び、決定ボタンを押す

郵便番号を入力する画面が表示されます。



- 3 チャンネル(数字)ボタンを押してお住まいの地域の郵便番号を入力し、決定ボタンを押す

「初期設定」画面に戻ります。



- 4 BSメニューボタンを押して終了する

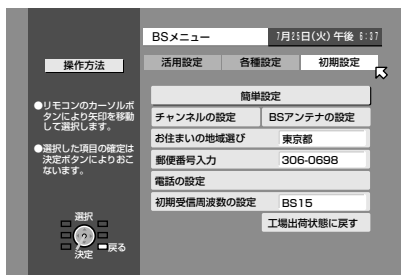
電話の設定/変更をするには

電話の設定/変更については、次ページもご覧ください。

●2画面表示中は操作できません。

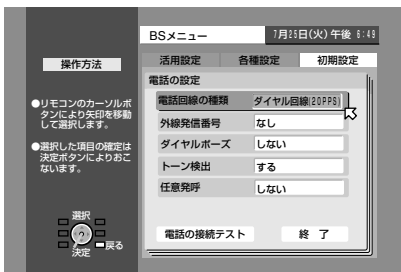
1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ

「初期設定」の画面が表示されます。



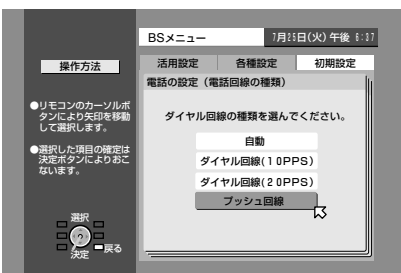
2 カーソルボタン(▲▼)を押して「電話の設定」を選び、決定ボタンを押す

電話の設定項目が表示されます。



3 カーソルボタン(▲▼)を押して設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

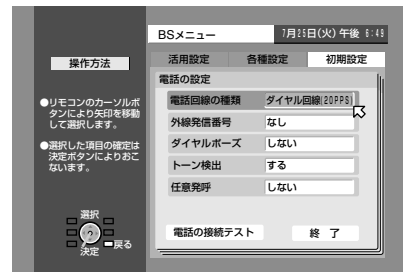
選んだ項目の設定画面が表示されます。



例:「電話回線の種類」を選んだとき

4 カーソルボタン(▲▼◀▶)を押して項目を選び、決定ボタンを押す

「電話の設定」画面に戻ります。



5 手順3～4をくり返して、他の設定をする

6 カーソルボタン(▲▼◀▶)を押して「電話の接続テスト」を選び、決定ボタンを押す

「接続テスト中です」と表示されます。本体の表示窓右側には「通信中」と表示されます。しばらくして接続テストが終了すると、結果が表示されます。

●接続テストは最長1分30秒ほどかかります。

接続テストがうまくいかなかったときは

- 戻るボタンを押して手順2に戻り、ご使用の電話回線の種類(「ダイヤル回線(10pps)」、「ダイヤル回線(20pps)」または「プッシュ回線」)を選び直してください。接続している電話回線の種類がわからないときは、電話会社にお問い合わせください。
- 電話線が正しく接続されているか確認してください。(P95)

7 カーソルボタン(◀▶)を押して「終了」を選び、決定ボタンを押す

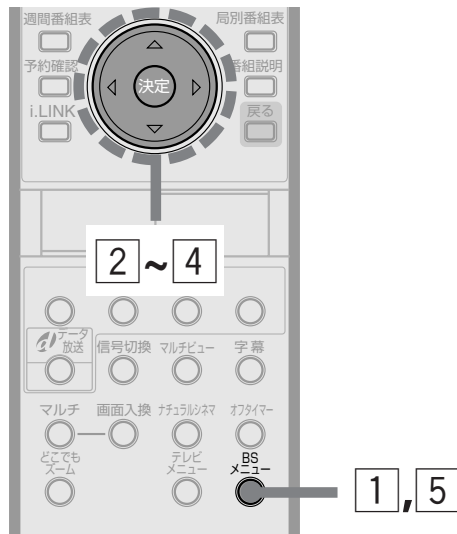
8 BSメニューボタンを押して終了する

アンテナの接続と設定

ダイヤルポーズを設定するには

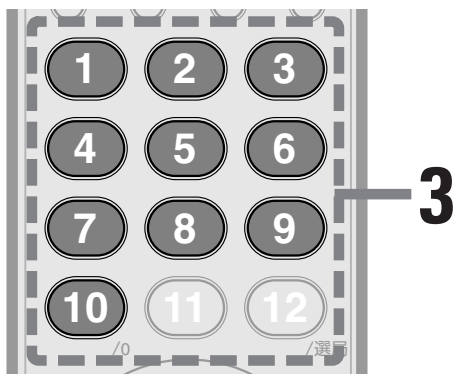
トーン検出を設定するには

センターへのデータ転送を電源を入れたときにおこなうように設定するには



ふたを開けたところ

時計を合わせる



ふたを開けたところ

個別に設定 / 変更する

(つづき)

ダイヤルポーズを設定するには

電話をかけるときに、外線発信番号を押したあと少し間をおくかどうかを設定します。ダイヤルポーズが必要かどうかは、ご使用の電話機によって異なりますので、電話機の取扱説明書をご覧ください。103ページの操作で外線発信番号を「なし」にしたときは設定する必要はありません。

●2画面表示中は操作できません。

- 1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で、「初期設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して「電話の設定」を選び、決定ボタンを押す
電話の設定画面が表示されます。
- 3 カーソルボタン(▲▼)を押して「ダイヤルポーズ」を選び、決定ボタンを押す
ダイヤルポーズの設定画面が表示されます。
- 4 カーソルボタン(▲▼)を押して「する」または「しない」を選び、決定ボタンを押す
- 5 BSメニューボタンを押して終了する

トーン検出を設定するには

電話器と合わせてお使いのとき、本機が回線を使えるかどうかを検出する設定です。通常は「する」を選びます。

●2画面表示中は操作できません。

- 1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で、「初期設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して「電話の設定」を選び、決定ボタンを押す
電話の設定画面が表示されます。
- 3 カーソルボタン(▲▼)を押して「トーン検出」を選び、決定ボタンを押す
トーン検出の設定画面が表示されます。
- 4 カーソルボタン(▲▼)を押して「する」を選び、決定ボタンを押す
●本機専用に電話線が使用できるときは「しない」と設定します。
- 5 BSメニューボタンを押して終了する

センターへのデータ転送を電源を入れたときにおこなうように設定するには

通常はお買い上げ時の設定(「しない」)を変更する必要はありませんが、B-CASカードのデータがセンターに送れなかったときにのみ「する」に設定してください。

●2画面表示中は操作できません。

- 1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で、「初期設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して「電話の設定」を選び、決定ボタンを押す
電話の設定画面が表示されます。
- 3 カーソルボタン(▲▼)を押して「任意発呼」を選び、決定ボタンを押す
任意発呼の設定画面が表示されます。
- 4 カーソルボタン(▲▼)を押して「する」または「しない」を選び、決定ボタンを押す
- 5 BSメニューボタンを押して終了する

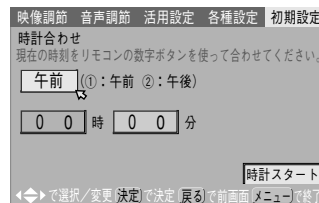
時計を合わせる

通常、BSデジタル放送の簡単設定が終了しているときは、時計は自動的に設定されます。ただし、衛星から時刻の情報が送られていないときは設定されません。地上波放送をご覧のとき、画面表示ボタンを押しても時刻表示が出なければ、下記の手順で時計の設定をおこなってください。

●時計の設定をしていないと「おはようタイマー」(P.66)などの機能が使えません。

1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「初期設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)を押して「時計合わせ」を選び、決定ボタンを押す



3 チャンネル(数字)ボタンを押して時刻を設定する

時間の設定のしかた

●午前・午後の設定

チャンネル(数字)ボタンで設定します。午前なら「1」、午後なら「2」を押します。

●時刻の設定

チャンネル(数字)ボタンで、現在時刻を入力します。

設定を途中でやりなおすには

カーソルボタン(◀▶▲▼)で項目を戻すことができます。

4 時報などに合わせて、決定ボタンを押す

時計が動き始めます

5 テレビメニューボタンを押して終了する

AV 機器をつなぐ AV 機器の接続早わかり

AV機器などを接続するには、それぞれの機器の電源を切ってから行います。
また、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ビデオムービー/テレビゲームを接続する

接続できる機器

本体前面

● ビデオムービーやテレビゲームの接続には、専用の接続コードやアダプターが必要なときがあります。詳しくは、ビデオムービーやテレビゲームの取扱説明書をご覧ください。

● S映像出力があるときは、S映像コードで接続されることをおすすめします。映像コードも接続されているときにはS映像が優先されます。

ビデオムービーやテレビゲームを楽しむには

「ビデオ4」に切り換わるまで入力切換ボタンをくり返し押す。(P.19)
入力切換の表示が出ます。

入力切換
B S 101
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4

本体後面

ビデオデッキ P.111 (VHS/S-VHS)

D-VHSビデオデッキ P.112

DVDプレーヤー P.116

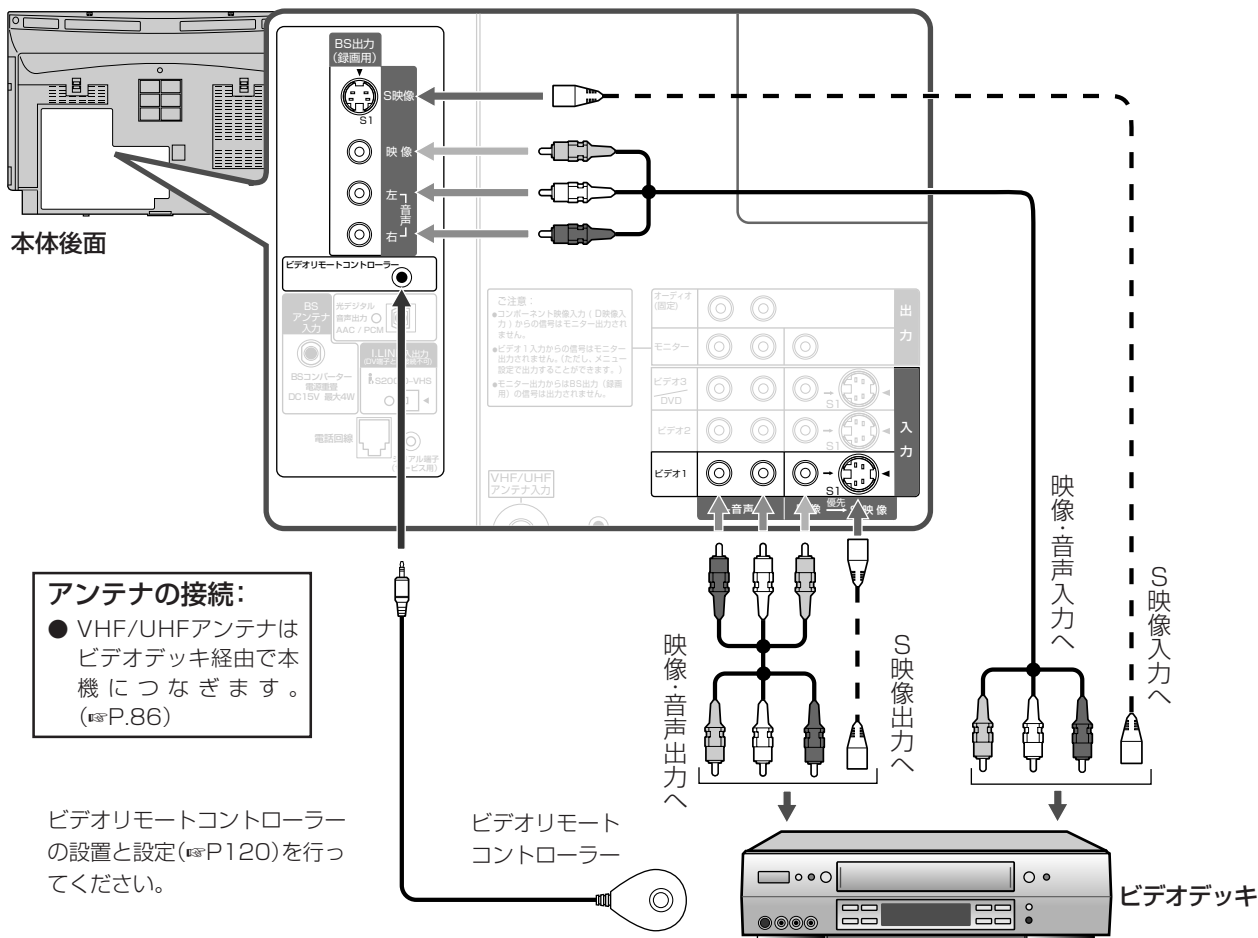
MDレコーダー P.118

アンプやスピーカー P.117

ビデオデッキをつなぐ

ご注意

- 接続が終わるまで電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- ビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。



ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。(P.19)

- ビデオデッキは、ビデオ2入力端子や、ビデオ3/DVD入力端子にも接続できます。そのときは、入力切換ボタンを押し、「ビデオ2」または「ビデオ3」を選びます。

ビデオ1入力端子の映像が乱れるときは

- 1 テレビメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を選び、決定ボタンを押す
- 3 カーソルボタン(◀▶)で「出力しない」を選び、決定ボタンを押す
- 4 テレビメニューボタンを押して終了する

画面にノイズ(たて線など)が出るときは

ケーブルをとおしてノイズが入っていることが考えられます。シールドのしっかりしたケーブルに交換したり、ケーブルの位置をかえて、ノイズが少なくなるようにしてください。

BSデジタル放送を録画するときは

番組を見ながら録画する

- 1 ビデオデッキの入力切換で、本機をつないだ入力を選ぶ
- 2 ビデオデッキを操作して録画する

予約録画をする(P.58~63)

- 1 ビデオデッキの入力切換で、本機をつないだ入力を選ぶ
- 2 ビデオデッキに録画用のテープを入れ、ビデオデッキの電源を切る
- 3 本機で番組を録画予約する(P.58)

ご注意

- 地上波放送を録画するときはビデオデッキで操作してください。
- お手持ちのビデオデッキにS映像入力端子があるときは、別売りのS映像用ケーブルでつないでください。映像端子(黄色)よりも、鮮明な映像で録画/再生できます。
- BS出力の映像端子およびS1映像端子からは、チャンネル表示や、メニュー、番組表、データ放送の映像は出力されません。
- BS出力の音声出力端子からは、お知らせ音は出力されません。
- AVコンピュリンク端子のあるビデオデッキにつなぐときはP.119をご覧ください。
- 「BSデジタルリンク予約」や「BSデジタル予約[着信予約]」機能のあるビクター製ビデオデッキの場合は、ビデオデッキの取扱説明書にしたがって、接続と操作をおこなってください。

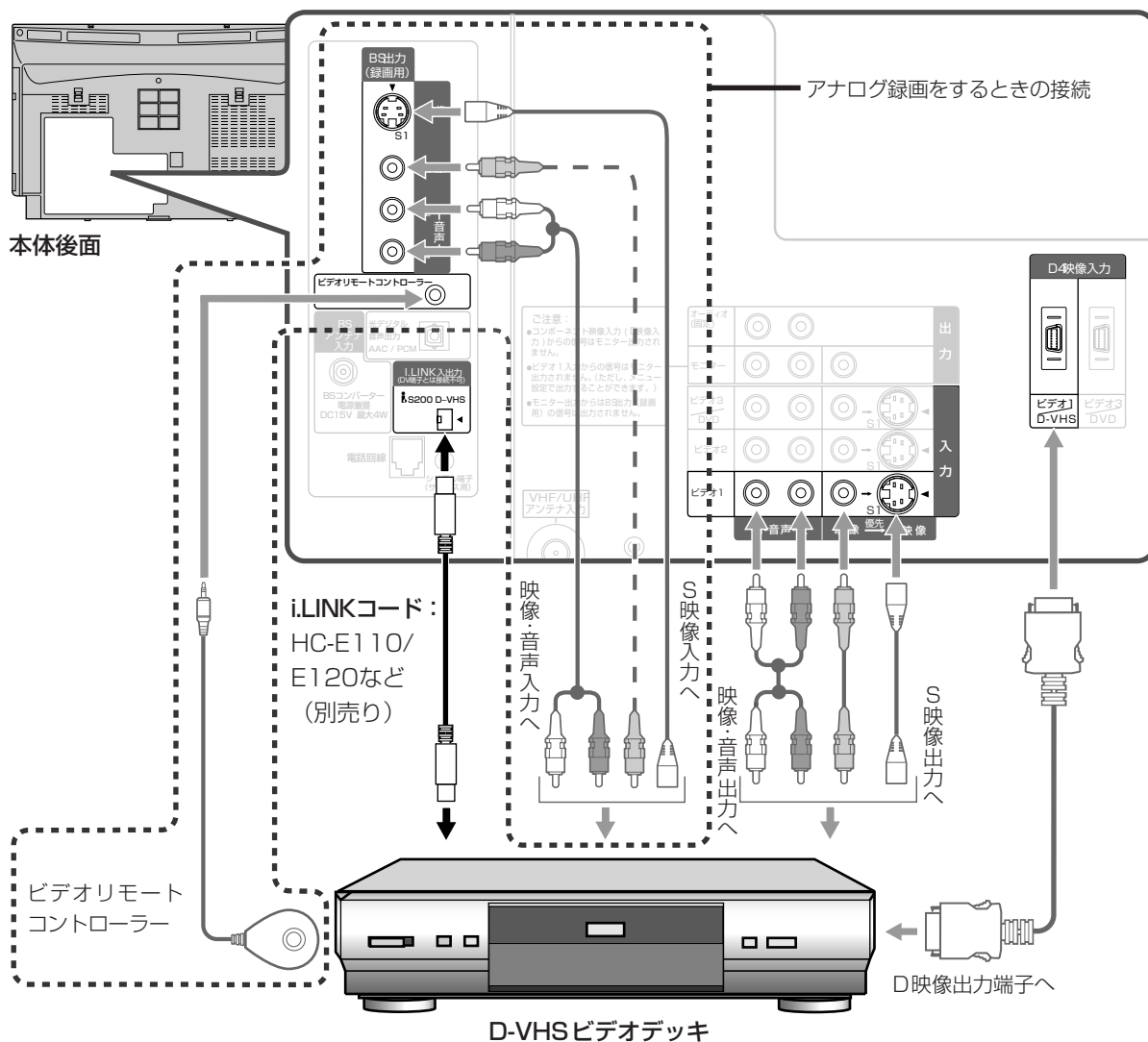
つなぐAV機器を

D-VHS ビデオデッキをつなぐ

- i.LINKコードを接続するだけで使用できます。
(115ページの「i.LINKの設定をする」を必ずおこなってください。)
i.LINKコード以外の接続は必要に応じておこなってください。

アンテナの接続:

- VHF/UHFアンテナはビデオデッキ経由で本機につながります。(※P.86)



接続が終わったら

本機とD-VHSビデオデッキをi.LINKコードでつないだだけではD-VHS(デジタル)録画/再生はできません。

「i.LINKの設定をする」(P.115)をご覧になってi.LINKの設定(LINC)を行ってください。

本機のi.LINK接続が可能なビクター製品には次のようなものがあります。

D-VHSビデオデッキ	HM-DR10000
	HM-DH20000
	HM-DH30000

接続時のご注意

- HM-DR10000(ビクター製D-VHSビデオデッキ)をご使用の場合、D端子コードをビデオ1/D-VHS:D4映像入力端子へ接続しているときは、映像ケーブルをビデオ2またはビデオ3入力の映像入力端子へ接続します。ビデオデッキの画面表示を使って操作するときは、入力切換ボタンを押して、本機の入力を映像ケーブルを接続した入力に切り換えてください。
- 複数のD-VHSビデオデッキをi.LINK接続するときは、「i.LINKでつなげる」(※P.114)をご覧ください。
- i.LINKコードはS200またはS400の規格に対応したものをご使用ください。S200やS400の規格の表示のないDVコードは使用できません。

ご注意

- 接続が終わるまで電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- D-VHSビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。

D-VHSでデジタル録画する

i.LINK 接続でおこないます。i.LINK の設定をおこなってください(☞P.115)

番組を見ながら録画する

- 1 D-VHSビデオデッキの入力を「i.LINK入力」に切り換える
- 2 番組に合わせて録画モード(HS/STD/LS3)を設定する
- 3 D-VHSビデオデッキを操作して録画する

本機で予約録画をする(☞P.58～63)

- 1 D-VHSビデオデッキの入力を「i.LINK入力」に切り換える
- 2 D-VHSビデオデッキに録画用のD-VHSテープを入れ、電源を切る
- 3 本機で番組を録画予約する(☞P.58)
D-VHSモードで録画できるように設定します。
- 4 リモコンでテレビの電源を切る
ご注意：
テレビ本体の電源ボタンで電源を切ると予約録画できなくなります。電源を切るときは、必ずリモコンの電源ボタンで操作してください。

D-VHSでデジタル録画したビデオテープを見る

i.LINK 接続でおこないます。i.LINK の設定をおこなってください(☞P.115)

- 1 BS/地上波ボタンを押してBSデジタル放送に切り換える
- 2 D-VHSビデオデッキの再生ボタンを押す
自動的にD-VHSビデオデッキの映像に切り換わりません。

データ放送が録画されているときは

- 連動型データ放送のデータが録画されているときは
再生中にデータボタンを押すと、データ放送画面が表示されます。放送をご覧になっているときとほぼ同様に、データ放送の操作ができます。(☞P.48)
- 独立型データ放送が録画されているときは
放送をご覧になっているときとほぼ同様に、データ放送の操作ができます。(☞P.48)
(双方向サービスなど、一部操作が制限される場合があります。)

BS出力(録画用)を使ってD-VHSでデジタル録画する場合は、下記のVHS/S-VHS(アナログ)の録画/再生と同様に、「ビデオを見るときは」、「BSデジタル放送を録画するときは」(☞P.111)をご覧ください。

VHS/S-VHS(アナログ)の録画/再生は

「ビデオを見るときは」、「BSデジタル放送を録画するときは」(☞P.111)をご覧ください。

ご注意

- 地上波放送を録画するときはD-VHSビデオデッキで操作してください。
- 本機で予約録画できるのはBSデジタル放送の番組のみです。

録画/再生時のご注意

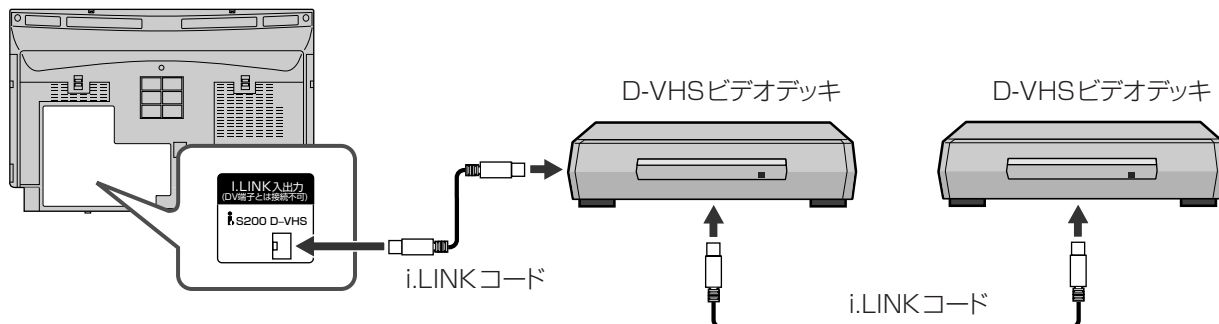
- 連動型データ放送やマルチビュー放送、または複数の信号がある場合、これらの番組に関連するデータはすべて出力されます。HSモードのあるD-VHSビデオデッキではこれらのi.LINK端子から出力されるデータをすべて録画できます。(情報量が多くなると出力されないデータが発生することがあります。)
- データ放送はLS3モードでは録画できません。
- データ放送はVHS/S-VHSモードでは録画できません。D-VHSモードで録画してください。
- BSラジオ放送では音声のほかにデータ放送の映像のある番組があります。この場合、LS3モードやVHS/S-VHS記録では音声しか録画できません。データ放送の映像も録画したいときは、D-VHSテープにSTDまたはHSモードで録画してください。
- HSモードに対応していないD-VHSビデオデッキではハイビジョン番組など標準放送番組以外のデジタル録画(i.LINK経由)ができません。標準放送以外の番組はVHS/S-VHS記録で録画してください。D-VHSビデオデッキの入力をi.LINKから本機のBS出力をつないだ入力に切り換えてください。
- 標準放送番組をSDモードで録画するときは、本機で選択した映像・音声のみが記録されます。
- マルチチャンネル放送では、選択されたチャンネルの映像・音声がi.LINK端子から出力されます。
- MPEG2AACデコード機能のないD-VHSビデオデッキではBSデジタル放送の音声の再生ができません。本機にi.LINK入力をして再生します。

アイリンク i.LINK でつなげる

ご注意

- 接続が終わるまで電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- 各機器の取扱説明書もご覧ください。

i.LINK 接続では、今までの映像・音声コードと違い、1本のコードで映像や音声などのデータをやりとりすることができます。そのかわり、使用する前に相手の機器を指定する設定が必要になります。



- 「D-VHSビデオデッキをつなぐ」(P.112)もご覧ください。
- i.LINKコードはS200またはS400の規格に対応したものをご使用ください。S200やS400の規格の表示のないものは使用できません。
- D-VHSビデオデッキを2台使ってダビングするときは、本機のLINCを解除し、D-VHSビデオデッキ同士をLINCしてください。(※P.115)

i.LINKで接続するときのご注意

- i.LINK対応機器を接続するときは、各機器がループ(閉じた輪)状にならないように接続します。

□ : i.LINK対応機器 — : i.LINKコード

良い例



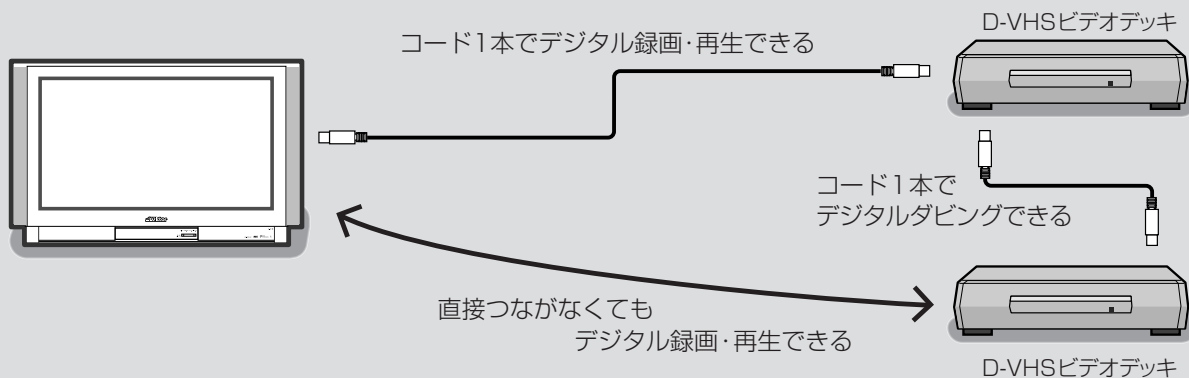
悪い例



- i.LINK接続しているすべての機器の電源プラグはいつも差し込んだままにしてください。またi.LINK接続で操作中は、i.LINKコードを抜き差ししないでください。

i.LINKとは?

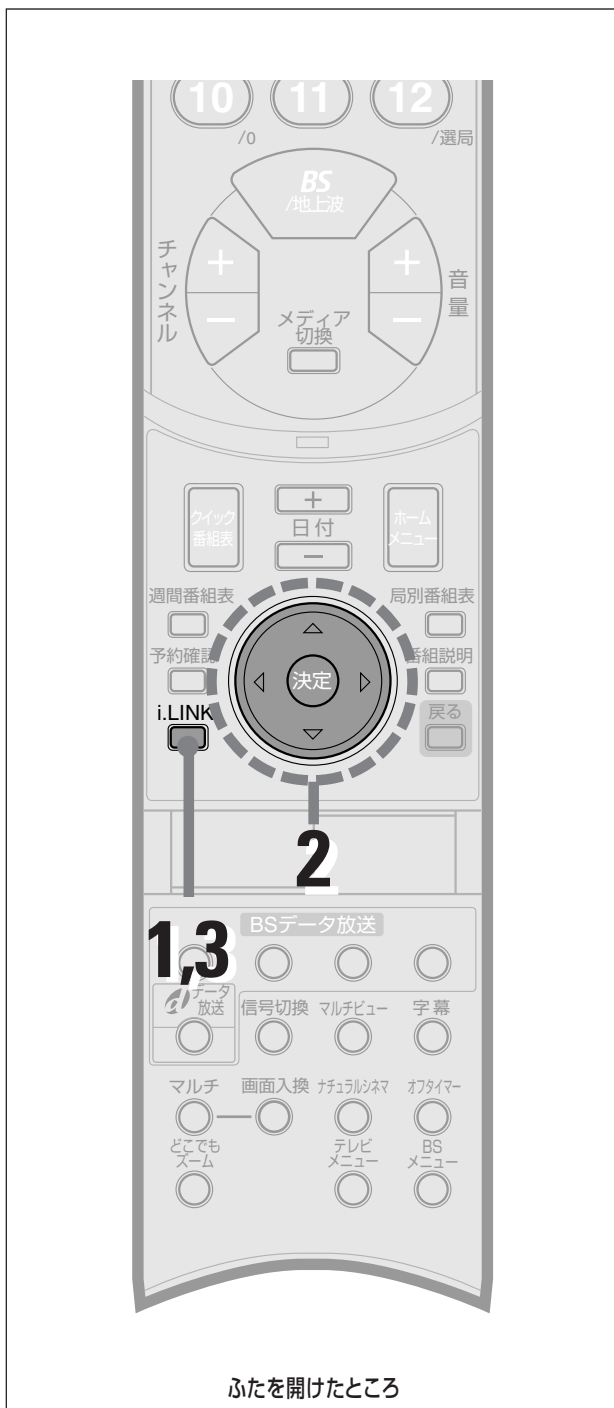
i.LINK端子を持つ機器同士を1本のi.LINKケーブルで接続するだけで、デジタル信号(本機ではBSデジタル放送の映像・音声・データ放送)を双方向でやりとりできます。また他の機器を中継していても、直接接続しているときと同じようにやりとりできます。そのため順序を気にせずに、複数の機器を接続できます。



- i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合、または市販のIEEE1394用ハブを使って、分岐接続ができます。
- 最大63台まで接続することが可能です。(1つの経路では最大17台までです。)

i.LINKは、国際標準化規格「IEEE1394-1995」およびその拡張仕様を示す呼称です。

i.LINKとi.LINKのロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。



ふたを開けたところ

複数のD-VHSビデオデッキをi.LINK接続しているときは

ご使用になる D-VHS ビデオデッキを LINC してください。

LINCの設定を解除するには

手順2でカーソルボタン(▲▼)を押してLINCされた機器を選び、決定ボタンを押す。機器の表示が青色から黒に戻り、i.LINKのマークも消えます。

本機のi.LINK端子で扱える信号

本機のi.LINK端子で扱えるデータは、BSデジタル放送の映像、音声、データ放送の信号です。デジタルビデオカメラなどのDVデータやパソコン用のデータ、CSデジタル放送のデータには対応していません。

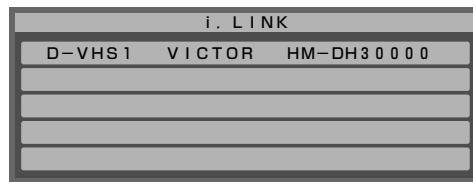
アイリンク i.LINKの設定をする

D-VHSモードで録画/再生するには、i.LINKコードでの接続のあとに、i.LINKの設定を行います。接続された機器同士を関係させて操作するには相手機器を指定します。相手機器を指定することを、「LINC*する」といいます。(*用語解説P.132)

- 録画をするにはD-VHSビデオデッキのi.LINK入力設定が必要です。必ず設定をおこなってください。設定や操作方法はD-VHSビデオデッキの取扱説明書をお読みください。
- 2画面表示中は操作できません。

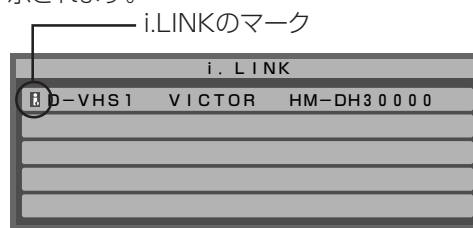
1 i.LINK ボタンを押す

i.LINKリストが表示されます。



2 カーソルボタン(▲▼)で操作したい機器を選び、決定ボタンを押す

文字が黒から青にかわり、赤いi.LINKのマークが表示されます。



3 i.LINK ボタンを押して i.LINK リストを消す

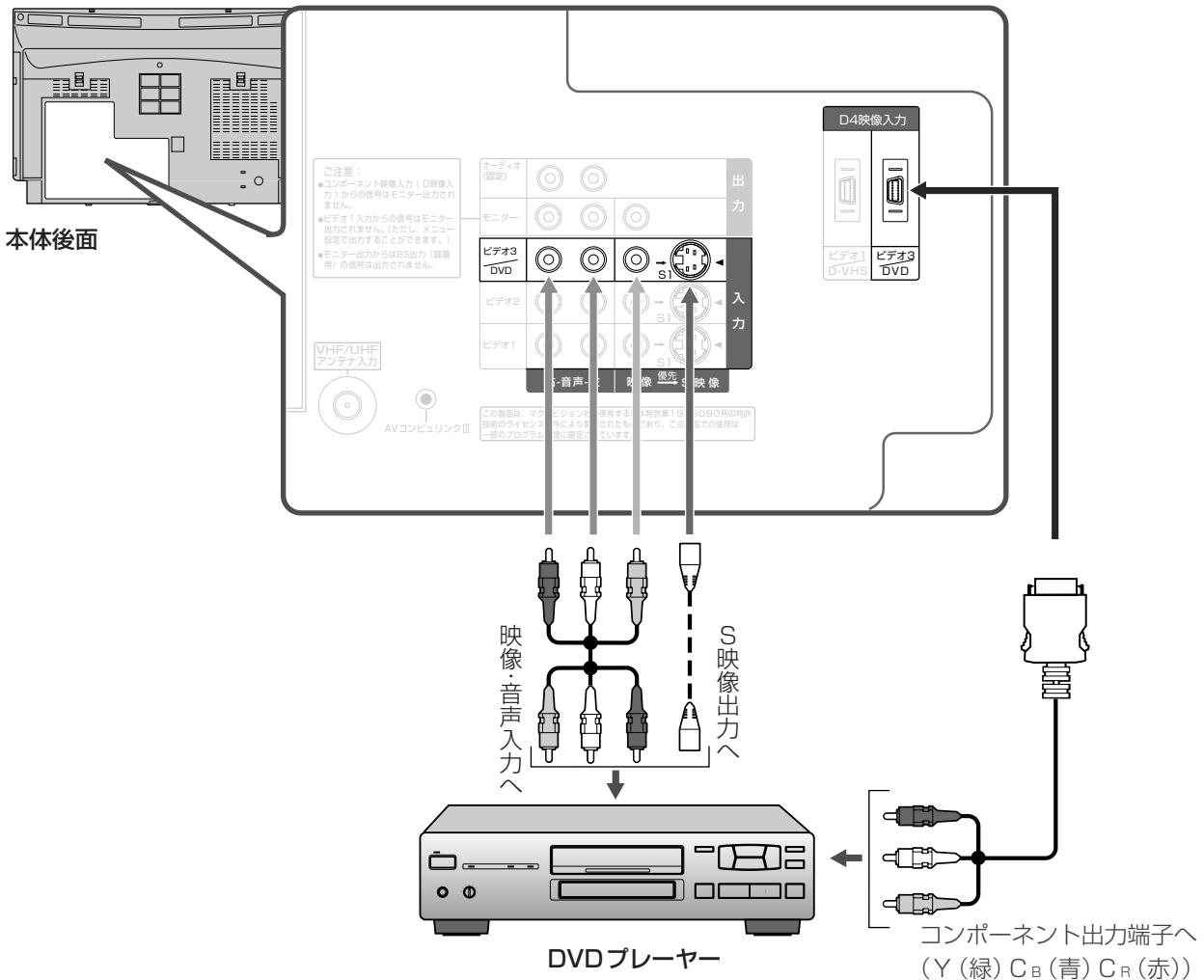
- 複数の同じ機種名のD-VHSを接続している場合は、機器番号(D-VHS1、D-VHS2...)と実際のD-VHSとの対応を確認されることをおすすめします。

つなぐ
AV機器を

DVDプレーヤーをつなぐ

ご注意

- 接続が終わるまで電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- DVDプレーヤーの取扱説明書もご覧ください。



接続時のご注意

- DVDプレーヤーのコンポーネント出力端子が、D端子のときは両端がDコネクタのコード(市販品)をご使用ください。
- ビクター製のAVコンピュリンク端子があるDVDプレーヤーを接続するときは、P.119もご覧ください。

接続後に次の設定をしてください

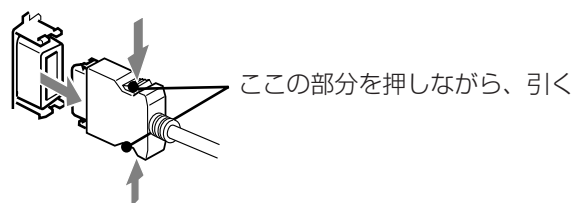
DVDプレーヤーのマルチアスペクト(画面サイズ)をワイド画面用の設定にしてください。

- 詳しくは、お手持ちのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DVDを見るときは

入力切換ボタンを押し、「ビデオ3」を選びます。

D映像端子コネクタの外しかた



本機のD端子が対応する信号

本機のD端子はD4映像入力端子です。対応できる信号は次のとおりです。D1～D4映像出力を持つ機器を接続できます。

対応する映像出力	映像信号フォーマット			
	1125i	750p*	525p	525i
D4	○	○	○	○
D3	○	—	○	○
D2	—	—	○	○
D1	—	—	—	○

*750pの信号は525pに変換して表示されます。

アンプやスピーカーをつなぐ

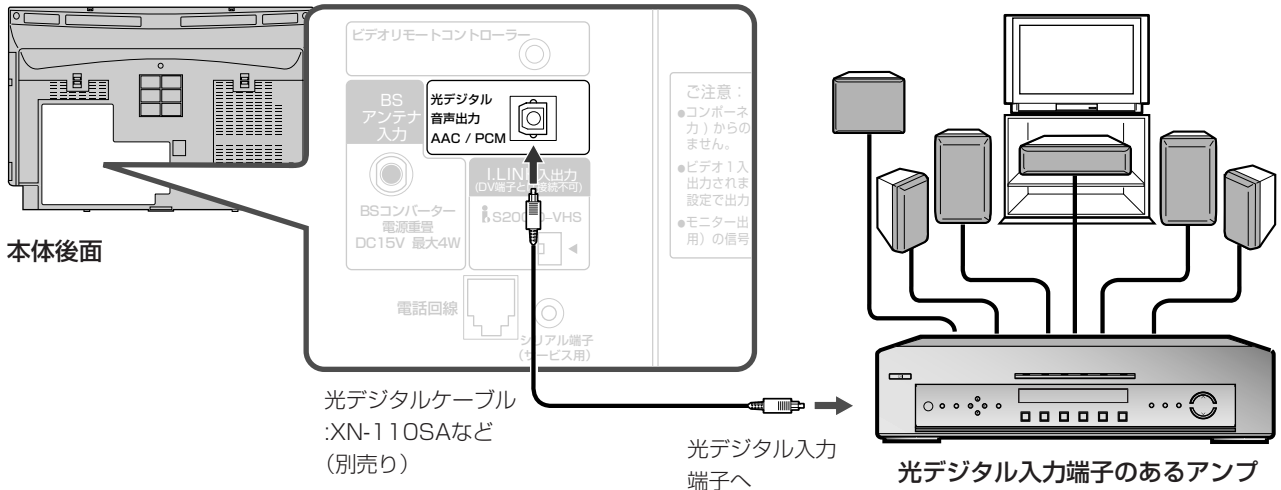
ご注意

- 接続が終わるまで電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- アンプやスピーカーの取扱説明書もご覧ください。

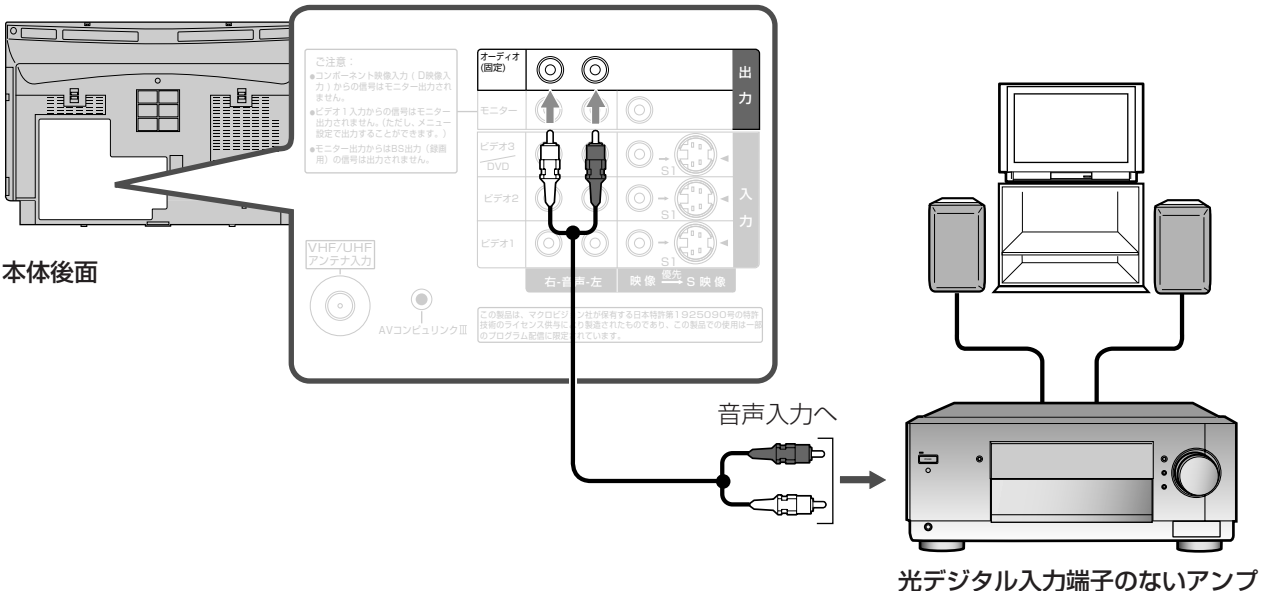
光デジタル入力端子のあるアンプのとき

MPEG2 AACデコーダー内蔵のアンプを接続すると、BSデジタル放送の5.1chサラウンド音声もお楽しみいただけます。

- MPEG2 AAC音声を聴くときは、BSメニューの「光デジタル出力の設定」で「AAC」を選んでください。
(P.118)



光デジタル入力端子のないアンプのとき



- アンプ内蔵のスピーカーもオーディオ出力につないで楽しむことができます。

スピーカーについて

- スピーカーは防磁タイプのものをお使いください。
- スピーカーをテレビに近づけすぎないでください。スピーカーから発生する磁気の影響で画面に色むらがでることがあります。スピーカーはテレビから20~30cm以上離して置いてください。スピーカーを離して置いても色むらがでるときは、いったん電源を切り、約30分間そのままにしておきます。その後、再び電源を入れます。

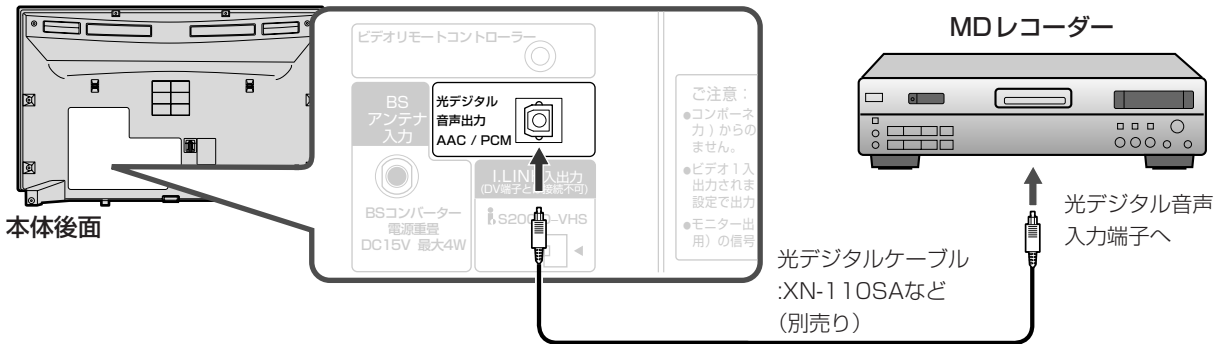
MDレコーダーを つなぐ

ご注意

- 接続が終わるまで電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- MDプレーヤーの取扱説明書もご覧ください。

BSデジタル放送のデジタル音声をデジタル録音できます。

- サンプリングレートコンバーターを内蔵しているMDレコーダーをお使いください。
- BSメニューの「光デジタル出力の設定」で「2CHリニアPCM」を選んでください。



サンプリングレートコンバーター

- 本機は、3つのサンプリング周波数(32kHz、44.1kHz、48kHz)を使用しています。しかし、MDレコーダーには44.1kHzのサンプリング周波数でしか録音できません。そこで、32kHzや、48kHzのサンプリング周波数のデジタル音声を録音するためにはこれらのサンプリング周波数を44.1kHzに変換する必要があります。その変換機能をサンプリングレートコンバーターといいます。
- お手持ちのMDレコーダーがサンプリングレートコンバーターを内蔵しているかどうかはMDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

光デジタル音声出力端子の出力信号を切り換えるには

- 1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)を押して「光デジタル出力の設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 カーソルボタン(▲▼)を押して「2CHリニアPCM」または「AAC」を選び、決定ボタンを押す

「2CHリニアPCM」:

MDレコーダーでデジタル録音するとき

「AAC」:

MPEG2 AACデコーダー内蔵アンプをつないでいるとき

- 4 BSメニューボタンを押して終了する

AV コンピュリンクの 接続をする

ご注意

- 接続が終わるまで電源コードはコンセントから抜いておいてください。
- 各機器の取扱説明書もご覧ください。

本機にはAVコンピュリンク機能があります。AVコンピュリンクに対応したビクター製のビデオデッキ、DVDプレーヤー、AVアンプなどを接続すると、接続した機器と連携した動作ができ、操作が簡略化されます。本機はAVコンピュリンク3に対応しています。対応した機器では本機のD4映像入力(コンポーネント映像信号入力)接続に対応しています。

接続例

1) ビデオデッキ、またはDVDプレーヤーを接続

- AVコンピュリンク以外の接続は111,112,116ページをご覧ください。

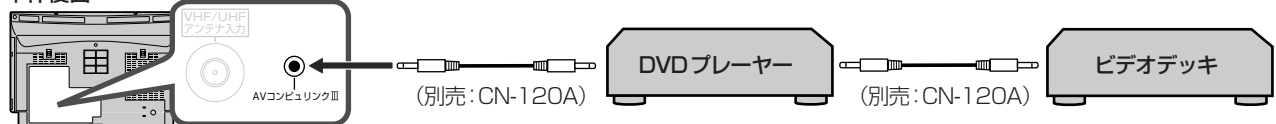
本体後面



2) ビデオデッキとDVDプレーヤーを接続

- AVコンピュリンク以外の接続は111,112,116ページをご覧ください。

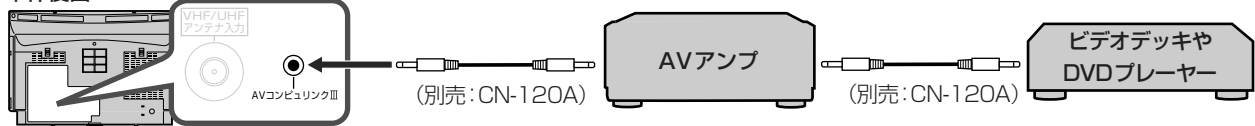
本体後面



3) AVアンプとビデオデッキ、DVDプレーヤーを接続

- AVコンピュリンク以外の接続はAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

本体後面



AV コンピュリンクを接続するとできること

1) ビデオデッキを接続したとき

ビデオデッキ側の操作	テレビの動作
ツメを折ったビデオテープを入れる	テレビの電源が入る (電源が切れていたとき)
再生の操作をする	ビデオデッキをつないだ入力に切り換わる

2) DVDプレーヤーを接続したとき

DVDプレーヤー側の操作	テレビの動作
再生の操作をする	テレビの電源が入る (電源が切れていたとき) DVDプレーヤーをつないだ入力に切り換わる

3) AVアンプとビデオデッキやDVDプレーヤーを接続したとき

AVアンプ側の操作	テレビの動作
電源を入れる	テレビの電源が入る (前回ビデオデッキやDVDを選んでいて、テレビの電源が切れていたとき)
ビデオデッキやDVDの入力を選ぶ	AVアンプをつないだ入力に切り換わる
電源を切る	電源が切れる

- 詳しい操作や設定についてはAVアンプの取扱説明書をお読みください。

ビデオデッキの設定

ビデオデッキでリモコンコードを次のように設定します。

- ビデオ1入力端子に接続したときは →「Aコード」に設定します。
- ビデオ2入力端子に接続したときは →「Bコード」に設定します。

DVDプレーヤーの設定

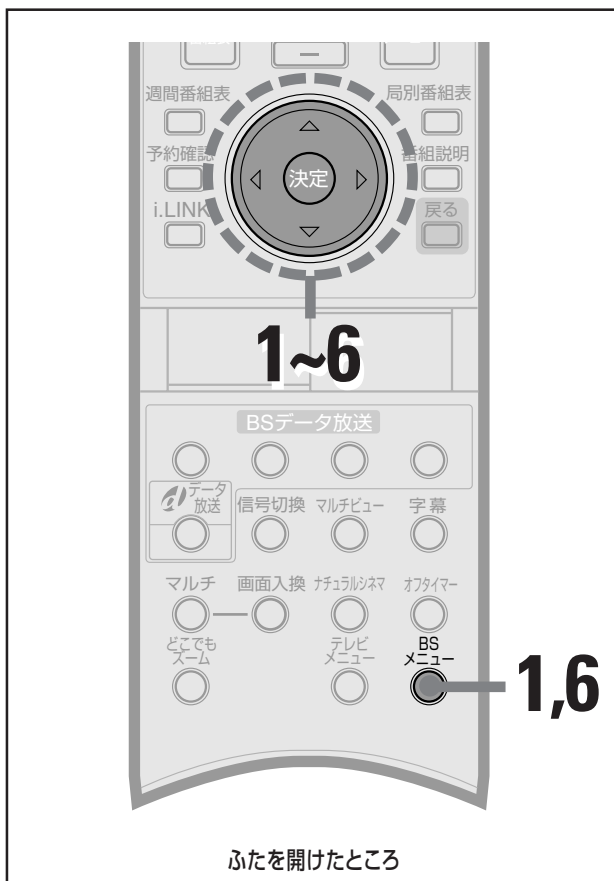
DVDプレーヤーでAVコンピュリンクモードを次のように設定します。

- ビデオ3入力端子に接続したときは →「DVD1」に設定します。
- ビデオ1入力端子に接続したときは →「DVD2」に設定します。
- ビデオ2入力端子に接続したときには →「DVD3」に設定します。

ビデオリモートコントローラーを設定する

ここでは録画予約を簡単に実行するためにビデオリモートコントローラーの設定をします。

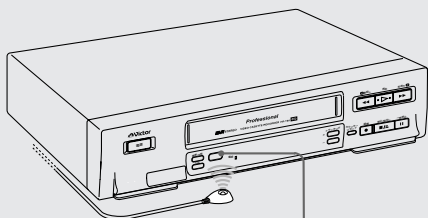
- ビデオリモートコントローラーを本機に接続してから行ってください。(P.111、112)
- 2画面表示中は操作できません。
- 本機で録画予約ができるのは、BSデジタル放送の番組のみです。地上波放送の録画予約はビデオデッキで行ってください。
- ビクター製のビデオデッキで「BSデジタルリンク予約」機能のある機種では、ビデオデッキの取扱説明書を必ずお読みください。



ふたを開けたところ

ビデオリモートコントローラーの設置場所

ビデオデッキのリモコン受光部の下に設置します。(ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。)



リモコン受光部

ビデオリモートコントローラーでできること

予約を実行するときに自動的にビデオデッキの電源が入り、録画が始まります。

ビデオデッキの準備

- リモコンで操作できるように設定してください。(設定のあるビデオデッキのみ)
- ビデオデッキの電源は切っておいてください。

接続できるビデオデッキのメーカー

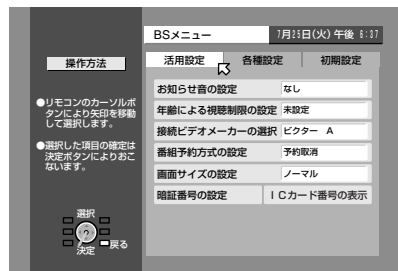
次のメーカーのビデオデッキを接続できます。

- 一部のビデオデッキには動作しないものもあります。

ビクター・松下・日立・三菱・東芝・ソニー・シャープ・三洋・NEC・アイワ・フナイ

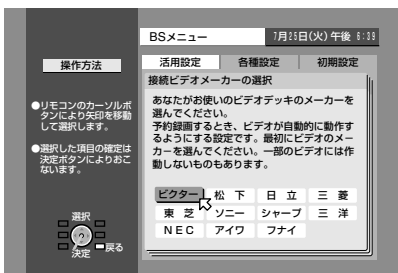
1 BSメニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ

「活用設定」画面が表示されます。



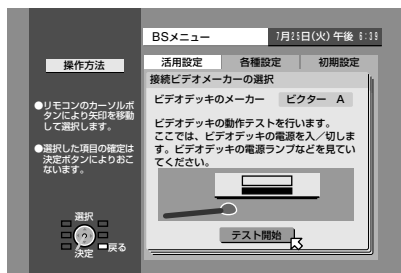
2 カーソルボタン(▲▼)を押して「接続ビデオメーカーの選択」を選び、決定ボタンを押す

ビデオメーカーの選択画面が表示されます。



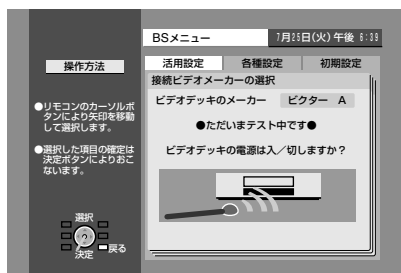
3 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押してビデオのメーカー名を選び、決定ボタンを押す

動作テストの画面になります。

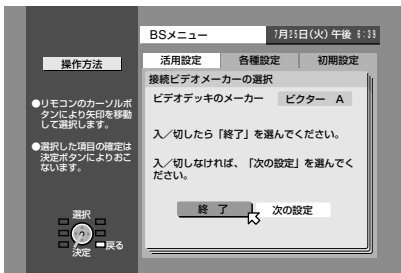


4 決定ボタンを押し、ビデオデッキの電源が入ってすぐに切れることを確認する

「ただいまテスト中です」と表示されます。



テストが終わると次の画面に変わります。



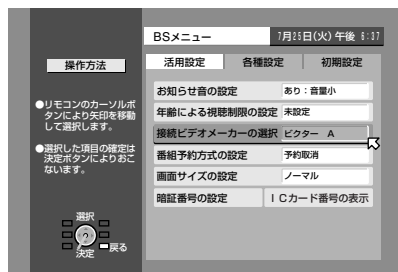
ビデオデッキの電源が入/切しないときは

引き続き次の操作をしてください。

- 1 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「次の設定」を選び、決定ボタンを押す
- 2 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押して「テスト開始」を選び、決定ボタンを押す
 - ビデオデッキの電源が入/切すれば、設定は終了です。

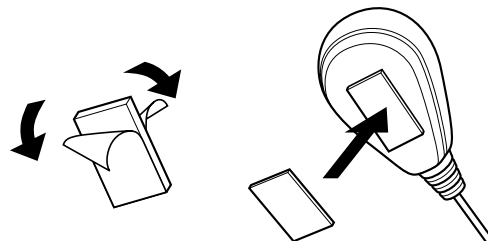
5 決定ボタンを押す

「活用設定」画面に戻ります。



6 BSメニューボタンを押して終了する

7 ビデオリモートコントローラーに付属の両面テープを張り付ける



8 ビデオリモートコントローラーを固定する

つなぐAV機器を

その他 表示窓のメッセージ

表示窓 (P.14) には、次のような情報が表示されます。

ふだんは、ご覧になっているチャンネルやビデオ入力が表示されます。

●BSデジタル放送を受信しているときには、この他にもP.128のようなメッセージが表示されます。

状況	表示	内容
地上波放送を見ているとき	「1CH」 * 数字は1～62まで	■ 選んでいるチャンネル番号が表示されます。
CATVを見ているとき	「C32CH」 * 数字は13～38まで	■ CATVチャンネル受信時は数字の前にCが表示されます。
BSデジタル放送を見ているとき	「BS3 103CH HD」	■ ハイビジョン放送を受信しています。 ・「BS3」はマイチャンネルの設定を表します。(P.72) ・「103CH」はチャンネル番号を表します。 ・「HD」はハイビジョン放送を表します。
	「BS1 101CH SD」	■ 標準画質放送を受信しています。 (「SD」は標準画質放送を表します。)
ビデオ入力のとき	「ビデオ1」	■ 選んでいるビデオ入力(1～4)が表示されます。
D-VHSビデオデッキを操作しているとき (i.LINK接続時)	「D-VHS PLAY」	■ i.LINK接続で、D-VHSビデオを再生中です。(P.113)
	「D-VHS REC」	■ i.LINK接続で、D-VHS録画中です。(P.113)
ステレオ放送を受信しているとき	「ステレオ」 (表示窓右側に赤く点灯)	■ ステレオ音声です。(P.36)
二重音声放送を受信しているとき	「主」/「副」/「主 副」 (表示窓右側に赤く点灯)	■ 主音声/副音声/主+副音声です。(選んでいる設定が点灯します。P.36)

故障かな?と思ったら—症状とその原因と対処方法(Q&A)

修理をご依頼される前に、もう1度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

Q 症状

●電源が入らない

- 正常に動作しない
- 本体もリモコンも操作できなくなった

●VHF/UHFが映らない

●CATVが映らない

●BSデジタル放送が映らない

A 原因と対処(参照ページ)

- 電源プラグがはずれていませんか? (P.11)
- リモコンの電源ボタンを押したときにリモコン上部の操作ランプが暗かったり、点滅しなければ、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。(P.16)
- 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなったときは、本体のリセットボタンを押してください(P.12)。または1度電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れてください。
- アンテナは正しく接続されていますか? (P.86)
- チャンネル合わせは済んでいますか? (P.88~P.93)
- 受信契約はお済みですか?
- ケーブルは正しく接続されていますか?
- チャンネル+/-ボタンで選べないときは、「+ボタン選局」の設定を「見る」にしてください。(P.91, 93)
- 受信設定は正しいですか? (P.97~103)
- BS用のアンテナを使用していますか?
BSデジタル放送を受信するにはBSデジタル放送用またはハイビジョン対応のアンテナが必要です。
- アンテナを衛星に向けて正しく設置しましたか?
- アンテナの前方に建物や樹木などの障害物はありませんか?
- アンテナの接続には衛星放送に使える同軸ケーブルを使用していますか?
- 大雨や雪が降っていませんか?大雨や雪が降っていると、衛星からの電波が弱くなり、映らないことがあります。また、アンテナに着雪していると映らないことがあります。
- B-CASカードは入っていますか? (P.96)
- B-CASカードの向きは正しいですか? (P.96)
- 放送のない時間帯ではありませんか?
- 受信契約をしていないチャンネルではありませんか? (P.12)
- ペイ・パー・ビューのチャンネルではありませんか? (P.50)

故障かな?と思ったらー症状とその原因と対処方法(Q&A)

(つづき)

Q 症状

A 原因と対処(参照ページ)

●BSデジタル放送の予約録画ができない

- ビデオリモートコントローラーのメーカー設定は正しいですか? (P.120)
- ビデオリモートコントローラーはきちんと設置されていますか? (P.120)
- ビデオリモートコントローラーはきちんと接続されていますか?
- ビデオデッキの入力切替は正しいですか?
- 録画予約の設定は正しいですか? (P.59)
- 録画できない番組ではありませんか? (P.63)
- D-VHSビデオデッキはLINCされていますか? (P.115)

●BSデジタル放送の投票や申し込みができなくなった

- 電話線の接続は正しいですか? (P.95)
- 電話の設定は正しいですか?
(P.102,107)

●映像が乱れる

- 本機の近くで携帯電話を使用していませんか? 2m以上離れて使用してください。

●色が出ない、おかしい

- 色あいや色の濃さの調節がズれていませんか? 映像調節をやり直してください。(P.34)
- 受信周波数がズれていませんか? メニューの「チャンネル1~12ボタンの設定変更」で「受信調整」を試してみてください。(P.91,93)

●音が出ない

- ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか?
- 消音ボタンを押していませんか? (P.18)

●音声重なって聞こえる

- 二重音声放送の音声は「主+副音声」になっていませんか?
(P.36)

●音声切り換えられない

- 従来のテレビ放送のとき:
モノラル放送やステレオ放送ではありませんか? (P.36)
- BSデジタル放送のとき:
・音声多重の番組ですか? (P.36)
・複数の音声信号のある番組ですか? (P.55)

●画面表示が消えない

- ビデオ機器の映像が映っていますか。受信できるチャンネルを選んでいませんか?
入力信号がないときは強制的に表示され、消すことはできません。(P.19)

Q 症状

A 原因と対処(参照ページ)

●2画面表示にならない

- 750pの映像をご覧のときは、2画面表示できません。(P.27)

●静止画にならない

- 番組一覧を表示中のときは静止画をご覧になることはできません。(P.29)

●チャンネルを選ぶときの動作がおかしい

- CATVのチャンネル選局方式が「数字入力方式」に設定されているときは、CATV以外のチャンネル選局も2桁入力になります。CATVをご覧にならないときは、CATVのチャンネル選局方式を「12ボタン方式」にしてください。(P.92)
- BSデジタル放送のチャンネル選択方式が「テンキー方式」に設定されているときは、1～10のチャンネル(数字)ボタンを押すだけではチャンネルを選べません。1～10のチャンネル(数字)ボタンを押すだけでチャンネルを選びたいときは、「3桁の数字で選ぶ」(P.51)をご覧になって「ポジション方式」を選んでください。または3桁のチャンネル番号を入力してください。

●接続したビデオ機器からの映像、音声が出ない

- ビデオ機器は正しく接続されていますか。(P.111～112)
- 正しいビデオ入力を選んでいますか。(P.19、110、113)
- ビデオ機器の電源は入っていますか。
- D-VHSビデオデッキはLINCされていますか？
- D-VHSモードで記録された内容がBSデジタル放送の番組以外の場合は、D端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換えてご覧ください。

●リモコンで操作できない

- 電源プラグがはずれていませんか？(P.18)
- リモコンのボタンを押したときに、リモコン上部の操作ランプが暗かったり、点滅しなければ、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。(P.16)

●電源を切っているのに本体があたたかい

- 電源を切っても、一部の電気回路は動作しています。故障ではありません。

●突然電源が切れた

- オフタイマーを設定していませんか。(P.31)
- 放送終了後に電源が切れたときは、無信号電源オートオフ機能が働いたためです。(P.64)
- テレビ消し忘れ防止を設定していませんか。(P.67)

●2画面のとき、BSデジタル放送の操作ができない

- 2画面の操作を優先させるため、一部を除き、BSデジタル放送の操作を禁止しています。

こんなメッセージが出たら

お願い ● カスタマーセンターなどにお問い合わせになるときは、画面右下に表示されるエラーコードもお知らせください。

一般操作

画面メッセージ	原因
■ ノーマル画面サイズに対して、位置調節はできません。	● 画面サイズがノーマル(4:3)の場合、「画面位置の調節」項を決定したとき
■ CATV選局方式が12ボタンのため設定できません。	● CATVチャンネルの設定でCATV選局方式が12ボタン方式のとき
■ ヘッドホン音声に対して、この操作はできません。	● ヘッドホン音声に対し、音量調節以外(音場効果や音声切換など)の操作を実行したとき
■ 静止画中のため、この操作はできません。	● 静止画の場合、操作画面を選択したとき
■ マルチ画面のとき、この操作はできません。	● 2画面、番組一覧モードの場合、画面サイズを操作したとき。 ● 2画面の右側に対して音声切換が押されたとき。 ● ナチュラルシネマを「入り」にしようとしたとき
■ 2画面のとき、同じビデオ入力を映すことはできません。	● 2画面の両画面に同じビデオ入力を出そうとしたとき
■ TV放送を2つ以上映すことはできません。	● 2画面の両画面に従来のテレビ放送を出そうとしたとき
■ BS放送にしてから操作してください。	● テレビ放送モードのままBSデジタル放送の操作をしようとしたとき
■ 無信号のためまもなく電源が切れます。	● 無信号電源オートオフが働く3分前のとき 無信号でなくなるまでメッセージは消えない
■ 無操作のためまもなく電源が切れます。 続けて見る場合は音量ボタンを押して下さい。	● 何も操作しない状態が3時間続き、テレビ消し忘れ防止機能が働く3分前のとき 何かのボタンが押されるまでメッセージは消えない
■ 設定時刻になりますのでまもなく電源が切れます。 続けて見る場合は音量ボタンを押して下さい。	● 深夜電源オートオフの設定時刻の3分前になったとき
■ 時計が設定されていないので、使えません。 メニュー機能で時計合わせをして下さい。	● 時計が設定されていないのにおはようタイマーを使おうとしたとき
■ 現在のモードではこの操作はできません。	● ビデオを見ているときに音声切換などをしようとしたとき ● 525pの映像を見ているときにナチュラルシネマボタンを押したとき ● 1125iの映像を見ているときにナチュラルシネマボタンを押したとき
■ ナチュラルシネマモードにしました。	● ナチュラルシネマボタンが押されたとき

画面メッセージ	原因
■ ナチュラルシネマモードが解除されました。	● ナチュラルシネマモードを解除したとき
■ シアタープロ設定で設定してください。	● 映像選択が「シアター」になっているときに、メニューで「シャープネス」を調整しようとしたとき
■ 表示できないモードです。	● D端子から525i、525p、1125i、750p以外の信号が入っているとき
■ どこでもズーム機能をデモしています。拡大したいところに枠を合わせます。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてください。	● 「どこでもズーム」の自己紹介(機能説明)中のとき
■ 2画面機能をデモしています。左右カーソルを押すと画面の大きさが変わります。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてください。	● 2画面機能の自己紹介(機能説明)中のとき
■ デジタルE.E.機能をデモしています。リモコン受光部に手を当てると効果がわかります。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてください。	● 「デジタルE.E.」の自己紹介(機能説明)中のとき
■ 自己紹介(機能説明)を中止しました。	● 自己紹介(機能説明)を終了したとき
■ おはようタイマー設定時刻になりました。	● おはようタイマーの設定時刻になったとき(電源が入ったとき)

こんなメッセージが出たら (つづき)

BS 操作

画面メッセージ	表示窓メッセージ	原因
ICカードを正しく装着してください。	IC カードミソウニュウ	B-CASカードが入っていません。 B-CASカードを挿入してください。
このICカードは使用できません。	コノ IC カード ハ ツカエマセン	B-CASカードに異常があります。 カスタマーセンターにご連絡ください。
このICカードは使用できません。 カスタマーセンターに連絡をしてください。	コノ IC カード ハ ツカエマセン	
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	シチョウフカ ミケイヤク	契約の確認、または新たな契約を行ってください。
このチャンネルはご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	シチョウフカ ミケイヤク	契約していないチャンネルを選んでいませんか？ 契約の確認、または新たな契約をおこなってください。
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	シチョウフカ ケイヤクギレ	契約を更新するか、または新たな契約をおこなってください。
このチャンネルは視聴条件により、 ご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	シチョウジョウケン ニヨリ シ チョウフカ	契約を変更するか、または新たな契約をおこなってください。
受付時間を過ぎていますので購入できません。	表示なし	購入しようしている番組の受付期限が切れてしまっています。他の番組を選んでください。
番組購入情報がいっぱいのため新たに購入ができません。電話回線を接続のうえ、 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	表示なし	購入データがいっぱいになっています。 電話回線を接続してデータを送信してください。
ICカードの交換が必要です。 カスタマーセンターへ連絡をしてください。	IC カード ノ コウカン ガ ヒ ツヨウ	B-CASカードに異常がありますので、 カスタマーセンターにご連絡ください。
ICカードが正しく装着されていません。 ICカードをご確認ください。	IC カード ガ タダシクササッ テイマセン	B-CASカードが正しく挿入されていますか？ B-CASカード以外のカードが挿入されていませんか？ 正しくB-CASカードが挿入されているか確認してください。
ドアが開いています。 ドアを閉じてください。	ドア ガ アイテイマス	B-CASカード挿入口のふたが開いています。閉めてください。

画面メッセージ	表示窓メッセージ	原因
放送チャンネルではないため、視聴できません。	ハウソウチャンネル デハ アリマセン	放送されていないチャンネルを選んでいませんか？ 放送されているチャンネルを選んでください。
雨などの影響により受信状態が低下しており、降雨対応放送に切り換わりました。	表示なし	雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下しています。またはアンテナケーブルやコネクタに接触不良などがあります。
信号が受信できません。	シンゴウ ガ ジュシン デキマセン	雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下しています。またはアンテナケーブルやコネクタに接触不良などがあります。
アンテナやケーブルがショートしています。 アンテナとケーブルの接続を確認してください。	表示なし	アンテナケーブルやコネクタが傷んでいる可能性がありますので点検してください。
現在放送されていません。 別のチャンネルを選んでください。	表示なし	選んだチャンネルの放送がされていません。
放送されていません。 別のチャンネルを選んでください。	表示なし	選んだチャンネルには放送／放送局はありません。

索引

アルファベット／数字

AACデコーダー	113、117
AVコンピュリンクIII	119
BBE	37
B-CASカード	10、12
BSアンテナ	13、94
BSアンテナの設定	99、104
BSアンテナの接続	94
BSアンテナへの電源供給	99
BSデジタル放送	12
CATVチャンネル設定変更	93
CATVチャンネル選局方式	
12ボタン方式	19
数字入力方式	92
D4映像入力端子	112、116
DVDプレーヤー	116
D-VHSビデオデッキ	112
i.LINK	114
MDレコーダー	118
S/N連動	35
2画面	26

ア行

暗証番号	74
安全上のご注意	2
転倒防止の処置	7
アンテナの接続	86
アンテナコネクター	87
いつでも情報	42
映像(画質)選択	33
ゲーム	33
シアター	33
スタンダード	33
ダイナミック	33
映像調節	34
色あい	35
色の濃さ	35
黒レベル	35
シャープネス	35
白バランス	35
ノイズクリア	35
ピクチャー	35
映像の傾き調整	71
オートパノラマ	23
お知らせ音	82
おトク設定	64
おはようタイマー	66
音声調節	37
BBE	37
高音	37
左右バランス	37
低音	37

カ行

各部のなまえ	14
本体前面	14
本体後面	15
リモコン	16
画面位置の調節	25
画面サイズ	22
アナログHD	22
字幕パノラマ	22
デジタルHD	22
ノーマル	22
パノラマ	22
フル	22
シネマ	22
画面表示	19、52
簡単設定	97
局別番組表	46
クイック番組表	47
降雨対応放送	83

サ行

シアタープロ	68
DSDエッジ	69
DC量補正	69
DSDコアリング	69
Hシャープネス	69
Vシャープネス	69
色バランス	69
白バランス 青	69
白バランス 赤	69
速度変調	69
自己紹介	71
視聴年齢制限	74
視聴予約	56
字幕	55
ジャンル検索	40
主音声	36
週間番組表	45
仕様	裏表紙
消音	18
信号切り換え	55
初期受信周波数	13、96
深夜電源オートオフ	64
ステレオ放送	36

静止 29

接続

- AACデコーダー 113、117
- AVコンピュリンクIII 119
- BSアンテナ 13、94
- DVDプレーヤー 116
- D-VHSビデオデッキ 112
- MDレコーダー 118
- VHF/UHFアンテナ 13、86
- テレビゲーム機 110
- 電話線 95
- ビデオデッキ 111
- ビデオムービー 110
- ビデオリモート
コントローラー 111、112

節電機能 64

- 深夜電源オートオフ 64
- デジタルE.E. 64
- テレビ消し忘れ防止 67
- 無信号電源オートオフ 64

夕行

ダウンロード 78

地磁気補正 71

チャンネル合わせ

- 地域チャンネル合わせ 88
- チャンネル設定の変更 90

デジタルE.E. 64、70

データ放送 48

- 独立型 48
- 連動型 48

テレビ消し忘れ防止 67

テレビゲーム 110

テンキー方式 51

時計合わせ 109

ナ行

ナチュラルシネマ 32

入力切替 19

ハ行

番組一覧 28

番組説明 53

ビデオデッキ 111

ビデオムービー 110

ビデオリモート

コントローラー 120

副音声 36

付属品 10

ふだんの使いかた 18~21

ペイ・パー・ビュー 50

ポジション方式 51

保証書とアフターサービス 134

ホームメニュー 38

マ行

マイチャンネル 72

マルチチャンネル 21

マルチビュー放送 54

無信号電源オートオフ 64

メッセージ一覧 126

メディア切り換え 21

メモ機能 29

メール 80

目次 8

文字スーパー 55、77

ヤ行

有料番組 50

予約追従 62

ラ行

リモコン 16

各部の名前 16

電池の入れかた 16

録画予約 58

用語解説

ビーキャス B-CASカード

視聴者の色々な情報を管理しているカード。

ビーエス BSデジタルチューナー

現行のハイビジョンテレビやBS放送受信機でBSデジタル放送を見るときに接続する機器。

本機はBSデジタルチューナーを内蔵しています。

ビーエス BSデジタル放送

2000年12月から開始された、すべてデジタル方式のBS放送。BSテレビ放送・BSラジオ放送・BSデータ放送があります。

ビーエス BSテレビ放送

BSデジタル放送の1つ。標準画質放送と、デジタルハイビジョン放送がある。マルチチャンネル放送、連動型データ放送といった特長があります。

ビーエス BSデータ放送

BSデジタル放送の1つ。独立型データ放送と(番組)連動型データ放送があります。

ビーエス BSラジオ放送

BSデジタル放送の1つ。音声だけではなく、データ放送形式で映像や、付加情報などがある番組も放送されています。

ディー D4映像端子

コンポーネント映像を1本のコードで接続できる端子。数字は扱える信号を意味しています。本機(D4)ではハイビジョン(1125i)・プログレッシブ(750p、525p)・従来の信号(525i)が扱えます。

リンク LINK

i.LINK接続でデータのやり取りをするために必要な操作。連係する機器同士が互いを認識して、データのやり取りができるようになる。Logical Interface Connection (ロジカル・インターフェース・コネクション: 論理的な接続)の意味)の略。

エス S映像信号

映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

エス S1映像信号

S映像信号にフルモード(縦長の映像)を自動判別するための識別信号を重畳させた信号。画面サイズが16:9のテレビでは識別信号を検出して自動的に画面サイズを「フル」に切り換えます。

525i/525p/1125i/750p/1125p

デジタル放送の各種映像信号の走査線数と走査方式を表した呼称。本機は525i/525p/1125i/750pの4方式に対応しています。ただし、750pの信号は、525p方式に変換して表示しています。(数字は走査線数、「i」は「インターレース」、「p」は「プログレッシブ」を表します。)

アイコン

各種の情報を簡単な図などで、シンボルとして表示。

暗証番号

視聴年齢制限のかかった番組を視聴するときや、ペイパービュー番組を購入する際などに使用する番号。最初の設定を行う際に、登録します。

インターレース

従来の映像方式。半分の走査線を交互に表示することによって映像を再現します。

カーソル

メニューや番組表などの画面表示で表示される矢印。リモコンボタン操作で矢印を移動できます。

外線発信番号

外に電話をかけるときに、相手の電話番号の前につける番号。

共聴

集合住宅で、一カ所のアンテナで受信した電波を各家庭に配るしくみ。

コピーガード

著作権保護のため、録画ができないようにするための機能。

視聴年齢制限

大人向けの番組などで、視聴できる年齢を制限する機能。

視聴予約

予約の1つ。予約した時間になると、その番組に切り換わる。

ジャンル

番組の種類。見たい番組をさがすときに使う。

受信契約

有料放送を受信するために各放送会社とかわす契約。

受信チャンネル

受信できる放送局のチャンネル。新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル番号のことです。

信号切換

複数の映像・音声・データを切り換える機能。

タイトル言語

番組表や画面表示で表示される番組のタイトルの表示言語。日本語と一部英語がある。

ダウンロード

BSデジタルチューナーのマイコンプログラムを電波を使って新しくすること。

デジタルE.E.

Ecology & Economy (目にやさしい省電力) + Electronic Eye (電子の目)
部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。

デジタルピュア (Digital pure)

高画質を実現する「受信チューナー・映像を処理するデジタル回路・ブラウン管に表示する回路など」の技術の総称です。

番組表 (電子番組表/EPG)

BSデジタル放送のデータとして送られてくる番組の情報を、見やすくまとめて表示する機能。番組をさがしたり、予約したりできる。

ビデオリモートコントローラー

録画予約時にビデオデッキを操作する機器。リモコンの送信部に相当する。

ペイ・パー・ビュー (PPV)

見た分だけ料金を支払うシステム。

プログレッシブ(750p、525p)

一度にすべての走査線を表示(インターレースではその半分)しているため、従来より高精細な映像方式。このテレビでは従来の映像をプログレッシブ方式に変換して映しています。(750pの信号は、525p方式に変換して表示しています。)

マルチチャンネル放送

BSデジタル放送の特長の1つ。情報を圧縮することによって、1チャンネルで最大3チャンネルの放送が可能(標準画質放送時)。

メール

放送局から送られる個人あての手紙。
本機からのメッセージもメールとして扱われる場合があります。

録画予約

予約の1つ。予約した時間になると、録画が始まります。

ワイドクリアビジョン放送

画面の横縦比16:9の放送。画面サイズが16:9のテレビでは信号を検出して、自動的に画面サイズを「シネマ」に切り換えます。(画面サイズが4:3のテレビで見ると画面の上下に黒帯が出ます。)

DTLAの説明

著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA (The Digital Transmission Licensing Administrator) というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像/音声/データを、i.LINKを使ってデジタルコピーできない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像/音声/データのやりとりができない場合があります。

MPEG2AACに関する使用特許番号の表示

本機において、MPEG2AACに関する下記番号の特許(出願中も含む)を使用しています。

特許番号(出願番号)

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433
5,222,189	5,357,594	5,752,225	5,394,473
5,583,962	5,274,740	5,633,981	5,297,236
4,914,701	5,235,671	07/640,550	5,579,430
98/03037	97/02875	97/02874	98/03036
5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999
08/557,046	08/894,844	5,299,238	5,299,239
5,299,240	5,197,087	5,490,170	5,264,846
5,268,685	5,375,189	5,581,654	5,548,574
08/506,729	08/576,495	5,717,821	08/392,756

保証書とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし、ブラウン管については2年間です。

補修用性能部品の最低保有限期

当社は、カラーテレビの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有します。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼になる前に、「故障かな?と思ったら」(P.123~125)にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ビクターカラーテレビ
型名	HD-32LS2
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	() -
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ

お買い上げの販売店

() -

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店にご依頼ください

ご贈答品等で保証書に記載のお買い上げ販売店にご依頼にならない場合は、最寄りのご相談窓口にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

所在地、電話番号は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道				
北海道	札幌SC	(011)898-1180	004-0005	札幌市豊川区豊川5条1丁目2-29
	旭川SC	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見SS	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路SC	(0154)240-797	080-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広SS	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
函館SS	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭西4番16号 函館あおば生命ビル1F	
東北				
青森	青森SC	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸SS	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前SS	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡SC	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢SS	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田SC	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館SS	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手SS	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大直向3-6
宮城	仙台SC	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻SS	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番地8-18
山形	山形SC	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田SS	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山SC	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきSS	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台町鶴巻6-1
	会津若松SS	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44 ハイツシンフォニー101号
福島SS	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1	
関信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
関信越				
新潟	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	新潟SC	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡SS	(0258)24-8391	940-0012	長岡市上下条2-1366-1
	上越SS	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
	【出張修理専門】のご相談窓口			
首都圏SC	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27	
長野	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	長野SC	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本SS	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2丁目4-21
【出張修理専門】のご相談窓口				
首都圏SC	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27	
群馬	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	前橋SC	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
	【出張修理専門】のご相談窓口			
首都圏SC	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27	
栃木	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	宇都宮SC	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【サービス関連すべて】のご相談			
	土浦SC	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸SS	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
【出張修理専門】のご相談窓口				
首都圏SC	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27	
山梨	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	甲府SS	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

廃棄時にご注意願います

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地			
千葉							
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口						
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27			
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談						
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉県美浜区幸町2-1-1			
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季5-12-10-67			
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27			
東京							
東京	【出張修理専門】のご相談窓口						
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27			
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談						
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F			
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6			
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1			
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6			
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6			
	【業務用機器専門】のご相談窓口						
	首都圏メンテ ナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3			
埼玉							
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口						
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27			
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談						
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大宮2-658-1			
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39 ツインハイツ石田B			
神奈川							
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口						
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27			
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談						
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区鈴町1-3-1			
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2 (第2石原ビル)			
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5			
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4			
静岡							
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市紺金6-5-28			
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5			
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785			
東海・北陸							
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春日町 丸之坪鴨田121-1			
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱澤三丁目10-12			
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1			
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28			
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2			
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18			
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二丁目四丁目1-3			
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17			
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西瑞雲3-211			
近畿							
滋賀	【サービス関連すべて】のご相談窓口						
	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268			
京都南部	【出張修理専門】のご相談窓口						
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28			
【お預かり修理、補修用部品】のご相談				京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地			
近畿							
京都北部	【サービス関連すべて】のご相談窓口						
	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2			
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口						
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28			
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談						
奈良S.C.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2				
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口						
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28			
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談						
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16			
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊勢ハイツ			
【業務用機器専門】のご相談窓口							
大阪メンテ ナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28				
和歌山	【サービス関連すべて】のご相談窓口						
	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8			
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12			
兵庫東部	【出張修理専門】のご相談窓口						
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川12-4-28			
【お預かり修理、補修用部品】のご相談				神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	【サービス関連すべて】のご相談窓口						
	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市地中町11-1			
中国							
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23			
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17			
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15			
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡別荘町花園町5-28			
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35			
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23			
四国							
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1			
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖兵2-37			
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143			
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12			
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40			
九州・沖縄							
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1			
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西陣字神浦1-1192			
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区片野2-15-12			
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13			
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2			
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2			
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10			
	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59			
宮崎	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3			
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8			
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県豊野町市真志喜1-13-16			
山陰							
島根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)						
		(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1丁目16-39			
	出雲営業所 サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854			
	浜田営業所 サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1			
鳥取	鳥取営業所						
	サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1			

その他

主な仕様

種類	BSデジタルハイビジョンテレビ
受信方式	NTSC(VHF/UHF/CATV)
受信チャンネル	VHF 1~12、UHF 13~ 62 CATV C13~C38 BSデジタル放送のチャンネルに対応 000~999 BS部受信周波数 1032MHz~2150MHz
使用電源	AC100V, 50Hz/60Hz
消費電力	232W リモコン待機時 3.7W
年間消費電力量	309kW・h/年
画面寸法 (幅×高さ×対角)	65.9 cm x 37.1 cm x 75.6 cm
音声出力	10W+10W
スピーカー	4cm x 20cm楕円型、2個 13cm丸型、1個(低音用)
アンテナ端子	VHF/UHF: 75Ω、F型 BS: 75Ω、F型 (BSコンバーター用電源 DC15V/11V 4W 重畳)

【入力/出力端子】

ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3(DVD)、ビデオ4(DV、ムービー)入力端子

S1映像:	Y 1V(p-p)、75Ω、同期負
(S映像)	C 0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω
映像:	1V(p-p)、75Ω、同期負
音声:	0.5V(rms)、ハイインピーダンス

D4映像入力(ビデオ1、3)端子

映像: D端子(D4)

モニター出力、BS出力(録画用)端子

S1映像: Y 1V(p-p)、75Ω、同期負
C 0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω

映像: 1V(p-p)、75Ω、同期負
音声: 0.5V(rms)、ローインピーダンス
BS出力端子からは画面表示やメニュー表示などはできません。
モニター出力にはS1映像端子はありません。

オーディオ出力(固定)端子

音声: 0.5V(rms)、ローインピーダンス

AVコンピュリンクIII端子: 直径 3.5 mm、ミニジャック

i.LINK 4ピン S200

光デジタル音声出力端子

-18dBm、660nm
メニュー設定によりMPEG2 AACとPCMを切り換えて出力

電話回線端子

2Pモジュラージャック
モデム伝送レート 2400bps

ビデオリモートコントローラー出力端子

ミニジャック

シリアル端子(サービス用)

ミニミニジャック

ヘッドホン端子

直径 3.5 mm、ステレオミニジャック

【その他】

最大外形寸法 84.8 cm x 54.3 cm x 54.2 cm

(幅×高さ×奥行)

質量(重さ) 60.5kg

付属品 10ページ参照

別売品 テレビスタンド

RK-C32FD3

アンテナ混合器VZ-84

※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

※ テレビの型(32型等)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

※ 年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での年間視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

※ HD-32LS2は「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

ご相談や修理は

**ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。**

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

134~135ページをご覧ください。

東京 電話 (03) 5684-9311
ファクス (03) 5684-9317
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル
大阪 電話 (06) 6765-4161
ファクス (06) 6765-4891
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用を
中
止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした
心づかいで
テレビの安全



ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

ホームAVネットワークビジネスユニット

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話 (045) 453-2057